

中小企業景況調査報告書

2023年4月～6月期

高知県商工会連合会

中小企業景況調査

[調査事項]

1. 調査対象

(1)調査対象地区	室戸市	芸西	香南市	香美市	大豊町
	本山町	土佐地区	いの町	春野	中土佐町
	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 150企業 (回答率：100%)

2. 調査対象期間

2023年4月～6月期を対象とし、調査時点は2023年6月1日とする。

3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 回答企業数の内訳

業種	回答企業数	構成比 (%)
製造業	32	21.3
建設業	21	14
小売業	44	29.3
サービス業	53	35.3
合計	150	100.0

注記 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

1. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2023年 4月～ 6月期）の状況

[製造業]

(D I 値)

期 項目	2023年 1月～ 3月	2023年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	△ 20.0	△ 9.4	10.6ポイント上昇
採 算	△ 16.6	△ 21.8	5.2ポイント下降
資 金 繰 り	△ 10.4	△ 16.2	5.8ポイント下降

[建設業]

(D I 値)

期 項目	2023年 1月～ 3月	2023年 4月～ 6月	対 前 期 比
完 成 工 事 額	△ 9.6	19.0	28.6ポイント上昇
採 算	△ 36.4	△ 9.5	26.9ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 9.1	4.8	13.9ポイント上昇

[小売業]

(D I 値)

期 項目	2023年 1月～ 3月	2023年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	△ 2.3	0.0	2.3ポイント上昇
採 算	△ 43.2	△ 32.6	10.6ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 27.3	△ 9.5	17.8ポイント上昇

[サービス業]

(D I 値)

期 項目	2023年 1月～ 3月	2023年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	14.0	35.8	21.8ポイント上昇
採 算	△ 28.0	△ 18.9	9.1ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 10.0	△ 1.9	8.1ポイント上昇

○来期見通し(2023年 7月～ 9月期)

(D I 値)

区分 業種	売 上 額 完 成 工 事 額	採 算	資 金 繰 り
製 造 業	12.5	△ 15.6	△ 13.3
建 設 業	0.0	△ 9.5	△ 4.8
小 売 業	△ 13.9	△ 32.5	△ 9.5
サ ー ビ ス 業	13.2	△ 13.2	△ 1.9

2. 産 業 別 景 況

製造業の動向

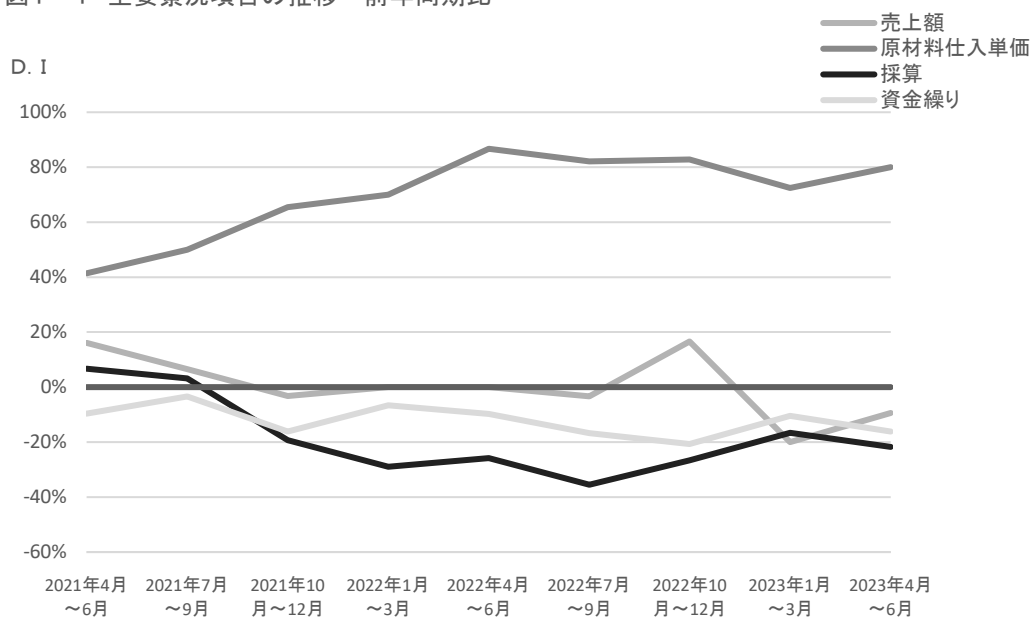
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 20.0 \rightarrow \Delta 9.4$ と10.6ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 8.7 \rightarrow \Delta 1.5$ と7.2ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 16.6 \rightarrow \Delta 21.8$ と5.2ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 29.5 \rightarrow \Delta 20.3$ と9.2ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 10.4 \rightarrow \Delta 16.2$ と5.8ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 17.1 \rightarrow \Delta 11.6$ と5.5ポイント上昇)

今期は、売上額DIでマイナス幅が改善し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DIでマイナス幅がプラスに改善し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅の改善が見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目 \ 期	2021年4月~6月	2021年7月~9月	2021年10月~12月	2022年1月~3月	2022年4月~6月
売上額	16.1	6.5	$\Delta 3.2$	0.0	0.0
原材料仕入単価	41.4	50.0	65.5	70.0	86.7
採算	6.7	3.2	$\Delta 19.3$	$\Delta 29.0$	$\Delta 25.8$
資金繰り	$\Delta 9.6$	$\Delta 3.4$	$\Delta 16.1$	$\Delta 6.6$	$\Delta 9.7$

図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

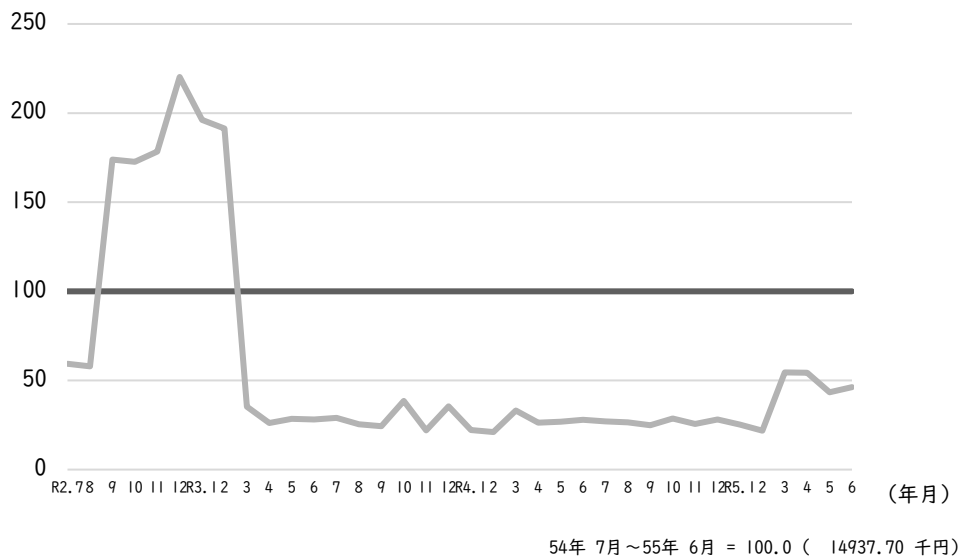


図 1 - 3 売上額の状況－前年同期比－

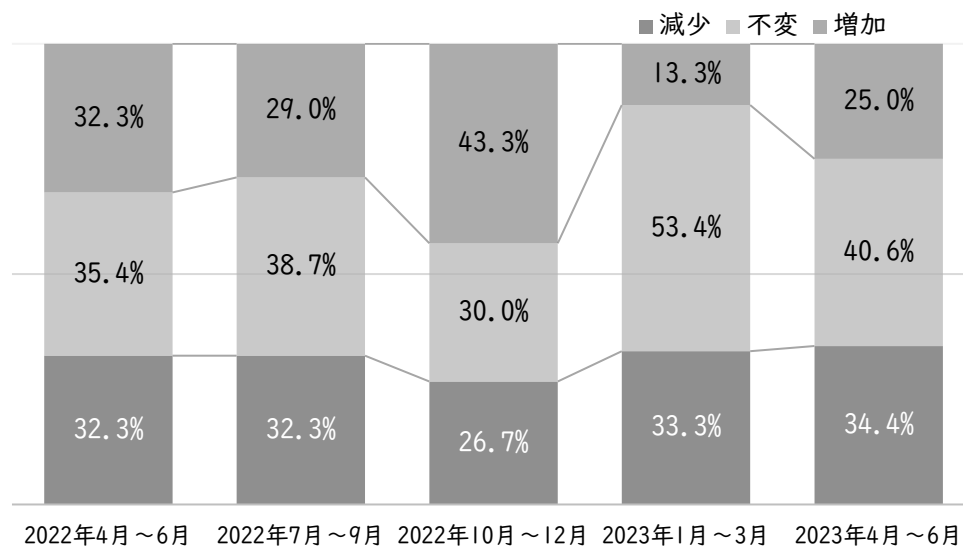


図 1 - 4 採算の状況－前年同期比－

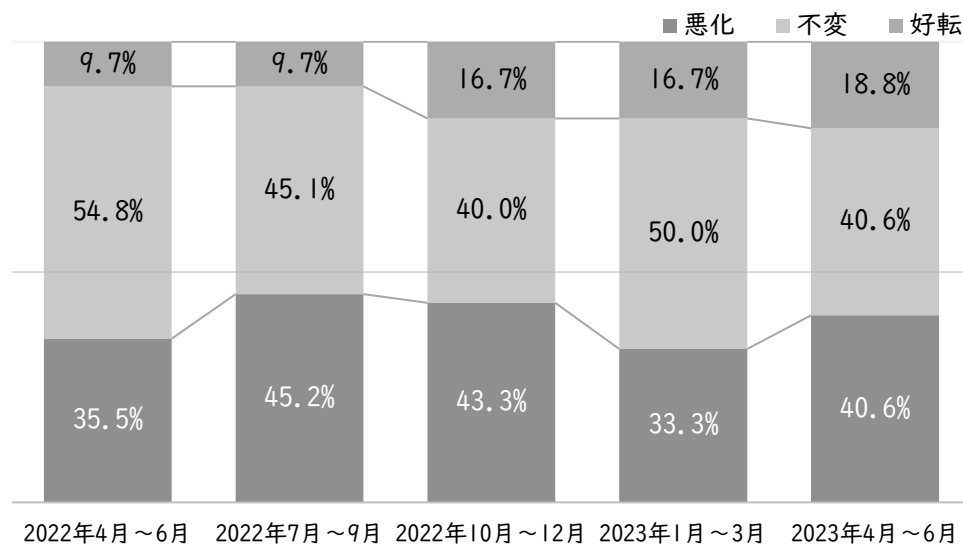
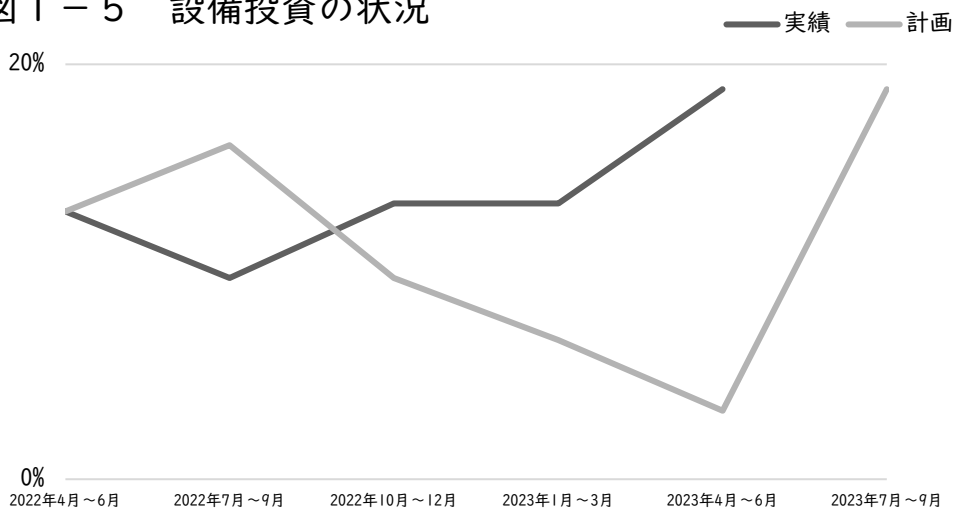


図 1-5 設備投資の状況



(計画)

図 1-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

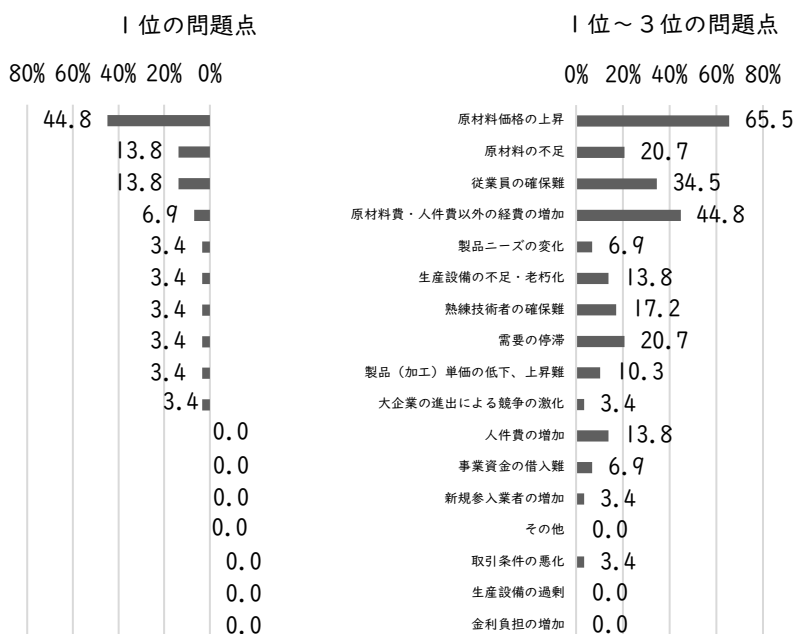


図 1-7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

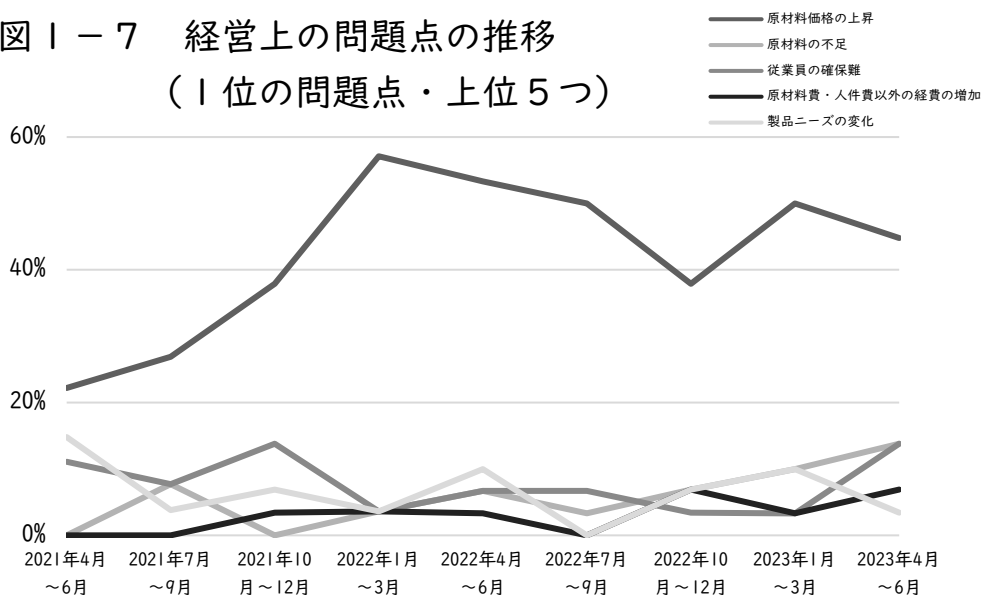


図 1 - 8 売上額の状況 - 前年同期比 -

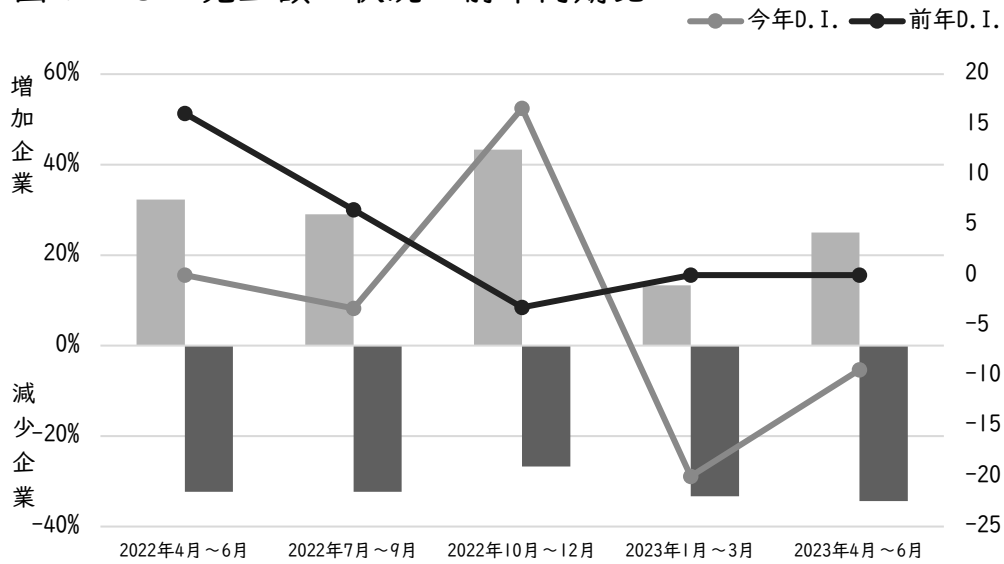
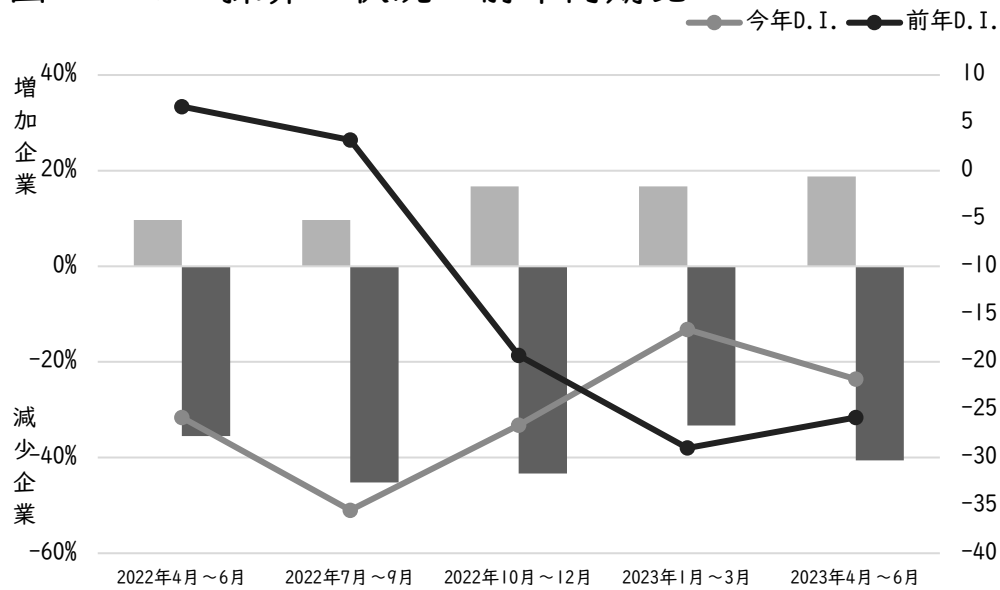


図 1 - 9 採算の状況 - 前年同期比 -



建設業の動向

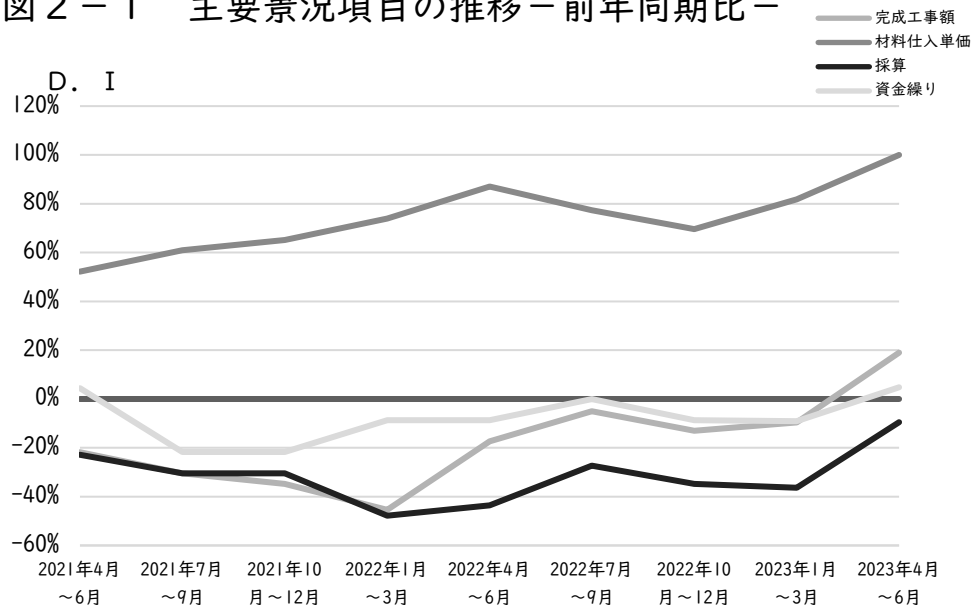
○主要景況項目から見た概要

- ・完成工事額DI値は、 $\Delta 9.6 \rightarrow 19.0$ と28.6ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 15.5 \rightarrow \Delta 11.6$ と3.9ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 36.4 \rightarrow \Delta 9.5$ と26.9ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 36.1 \rightarrow \Delta 25.8$ と10.3ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 9.1 \rightarrow 4.8$ と13.9ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 12.8 \rightarrow \Delta 7.0$ と5.8ポイント上昇)

今期は、完成工事額DI、採算DI・資金繰りDIにおいてマイナス幅が改善した。

来期は、完成工事額DIのプラス幅が減少し、採算DIは変動なし、資金繰りDIでマイナスに悪化が見込まれる。

図2-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2021年4月～6月	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月
売上額	$\Delta 21.8$	$\Delta 30.5$	$\Delta 34.8$	$\Delta 45.4$	$\Delta 17.4$
原材料仕入単価	52.2	60.9	65.2	73.9	87.0
採算	$\Delta 22.8$	$\Delta 30.5$	$\Delta 30.5$	$\Delta 47.8$	$\Delta 43.5$
資金繰り	4.4	$\Delta 21.7$	$\Delta 21.7$	$\Delta 8.7$	$\Delta 8.7$

図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）

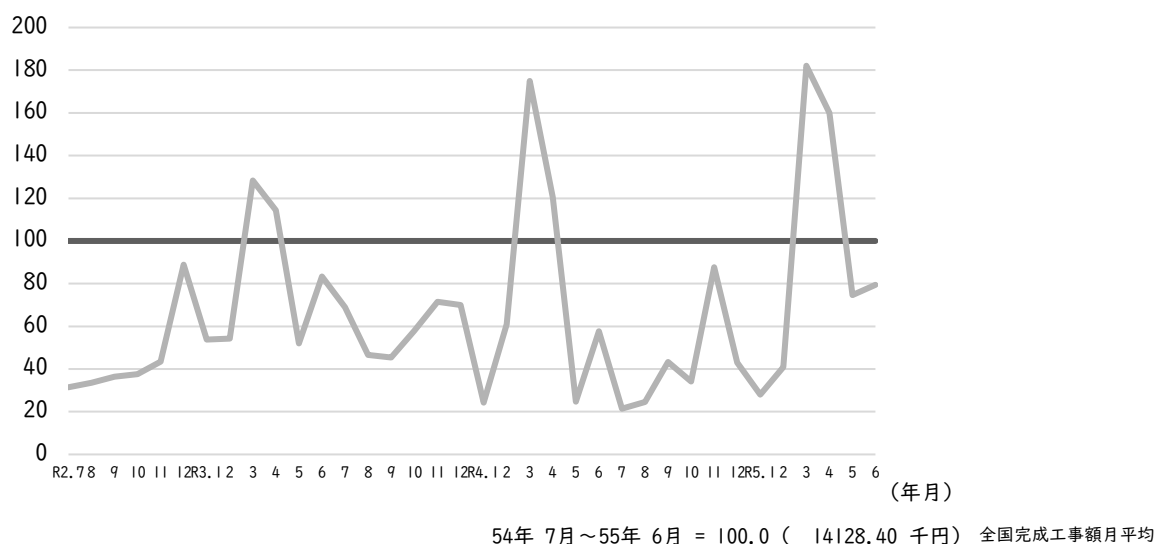


図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

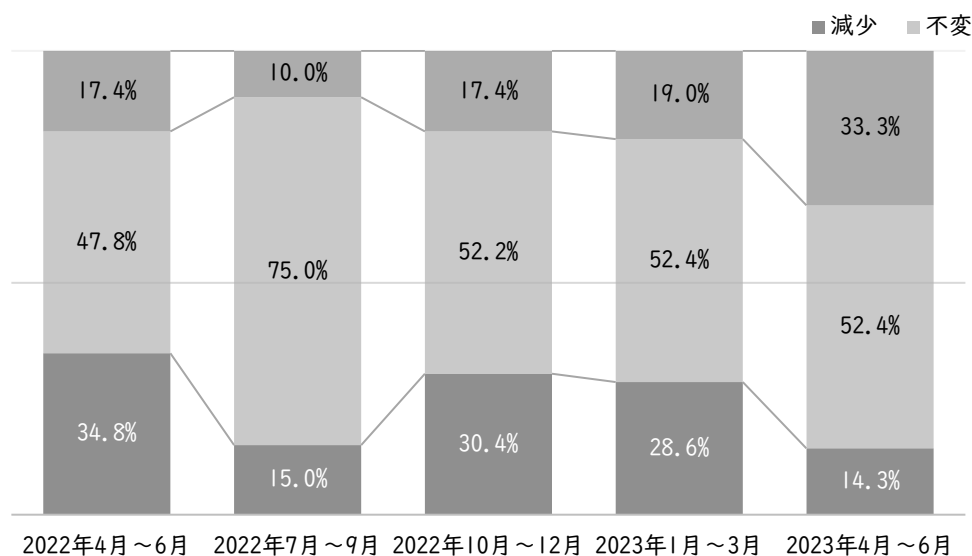


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

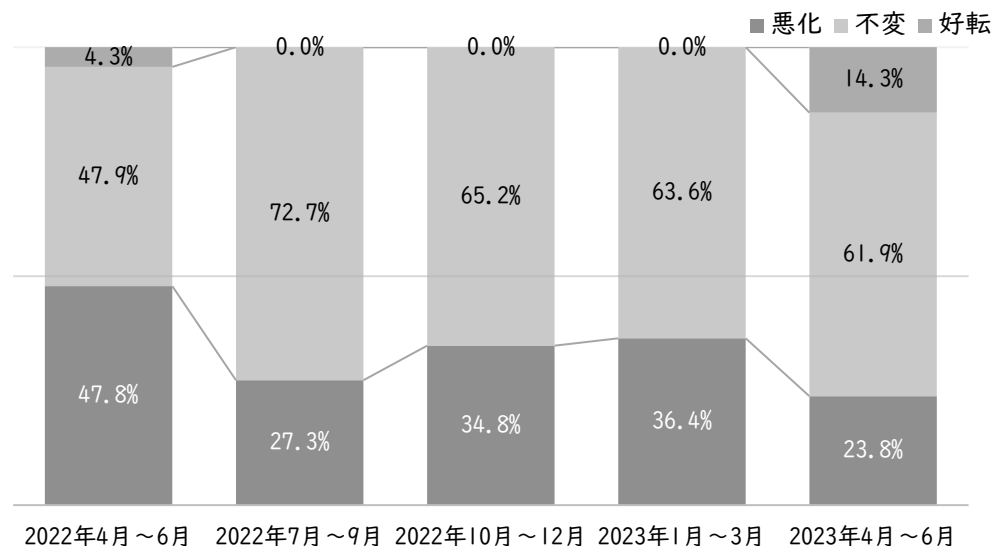


図 2 - 5 設備投資の状況

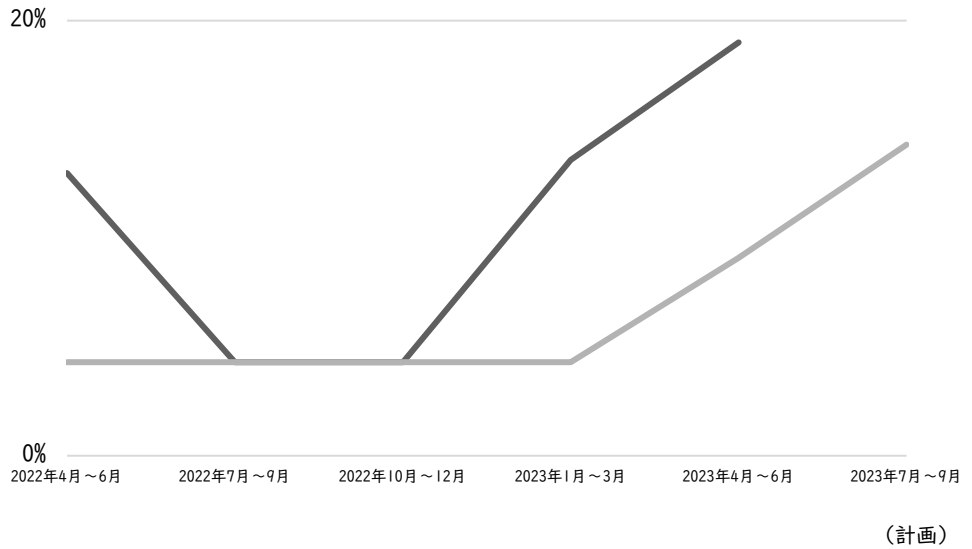


図 2 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

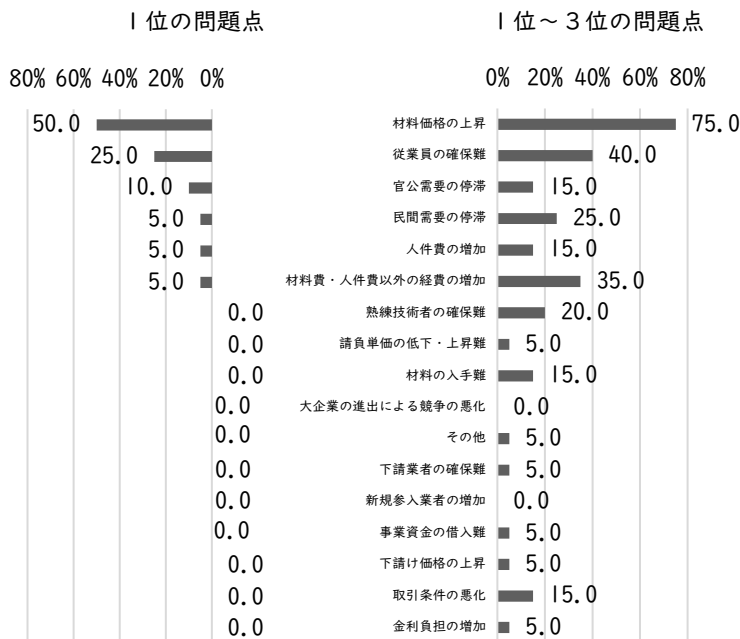


図 2 - 7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

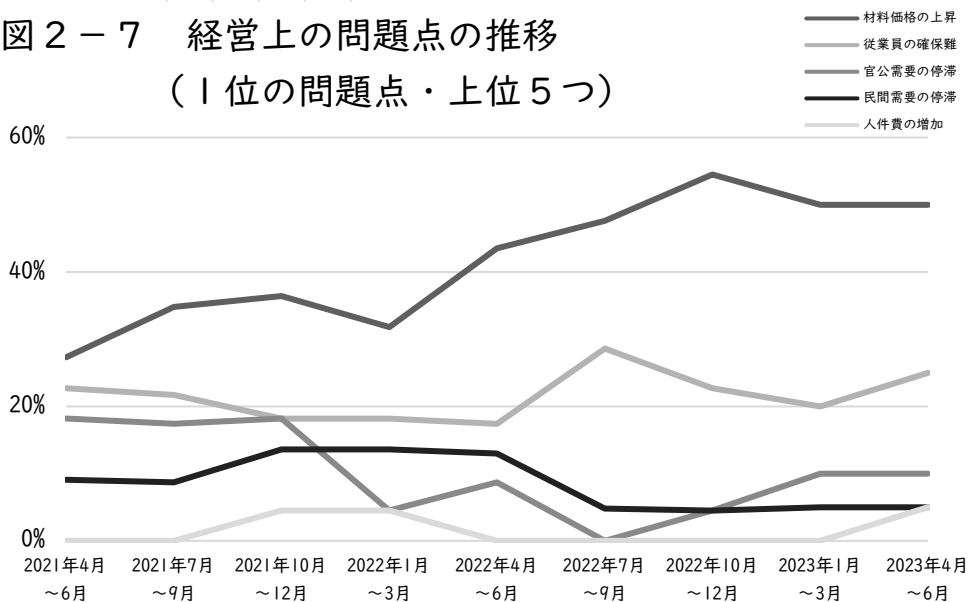


図 2 - 8 完成工事額の状況 - 前年同期比 -

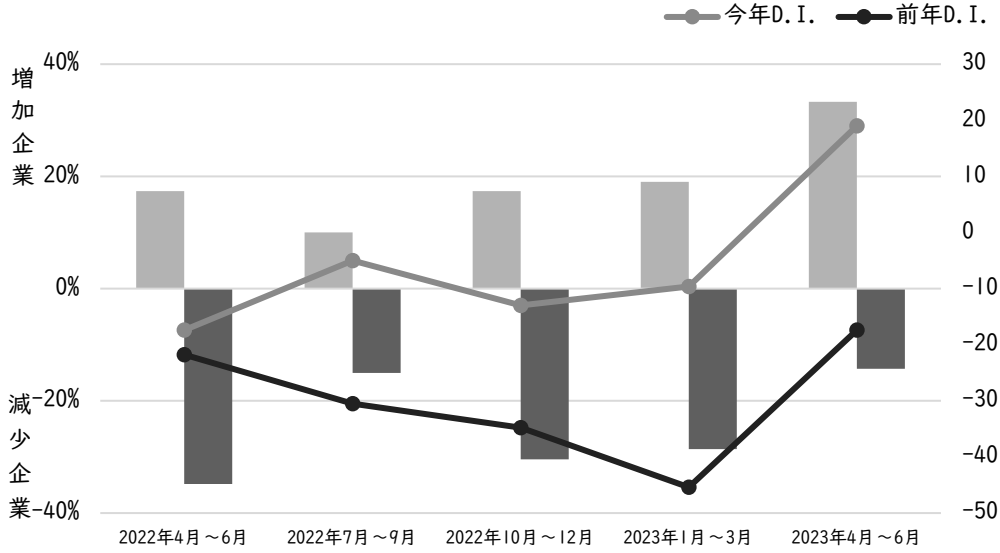
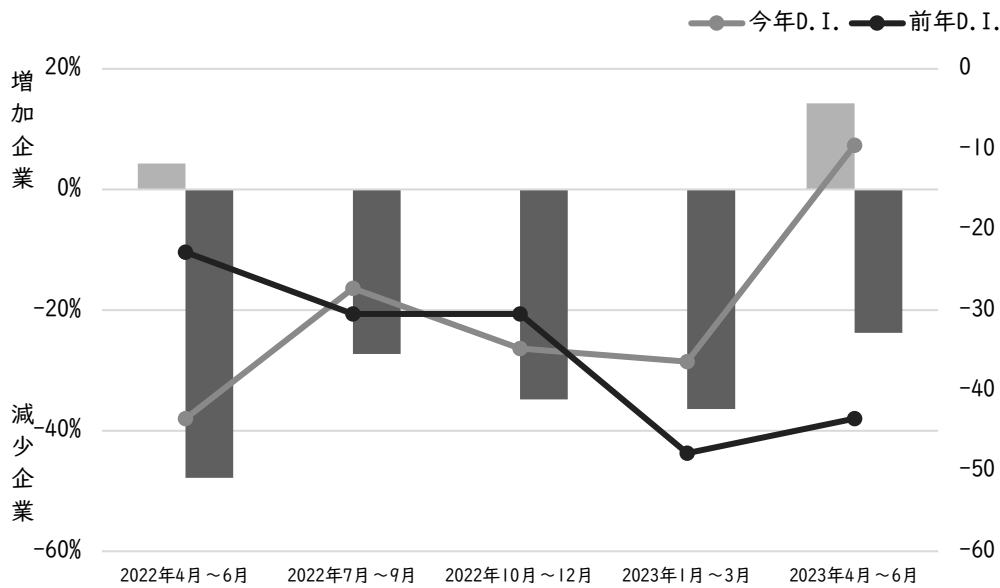


図 2 - 9 採算の状況 - 前年同期比 -



小売業の動向

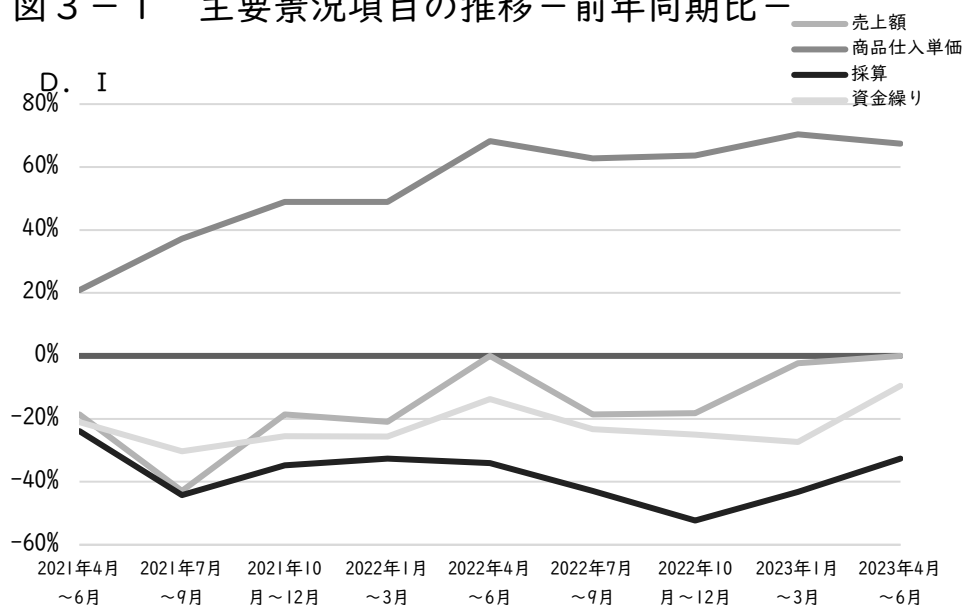
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 2.3 \rightarrow 0.0$ と2.3ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 22.8 \rightarrow \Delta 10.5$ と12.3ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 43.2 \rightarrow \Delta 32.6$ と10.6ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 43.7 \rightarrow \Delta 32.6$ と11.1ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 27.3 \rightarrow \Delta 9.5$ と17.8ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 27.3 \rightarrow \Delta 19.5$ と7.8ポイント上昇)

今期は、売上額DIでマイナス幅がプラスに改善し、採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIにおいてマイナス幅がプラスに改善した。

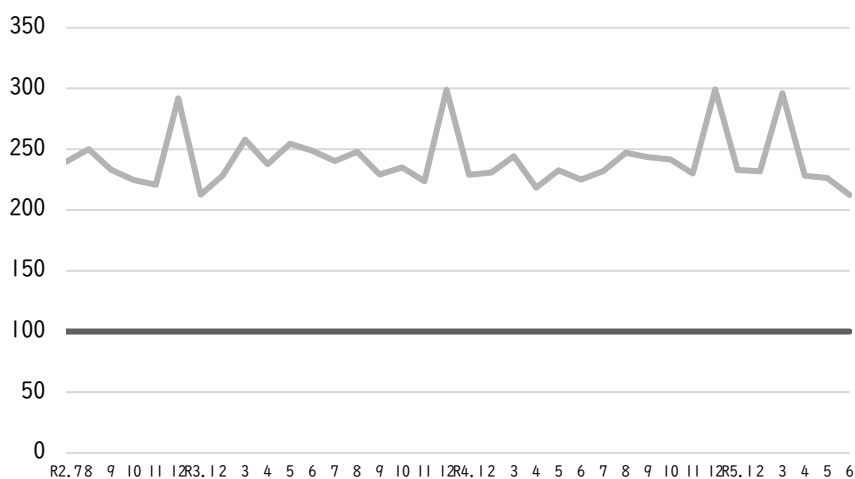
来期は、売上額DIがマイナスに悪化し、採算DIでマイナス幅の改善が、資金繰りDIは変動なしと見込まれる。

図3-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2021年4月～6月	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月
売上額	△ 18.6	△ 42.9	△ 18.6	△ 20.9	0.0
原材料仕入単価	20.9	37.2	48.9	48.9	68.2
採算	△ 23.9	△ 44.2	△ 34.8	△ 32.6	△ 34.1
資金繰り	△ 21.0	△ 30.3	△ 25.5	△ 25.6	△ 13.7

図3-2 売上額推移（月別指数）



（年月）

54年 7月～55年 6月 = 100.0（ 4597.40 千円） 全国売上額月平均

図3-3 売上額の状況－前年同期比－

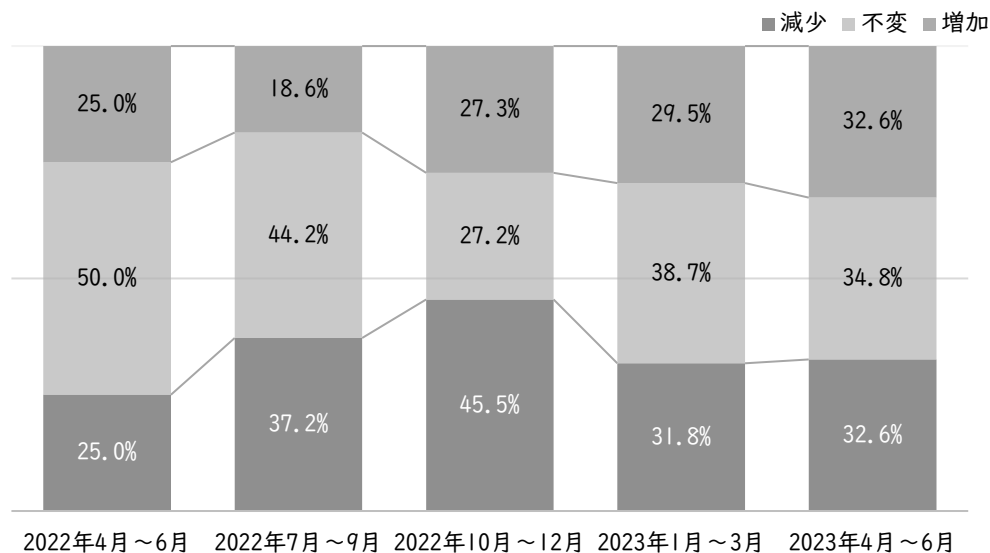


図3-4 採算の状況－前年同期比－

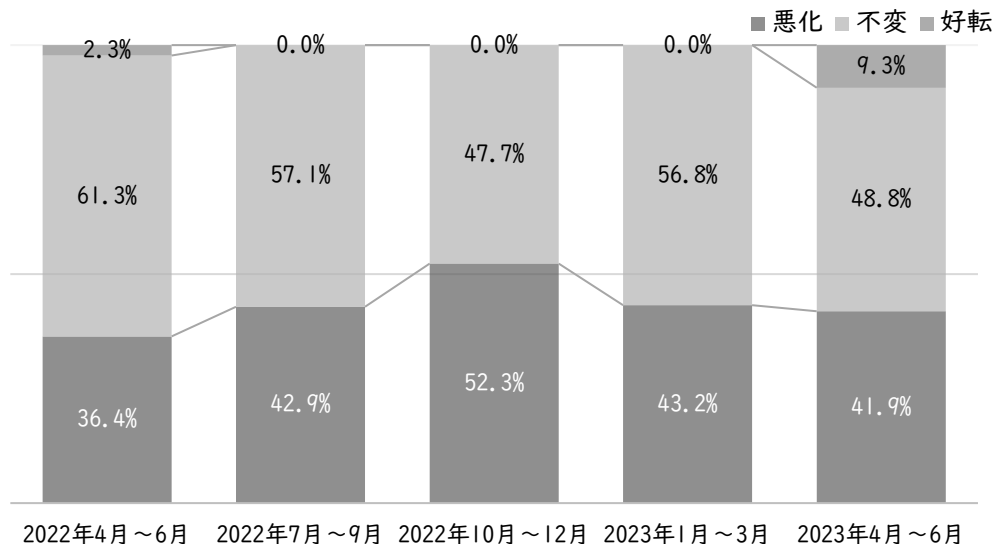


図3-5 設備投資の状況

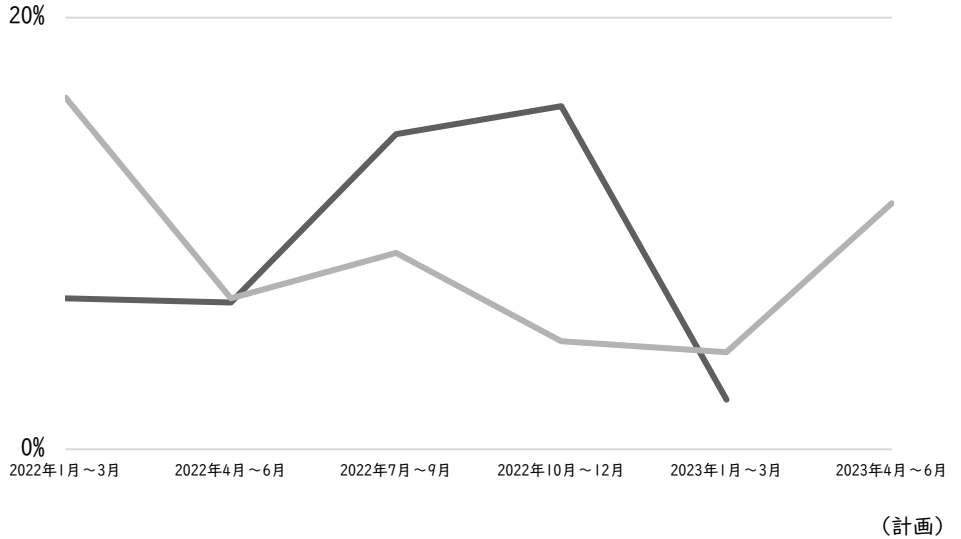


図3-6 経営上の問題点の状況（1位と1位~3位）

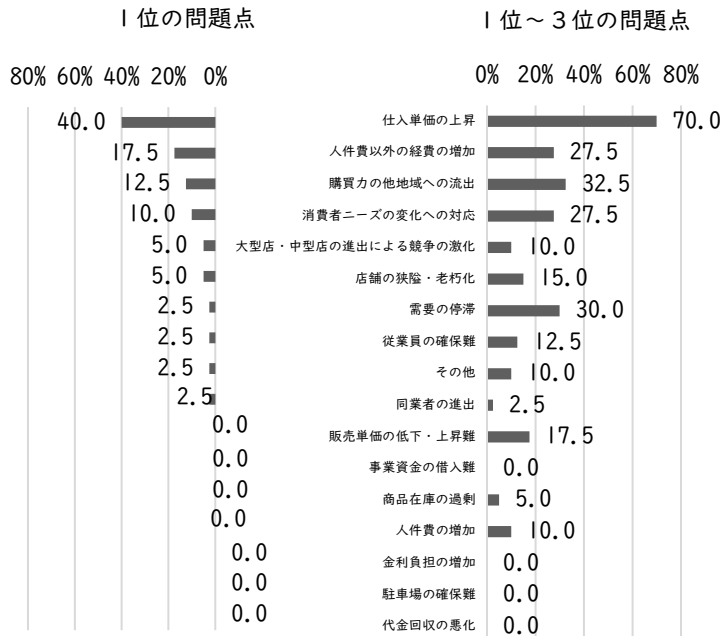


図3-7 経営上の問題点の推移
（1位の問題点・上位5つ）

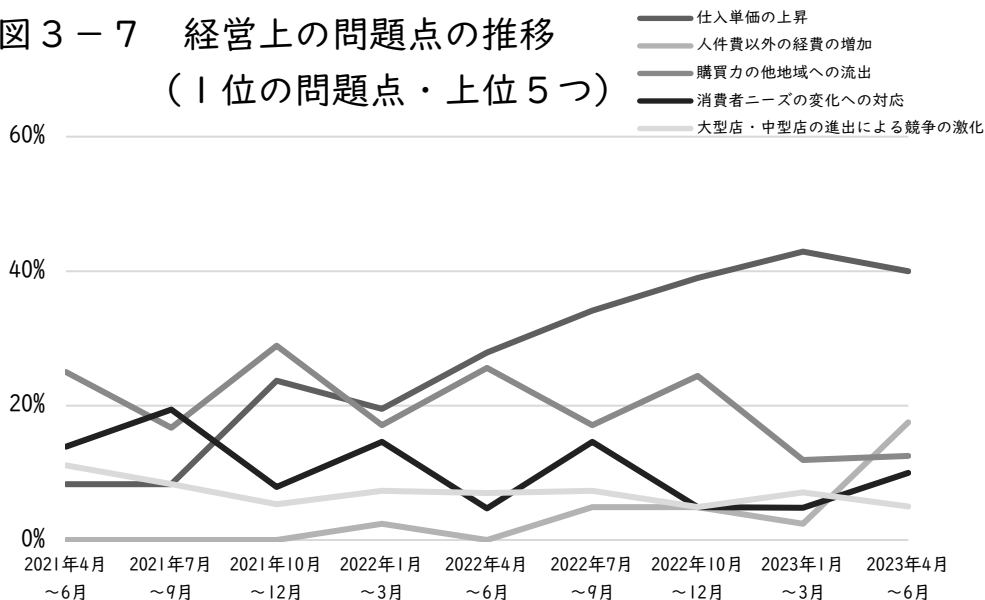


図3-8 売上額の状況－前年同期比－

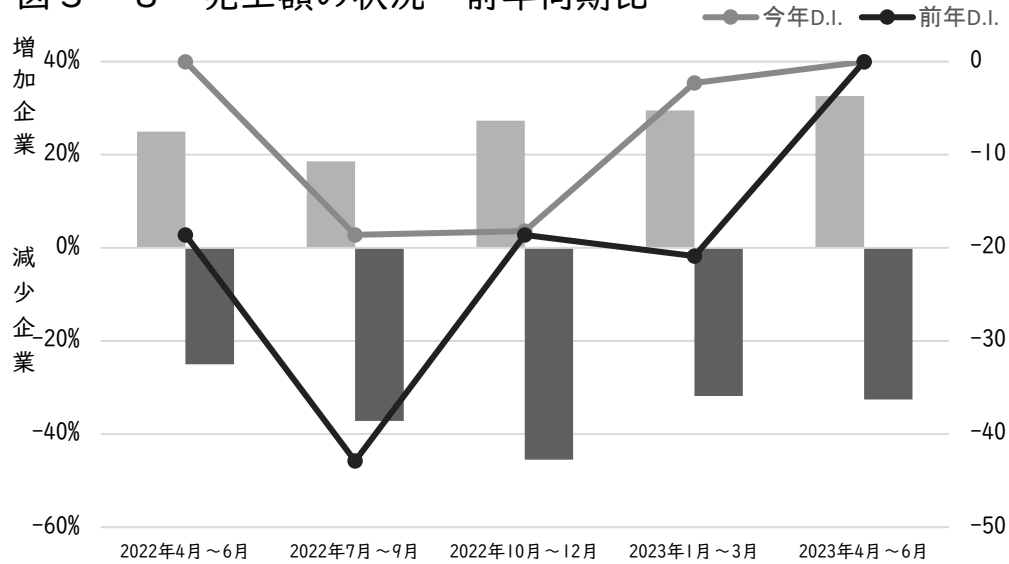
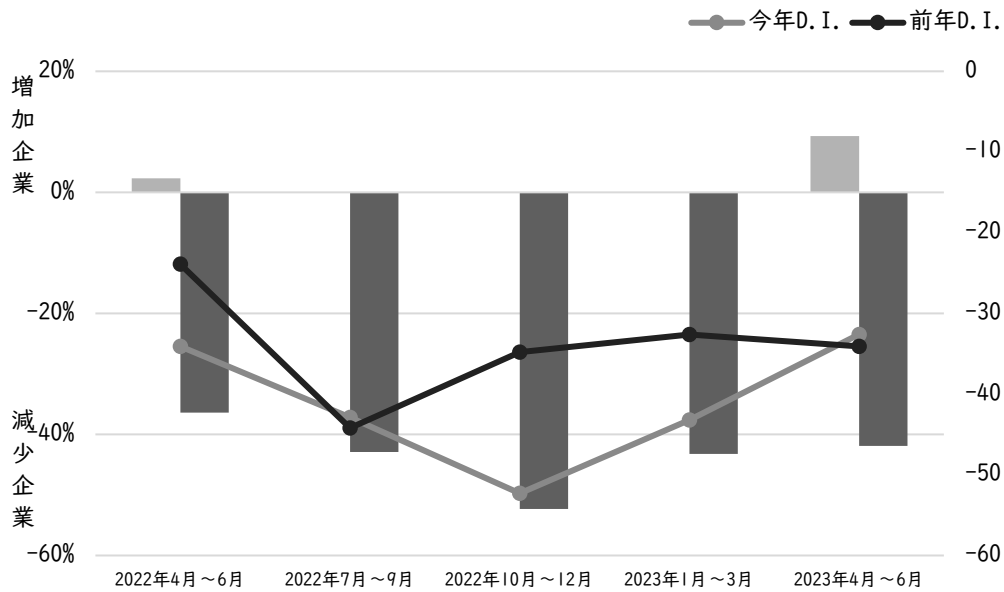


図3-9 採算の状況－前年同期比－



サービス業の動向

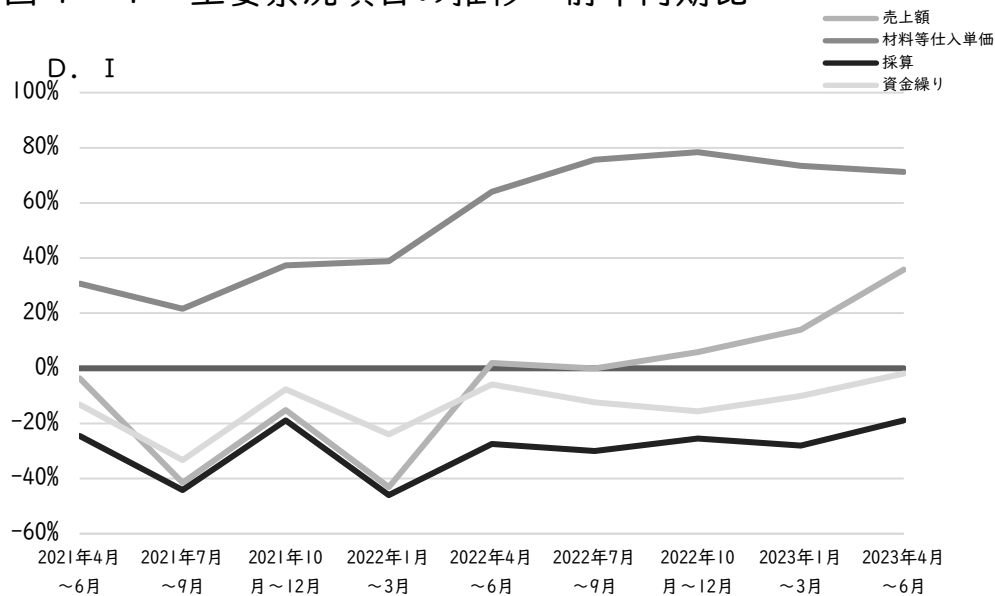
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、14.0→35.8と21.8ポイント上昇
(同全国値は、△2.6→14.5と17.1ポイント上昇)
- ・採算DI値は、△28.0→△18.9と9.1ポイント上昇
(同全国値は、△38.2→△21.8と16.4ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、△10.0→△1.9と8.1ポイント上昇
(同全国値は、△18.4→△8.5と9.9ポイント上昇)

今期は、売上額DIのプラス幅が拡大し、採算DI、資金繰りDIでマイナス幅が改善した。

来期は、売上額DIのプラス幅が減少し、採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIは変動なしと見込まれる。

図4-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2021年4月～6月	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月
売上額	△ 3.7	△ 41.5	△ 15.1	△ 43.1	1.9
原材料仕入単価	30.7	21.6	37.3	38.8	64.0
採算	△ 24.5	△ 44.2	△ 18.9	△ 46.0	△ 27.4
資金繰り	△ 13.2	△ 33.3	△ 7.6	△ 24.0	△ 5.8

図 4 - 2 売上額推移（月別指数）

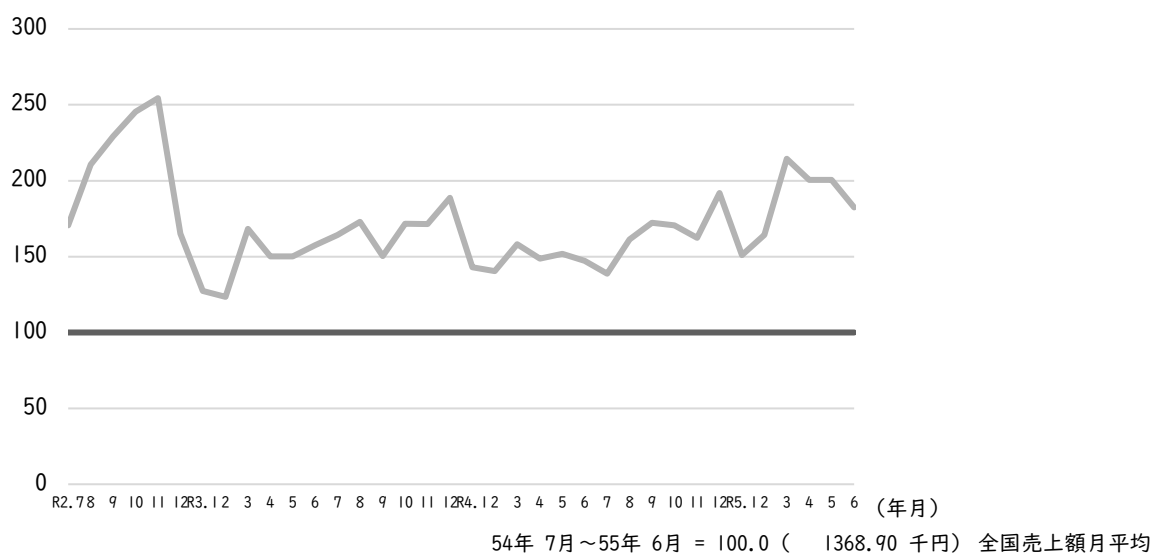


図 4 - 3 売上額の状況－前年同期比－

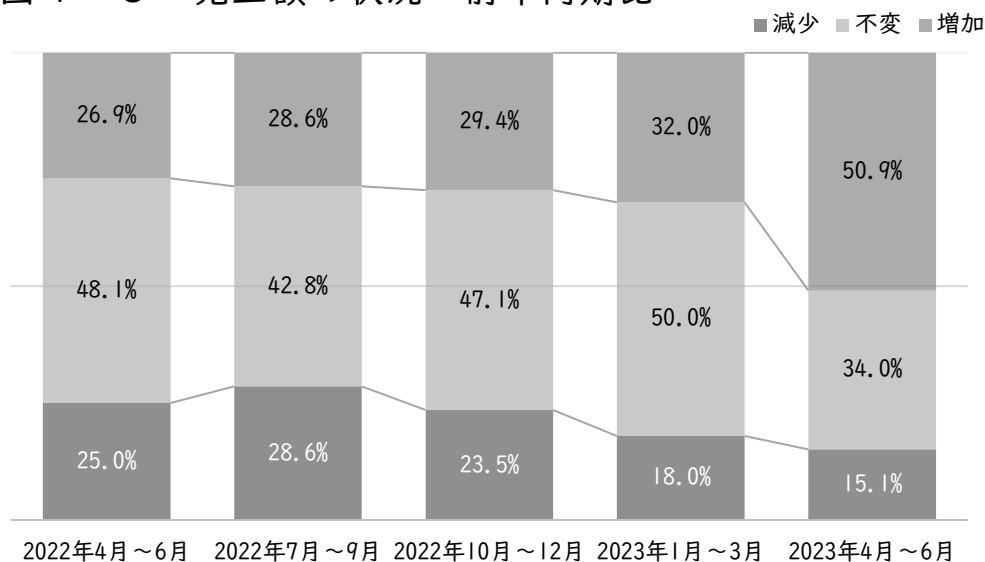


図 4 - 4 採算の状況－前年同期比－

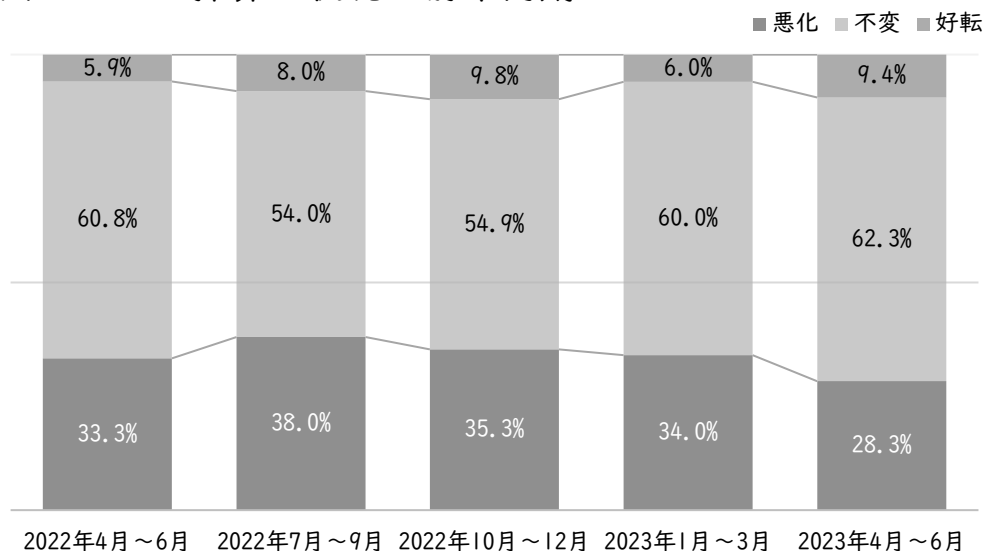


図4-5 設備投資の状況

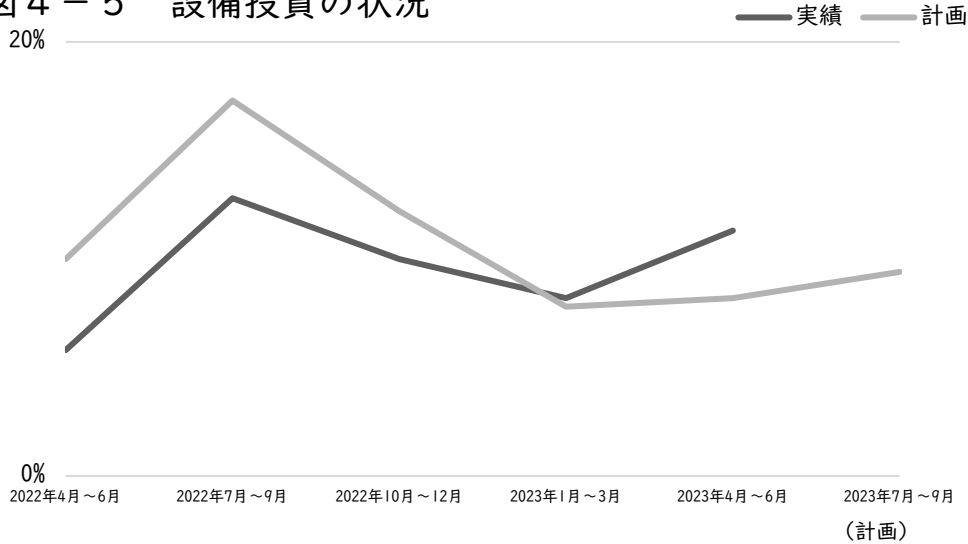


図4-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

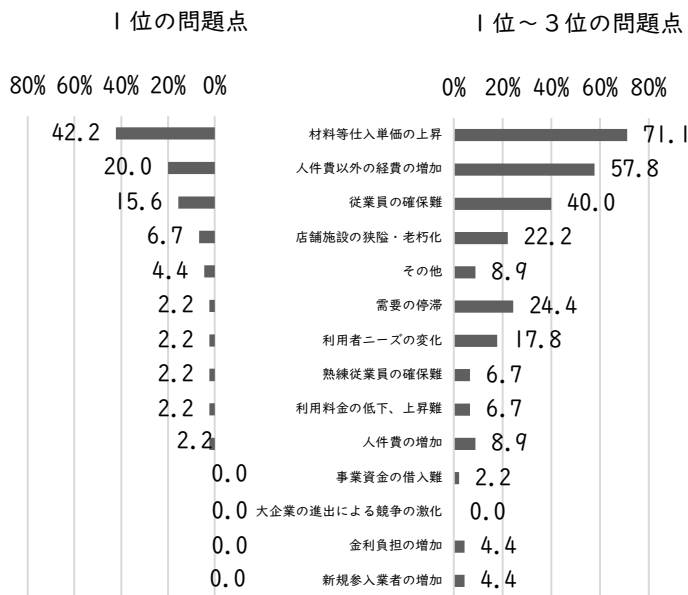


図4-7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

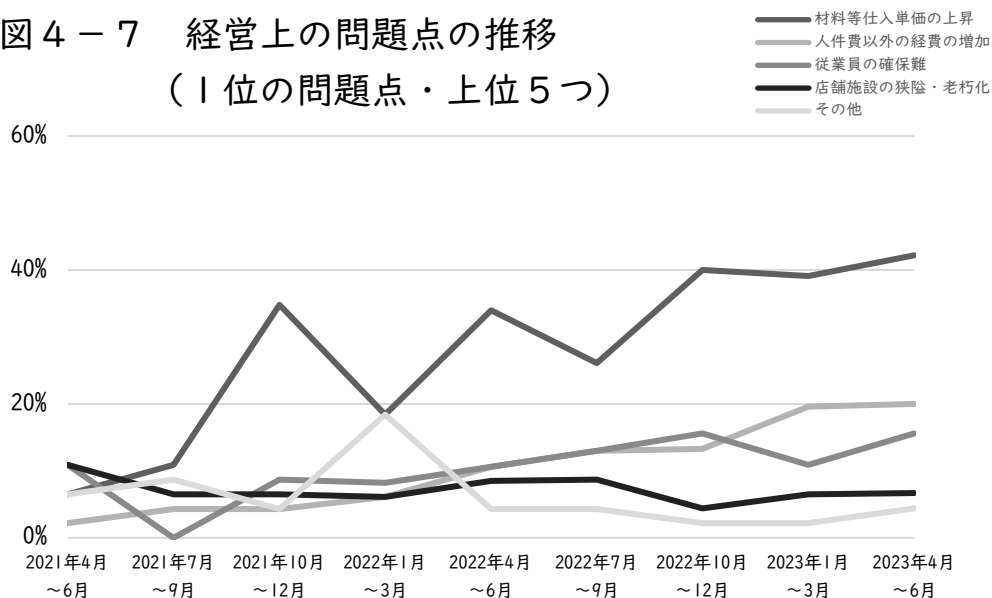


図4-8 売上額の状況－前年同期比－

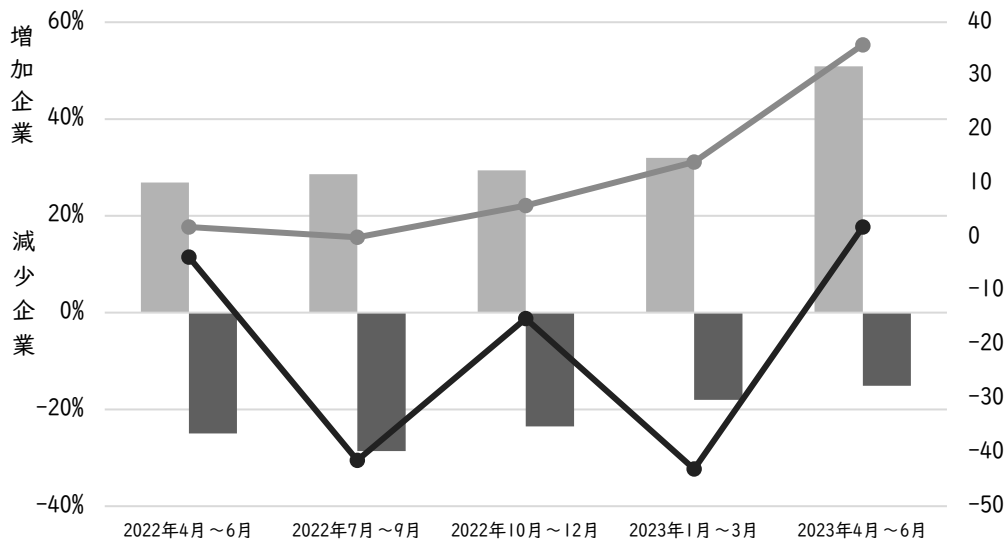
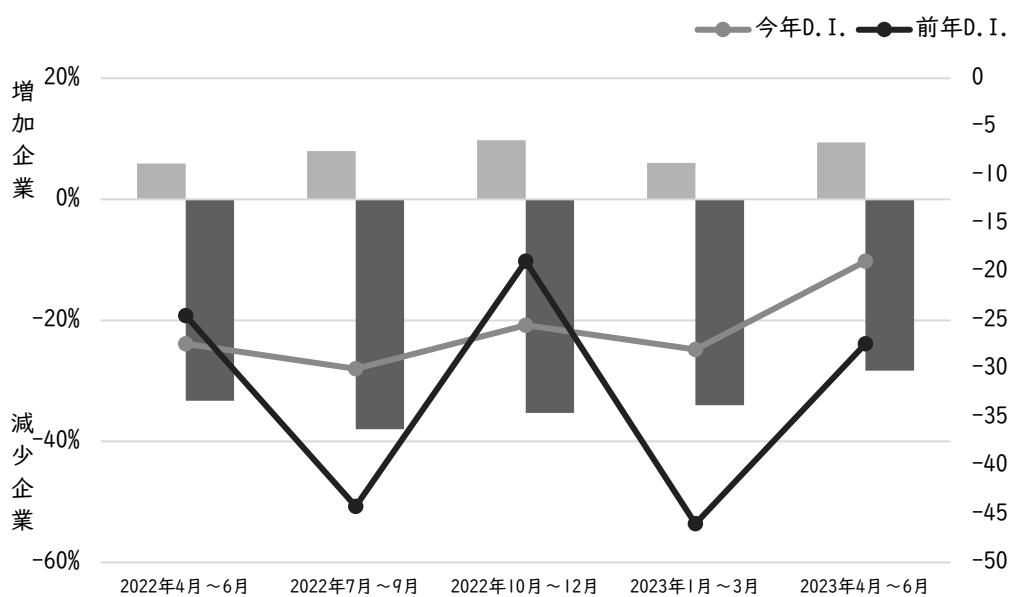
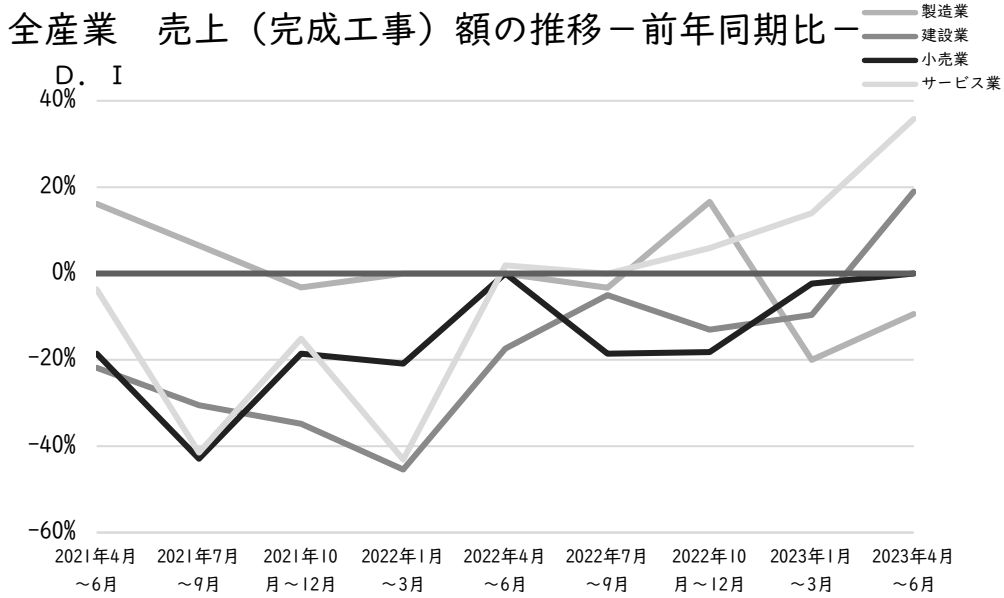


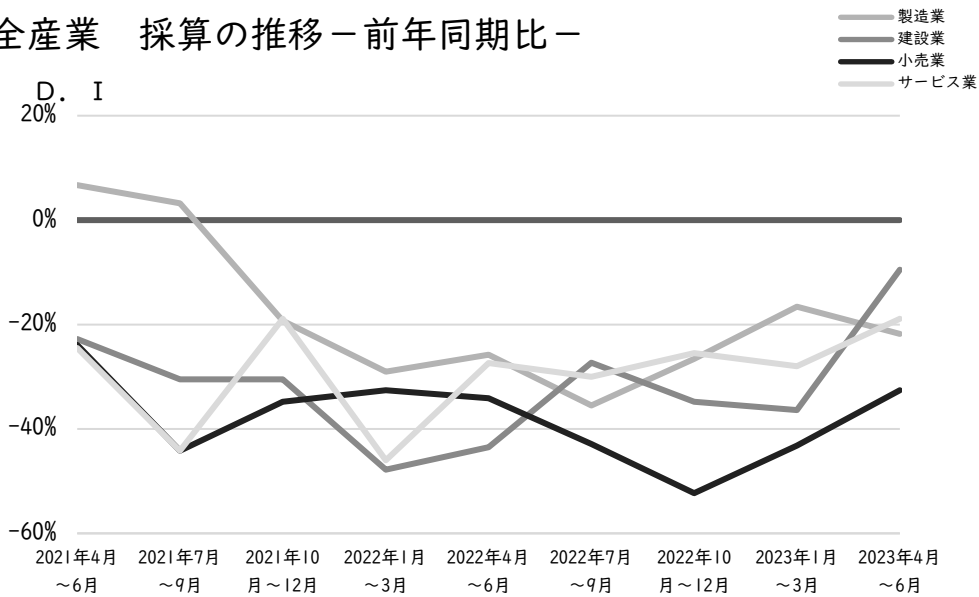
図4-9 採算の状況－前年同期比－



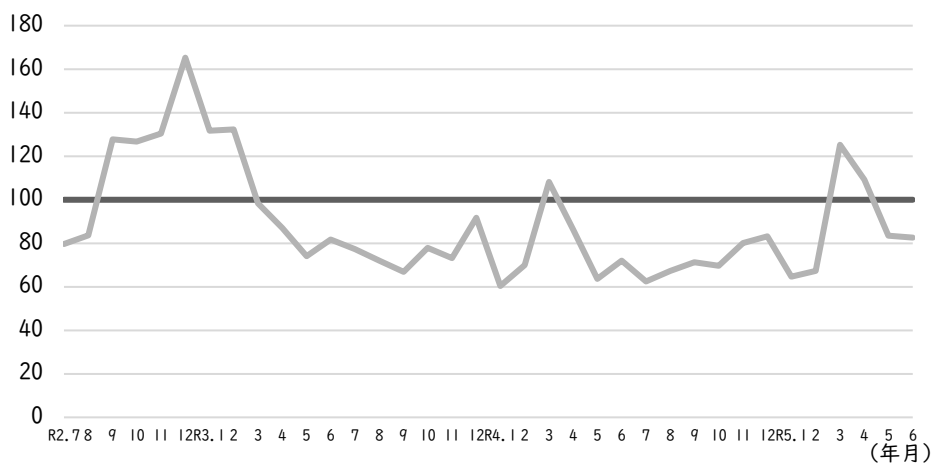
全産業の動向



全産業 採算の推移－前年同期比－



全産業 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (8213.00 千円) 全国全産業売上額月平均

中小企業景況調査報告書

2023年7月～9月期

高知県商工会連合会

中小企業景況調査

[調査事項]

1. 調査対象

(1)調査対象地区	室戸市	芸西	香南市	香美市	大豊町
	本山町	土佐地区	いの町	春野	中土佐町
	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 123企業 (回答率：82%)

2. 調査対象期間

2023年7月～9月期を対象とし、調査時点は2023年9月1日とする。

3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 回答企業数の内訳

業種	回答企業数	構成比 (%)
製造業	26	21.1
建設業	18	14.6
小売業	37	30.1
サービス業	42	34.1
合計	123	100.0

注記 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

1. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2023年7月～9月期）の状況

[製造業]

(D I 値)

項目 \ 期	2023年4月～6月	2023年7月～9月	対前期比
売上額	△ 9.4	△ 19.2	9.8ポイント下降
採算	△ 21.8	△ 15.4	6.4ポイント上昇
資金繰り	△ 16.2	△ 15.4	0.8ポイント上昇

[建設業]

(D I 値)

項目 \ 期	2023年4月～6月	2023年7月～9月	対前期比
完成工事額	19.0	△ 16.6	35.6ポイント下降
採算	△ 9.5	△ 5.9	3.6ポイント上昇
資金繰り	4.8	0.0	4.8ポイント下降

[小売業]

(D I 値)

項目 \ 期	2023年4月～6月	2023年7月～9月	対前期比
売上額	0.0	△ 13.5	13.5ポイント下降
採算	△ 32.6	△ 37.8	5.2ポイント下降
資金繰り	△ 9.5	△ 16.2	6.7ポイント下降

[サービス業]

(D I 値)

項目 \ 期	2023年4月～6月	2023年7月～9月	対前期比
売上額	35.8	26.2	9.6ポイント下降
採算	△ 18.9	△ 7.2	11.7ポイント上昇
資金繰り	△ 1.9	△ 4.8	2.9ポイント下降

○来期見通し(2023年10月～12月期)

(D I 値)

業種 \ 区分	売上額 完成工事額	採算	資金繰り
製造業	0.0	△ 15.4	△ 15.4
建設業	△ 22.2	0.0	5.6
小売業	△ 16.2	△ 29.7	△ 18.9
サービス業	16.7	2.3	△ 2.4

2. 産 業 別 景 況

製造業の動向

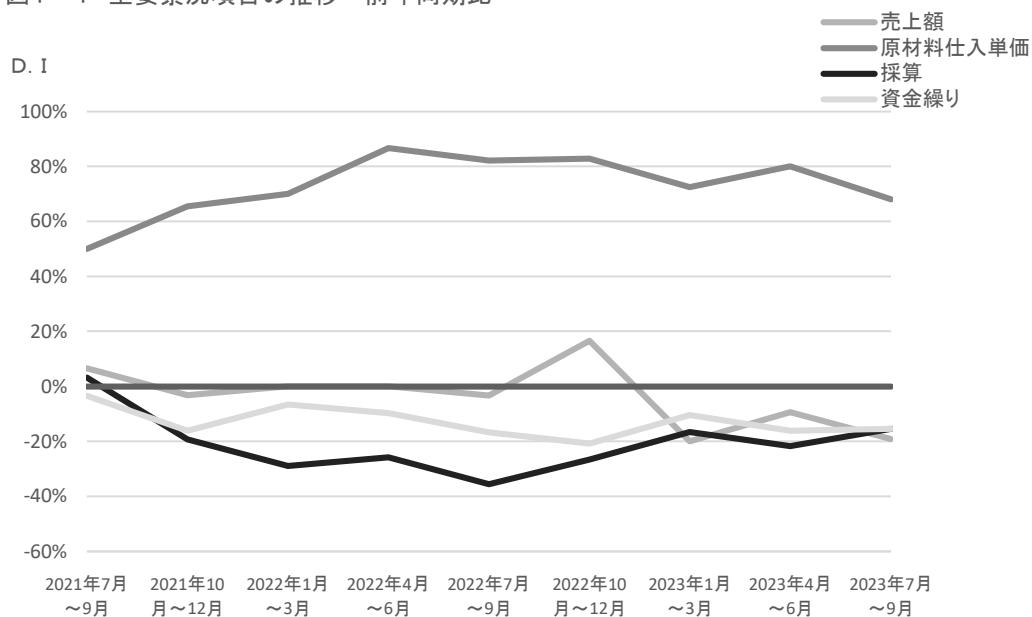
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 9.4 \rightarrow \Delta 19.2$ と9.8ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 1.5 \rightarrow \Delta 5.0$ と3.5ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 21.8 \rightarrow \Delta 15.4$ と6.4ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 20.3 \rightarrow \Delta 21.9$ と1.6ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 16.2 \rightarrow \Delta 15.4$ と0.8ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 11.6 \rightarrow \Delta 13.8$ と2.2ポイント下降)

今期は、売上額DIでマイナス幅が拡大し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が改善した。

来期は、売上額DIでマイナスが改善し、採算DI・資金繰りDIはともに変更なしと見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目 \ 期	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月
売上額	6.5	△ 3.2	0.0	0.0	△ 3.3
原材料仕入単価	50.0	65.5	70.0	86.7	82.1
採算	3.2	△ 19.3	△ 29.0	△ 25.8	△ 35.5
資金繰り	△ 3.4	△ 16.1	△ 6.6	△ 9.7	△ 16.7

図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

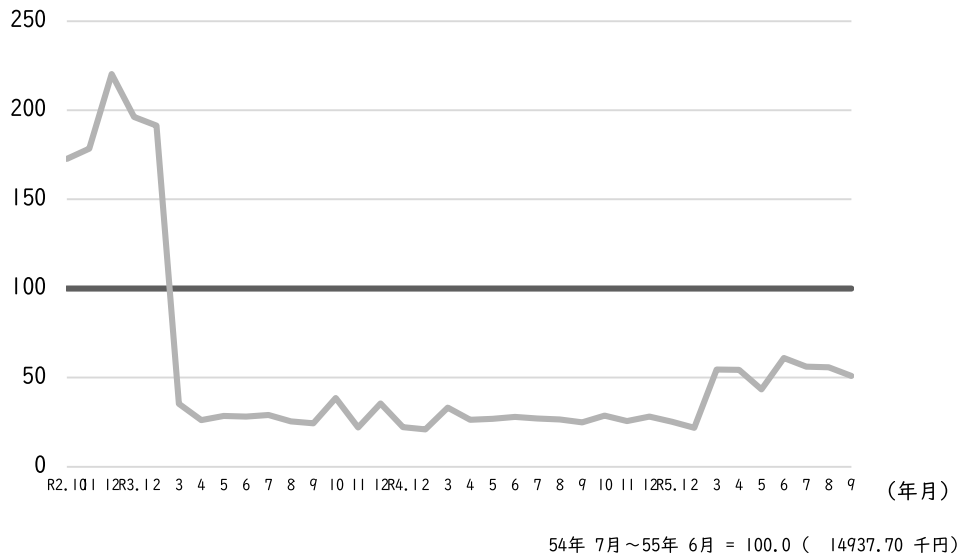


図 1 - 3 売上額の状況－前年同期比－

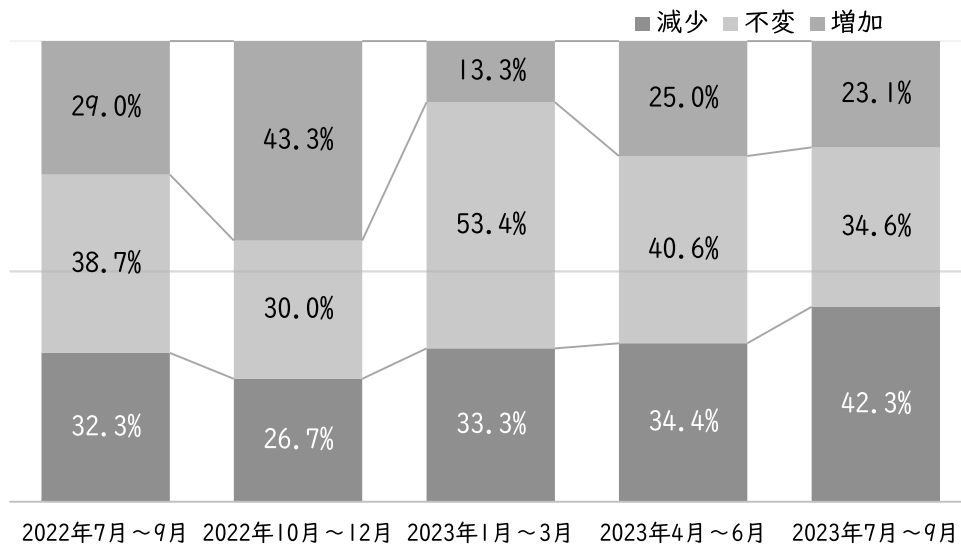


図 1 - 4 採算の状況－前年同期比－

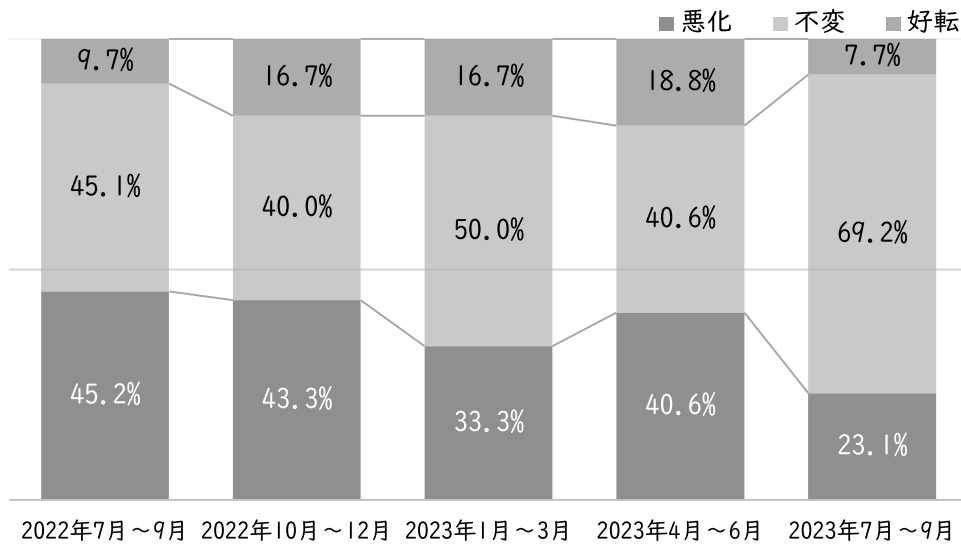
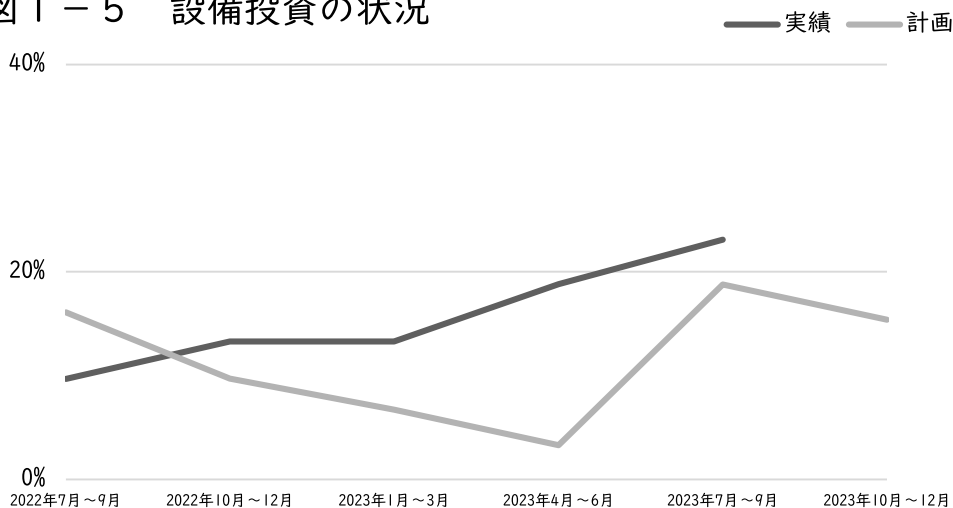


図 1-5 設備投資の状況



(計画)

図 1-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

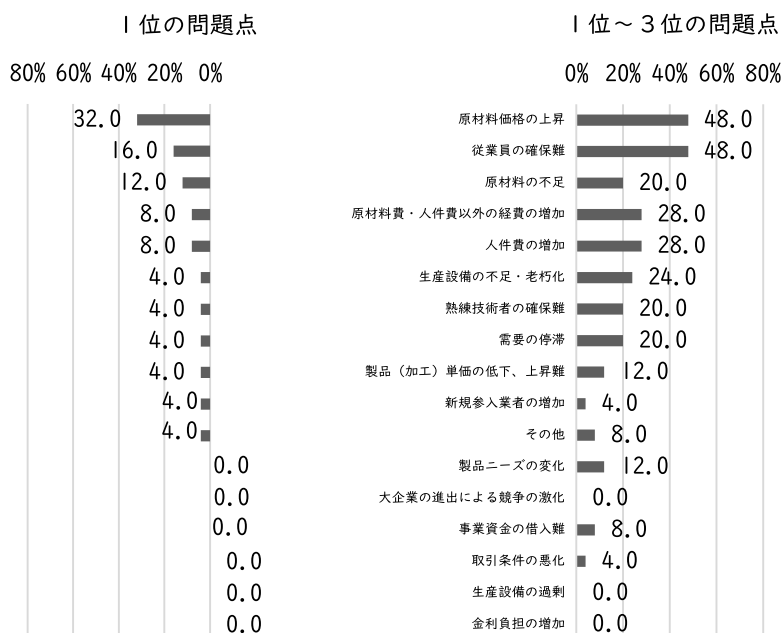


図 1-7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

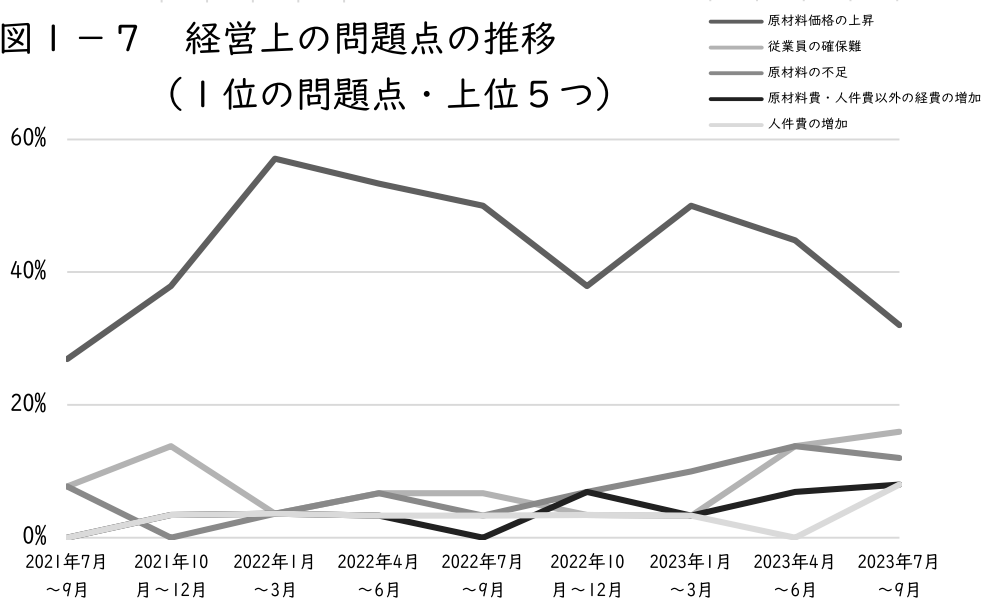


図1-8 売上額の状況－前年同期比－

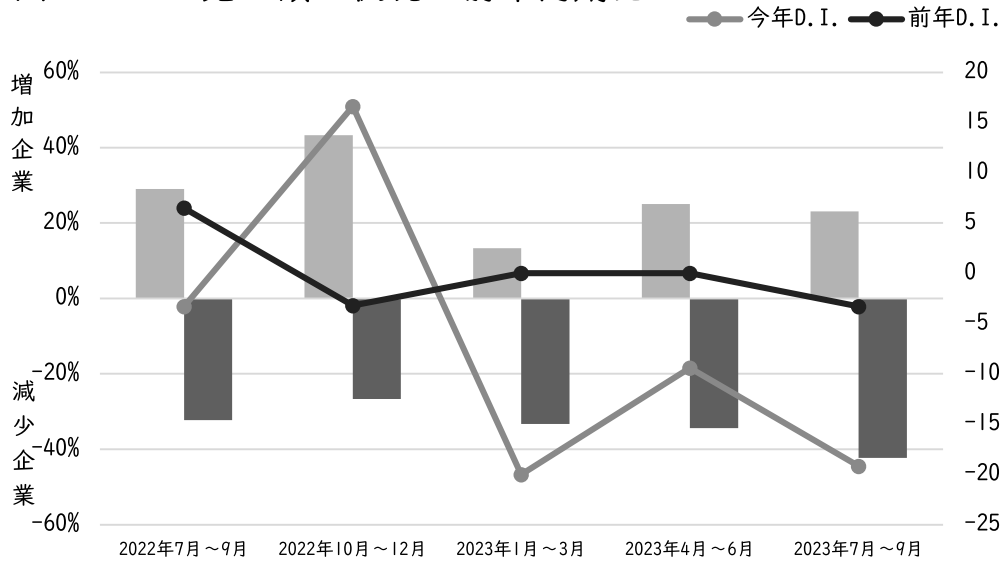
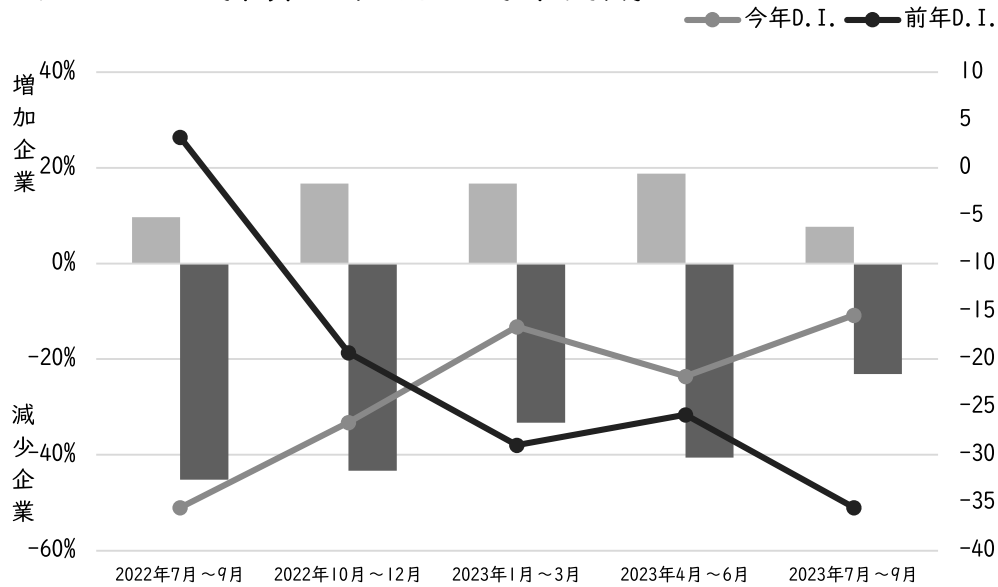


図1-9 採算の状況－前年同期比－



建設業の動向

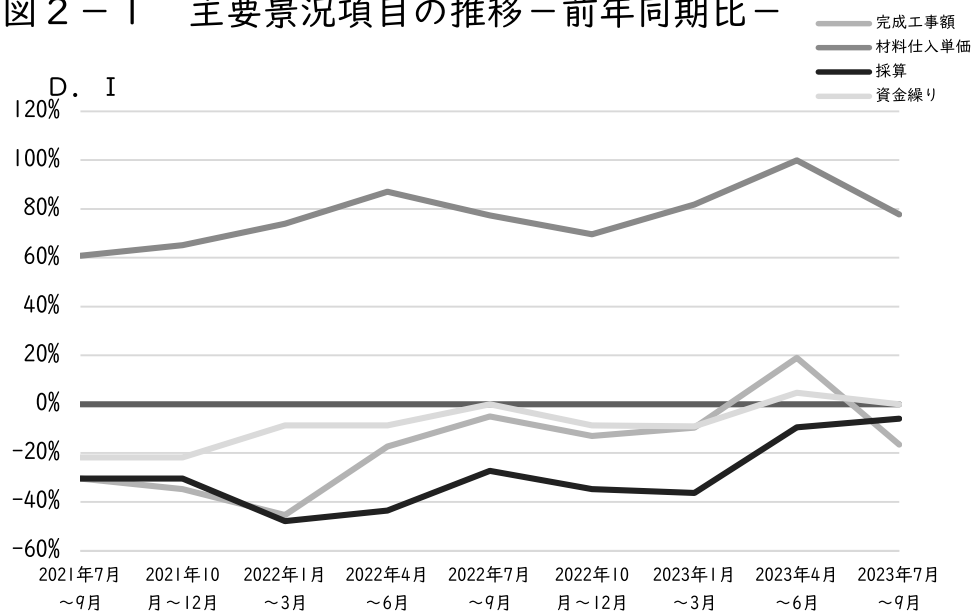
○主要景況項目から見た概要

- ・完成工事額DI値は、19.0→△16.6と35.6ポイント下降
(同全国値は、△11.6→△14.0と2.4ポイント下降)
- ・採算DI値は、△9.5→△5.9と3.6ポイント上昇
(同全国値は、△25.8→△26.9と1.1ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、4.8→0.0と4.8ポイント下降
(同全国値は、△7.0→△11.4と4.4ポイント下降)

今期は、完成工事額DIがマイナスに悪化し、採算DIにおいてはマイナス幅が改善し、資金繰りDIにおいてはプラス幅が減少した。

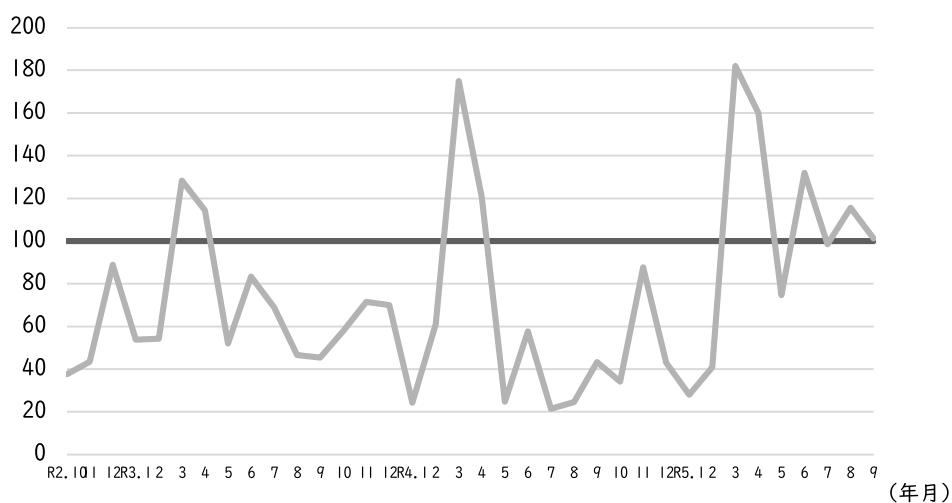
来期は、完成工事額DIでマイナス幅が拡大し、採算DIではマイナスが改善し、資金繰りDIではプラスに改善することが見込まれる。

図2-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目	期	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月
売上額		△ 30.5	△ 34.8	△ 45.4	△ 17.4	△ 5.0
原材料仕入単価		60.9	65.2	73.9	87.0	77.3
採算		△ 30.5	△ 30.5	△ 47.8	△ 43.5	△ 27.3
資金繰り		△ 21.7	△ 21.7	△ 8.7	△ 8.7	0.0

図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (14128.40 千円) 全国完成工事額月平均

図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

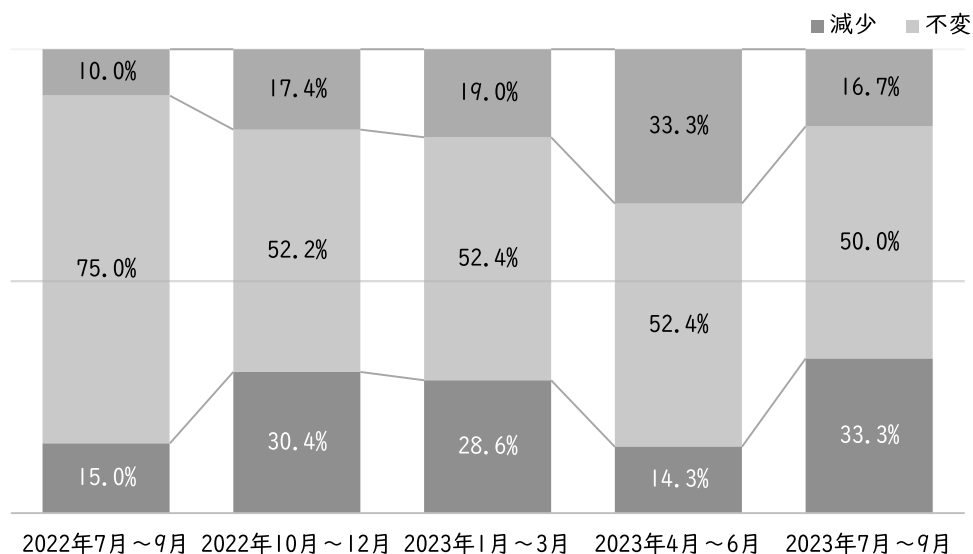


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

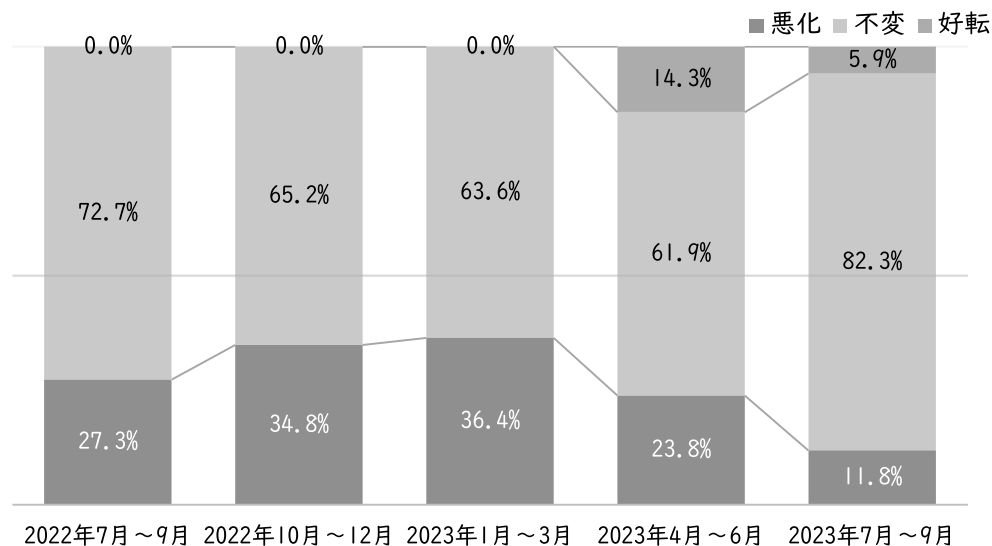
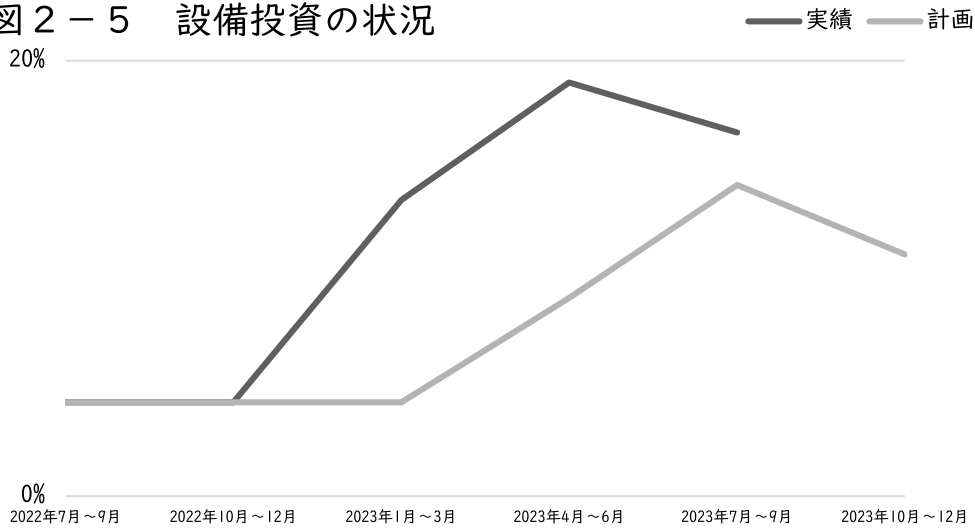


図 2 - 5 設備投資の状況



(計画)

図 2 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

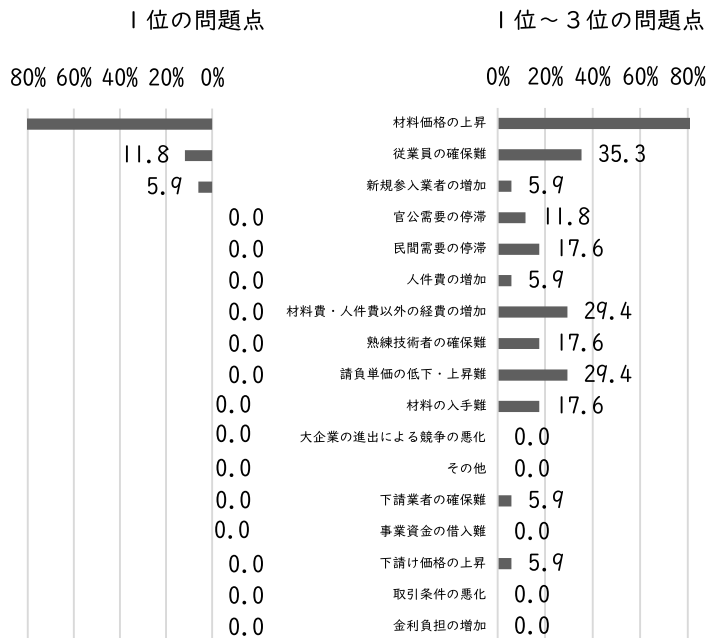


図 2 - 7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

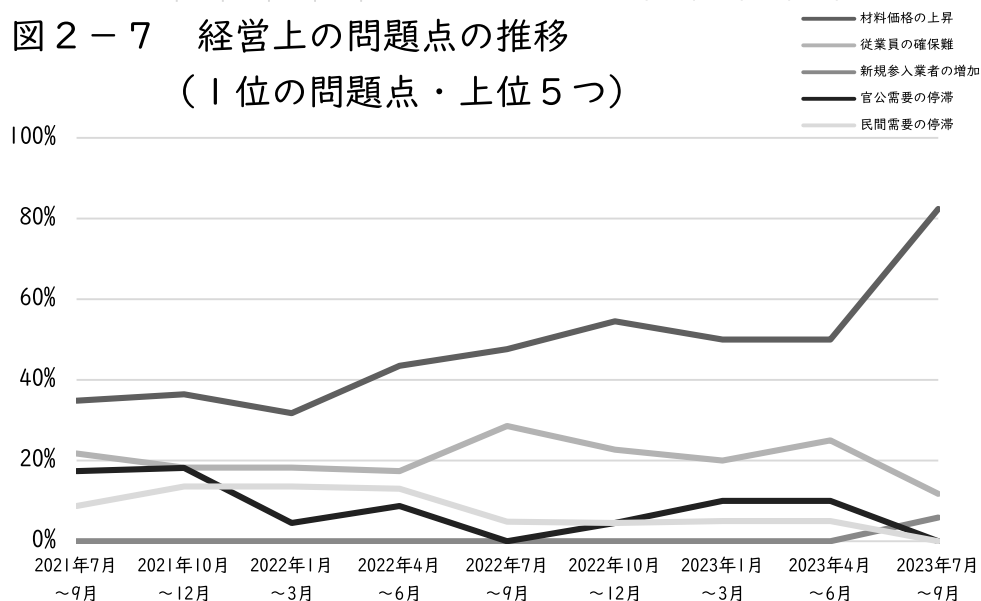


図 2 - 8 完成工事額の状況 - 前年同期比 -

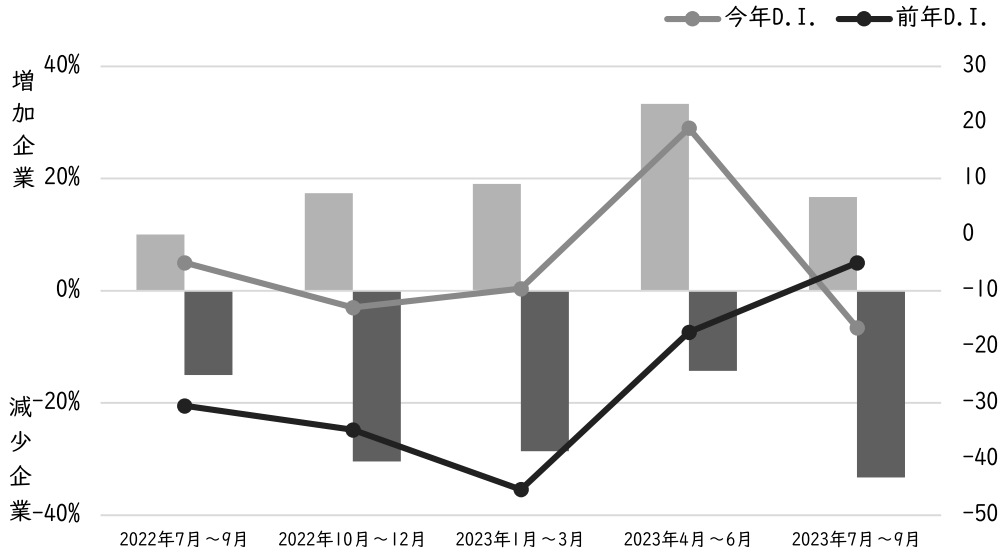
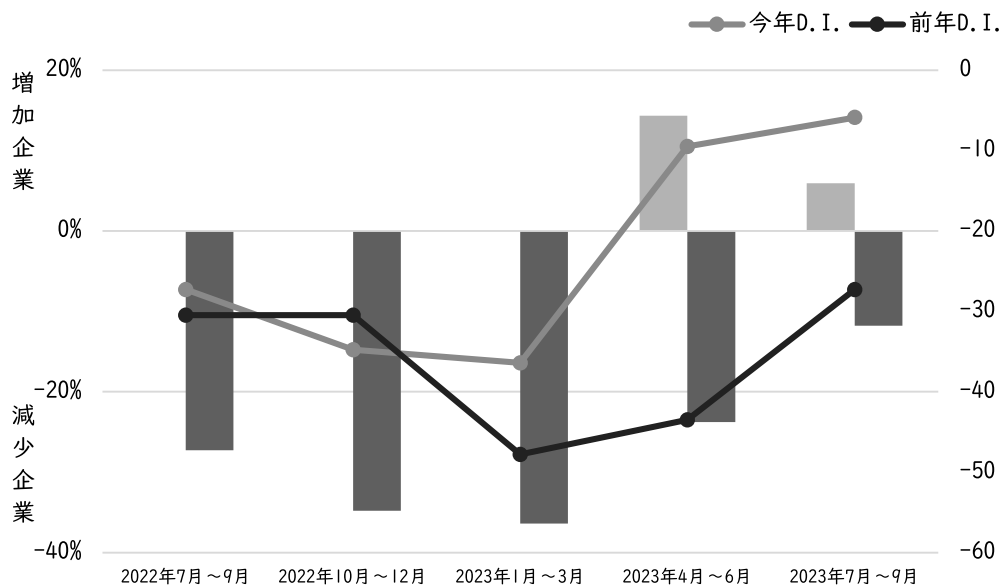


図 2 - 9 採算の状況 - 前年同期比 -



小売業の動向

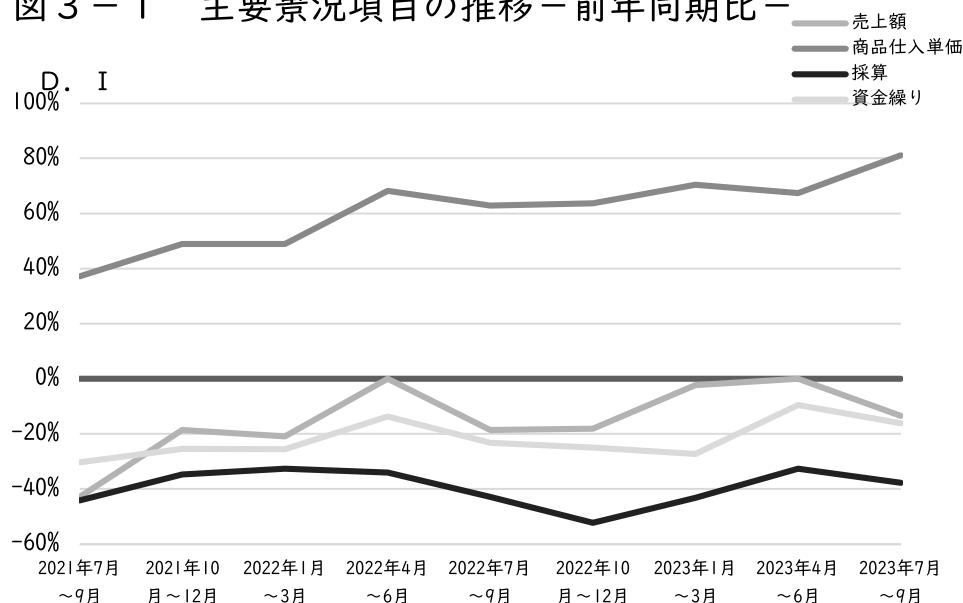
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、0.0→△13.5と13.5ポイント下降
(同全国値は、△10.5→△12.6と2.1ポイント下降)
- ・採算DI値は、△32.6→△37.8と5.2ポイント下降
(同全国値は、△32.6→△35.0と2.4ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、△9.5→△16.2と6.7ポイント下降
(同全国値は、△19.5→△21.1と1.6ポイント下降)

今期は、売上額DIでマイナスに悪化し、採算DI・資金繰りDIにおいてマイナス幅が拡大した。

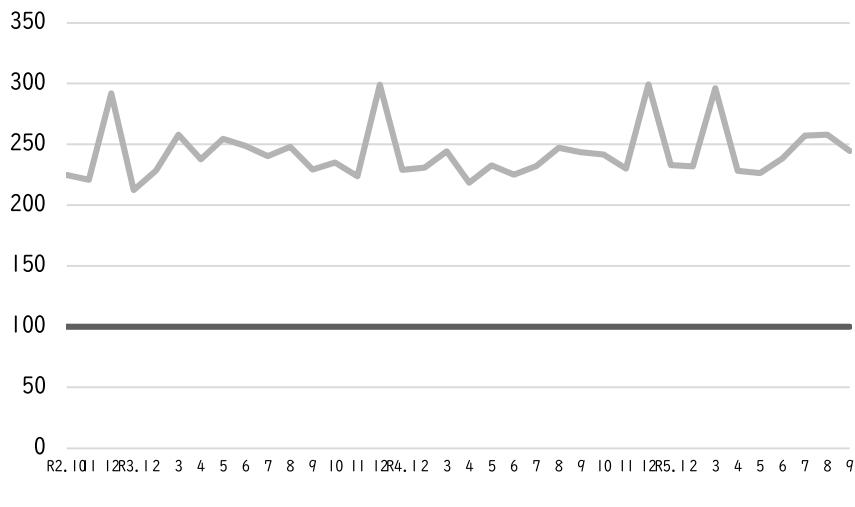
来期は、売上額DIでマイナス幅が拡大し、採算DIではマイナス幅の改善が、資金繰りDIではマイナス幅が拡大すると見込まれる。

図3-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目	期	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月
売上額		△ 42.9	△ 18.6	△ 20.9	0.0	△ 18.6
原材料仕入単価		37.2	48.9	48.9	68.2	62.8
採算		△ 44.2	△ 34.8	△ 32.6	△ 34.1	△ 42.9
資金繰り		△ 30.3	△ 25.5	△ 25.6	△ 13.7	△ 23.3

図3-2 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (4597.40 千円) 全国売上額月平均

図3-3 売上額の状況－前年同期比－

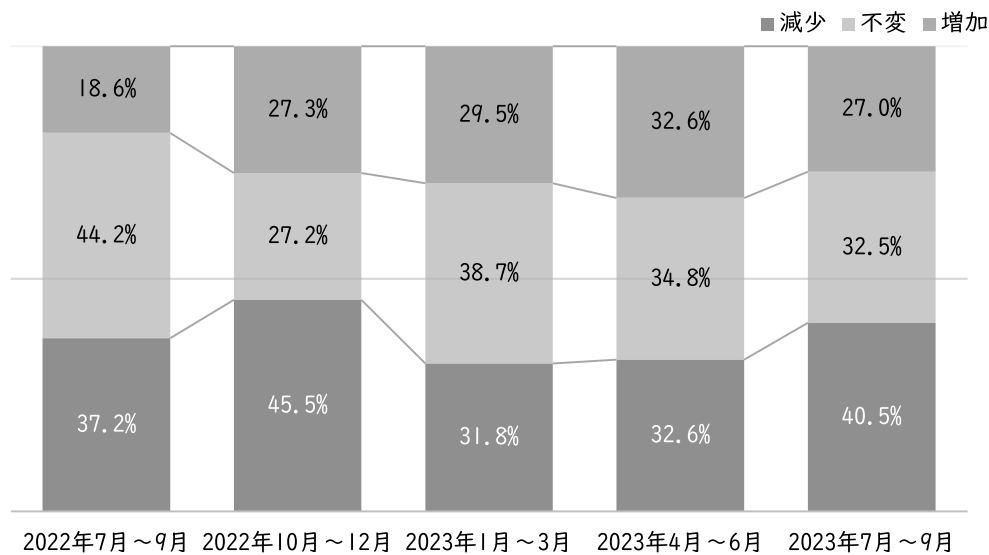


図3-4 採算の状況－前年同期比－

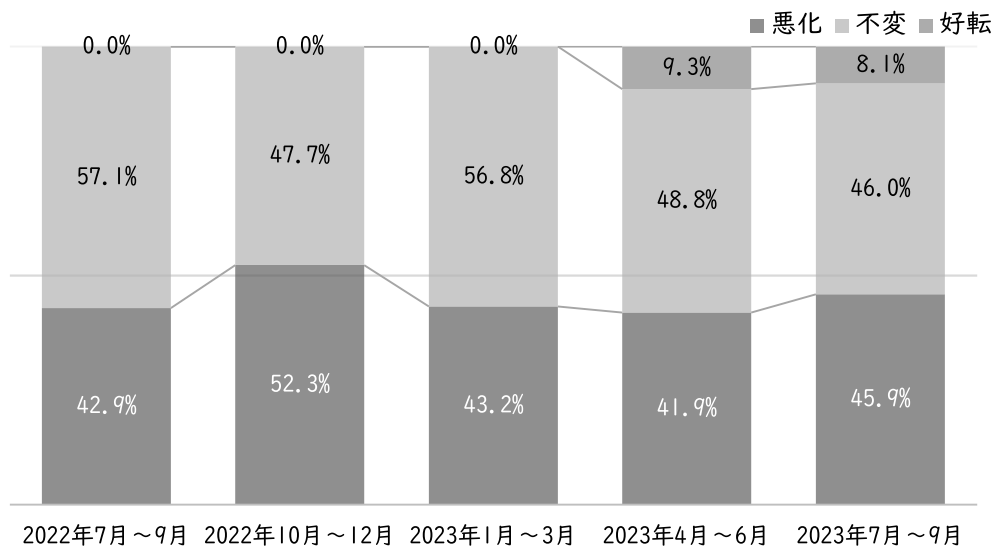


図3-5 設備投資の状況

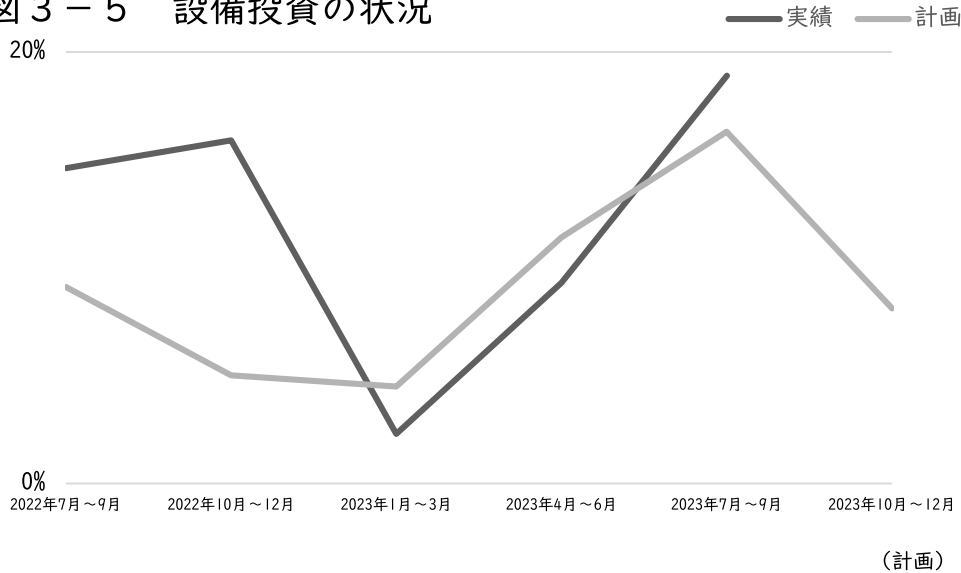


図3-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

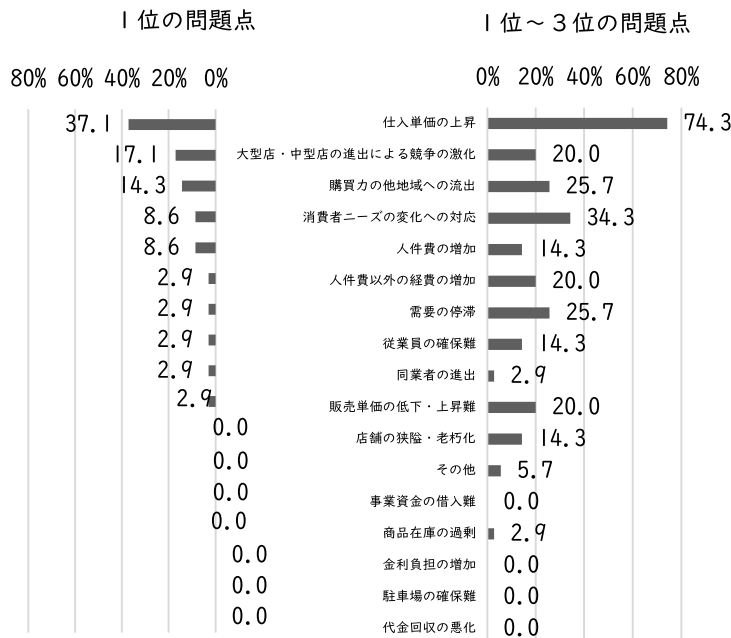


図3-7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

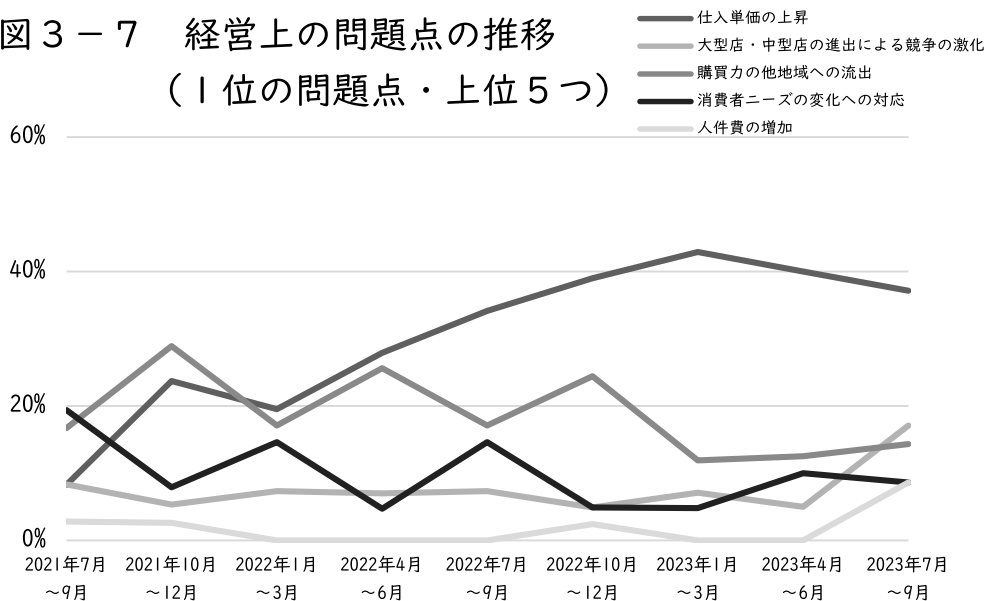


図3-8 売上額の状況－前年同期比－

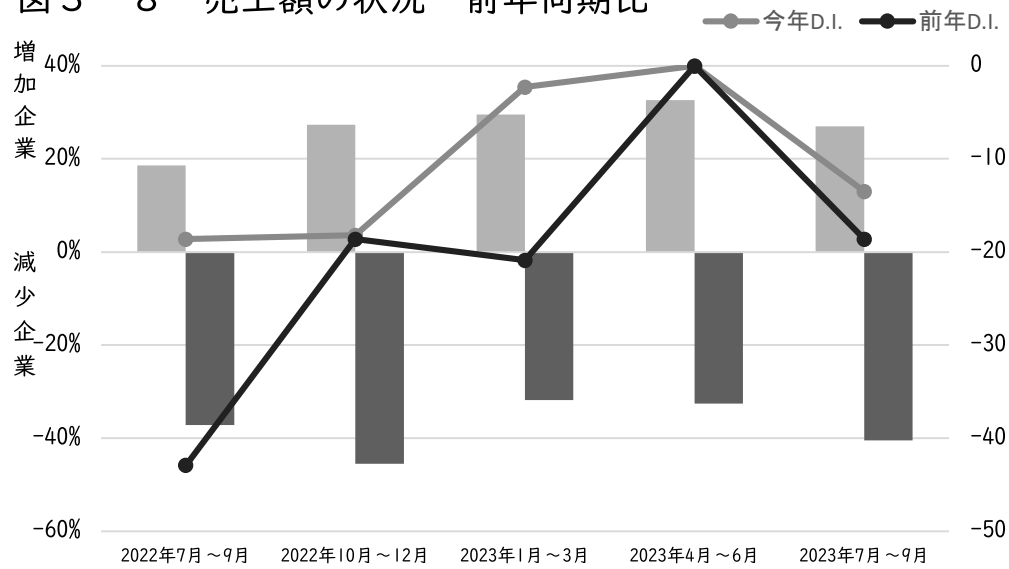
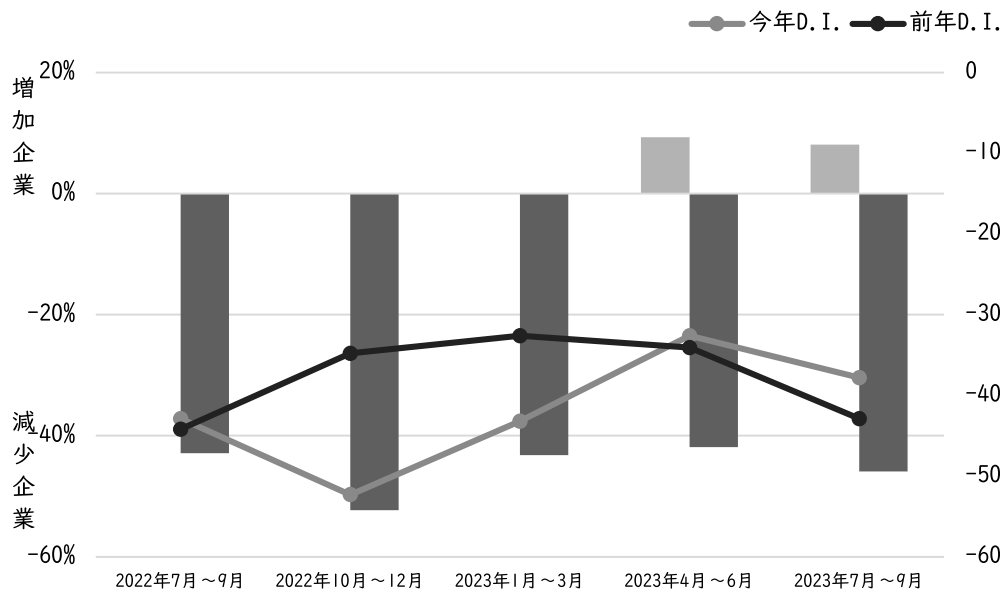


図3-9 採算の状況－前年同期比－



サービス業の動向

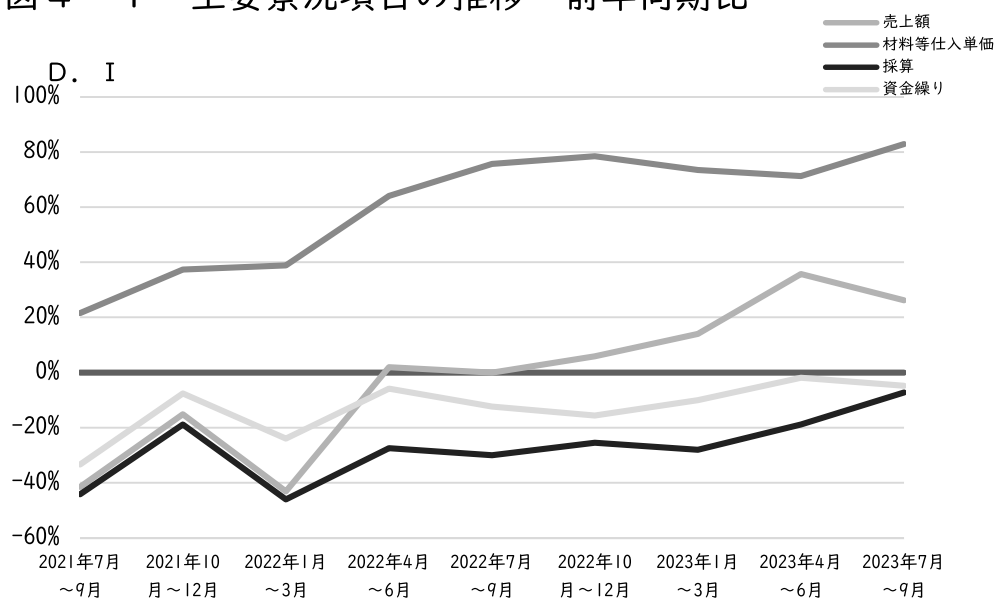
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、35.8→26.2と9.6ポイント下降
(同全国値は、14.5→14.0と0.5ポイント下降)
- ・採算DI値は、△18.9→△7.2と11.7ポイント上昇
(同全国値は、△21.8→△21.5と0.3ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、△1.9→△4.8と2.9ポイント下降
(同全国値は、△8.5→△10.1と1.6ポイント下降)

今期は、売上額DIのプラス幅が減少し、採算DIにおいてマイナス幅が改善し、資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DIにおいてプラス幅が減少し、採算DIではマイナスがプラスに改善し、資金繰りDIにおいてはマイナス幅が現象すると見込まれる。

図4-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月
売上額	△ 41.5	△ 15.1	△ 43.1	1.9	0.0
原材料仕入単価	21.6	37.3	38.8	64.0	75.6
採算	△ 44.2	△ 18.9	△ 46.0	△ 27.4	△ 30.0
資金繰り	△ 33.3	△ 7.6	△ 24.0	△ 5.8	△ 12.3

図 4 - 2 売上額推移（月別指数）

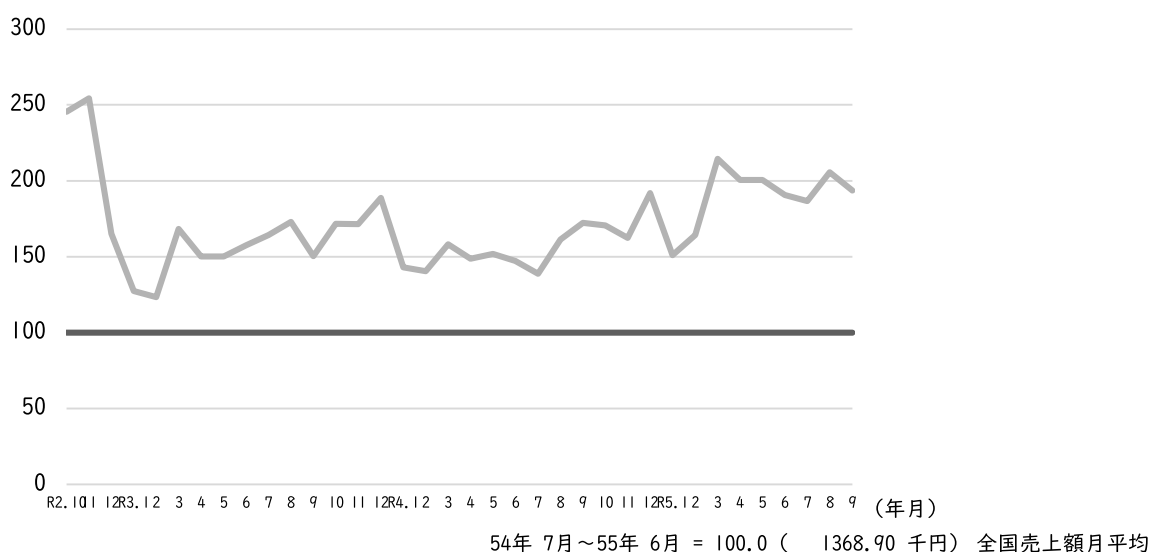


図 4 - 3 売上額の状況－前年同期比－

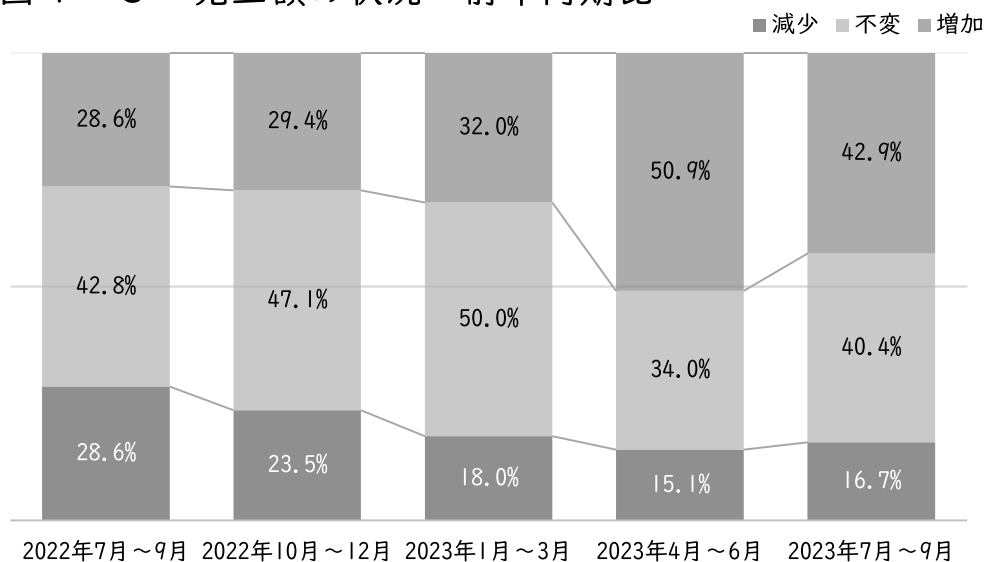


図 4 - 4 採算の状況－前年同期比－

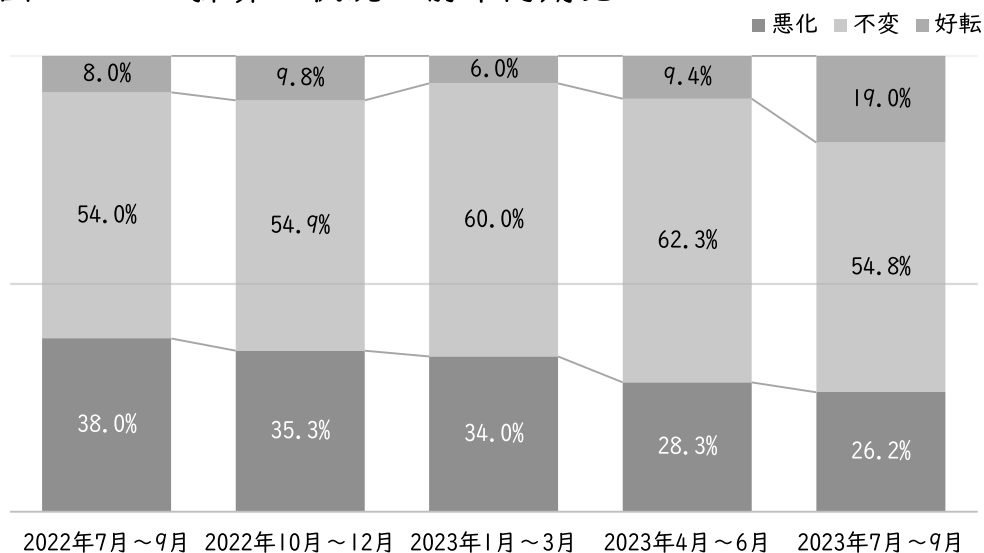


図4-5 設備投資の状況

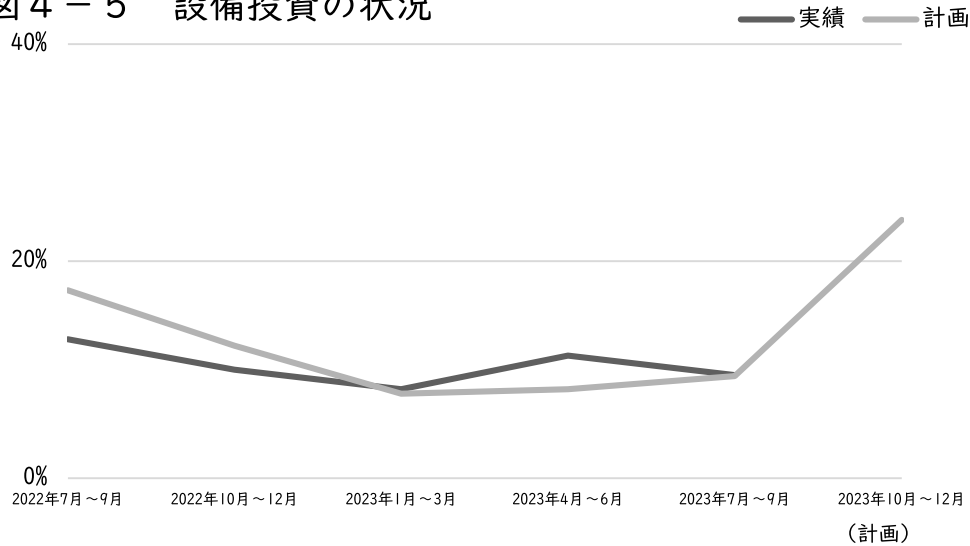


図4-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

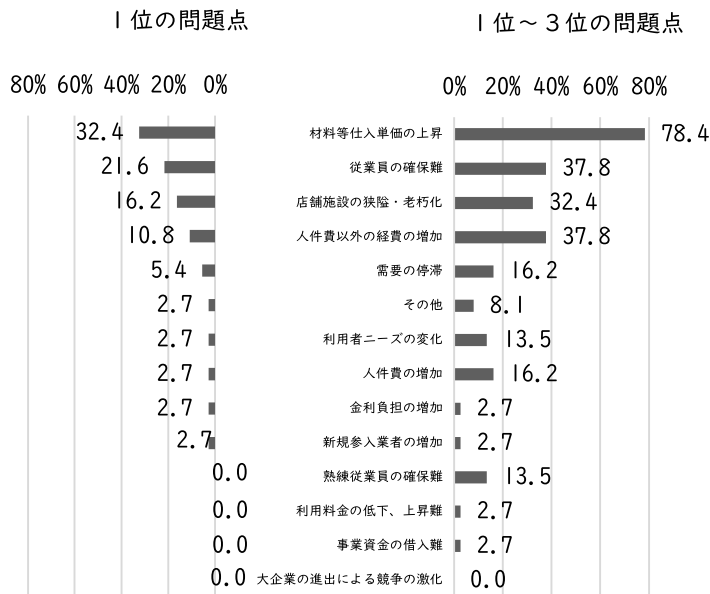


図4-7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

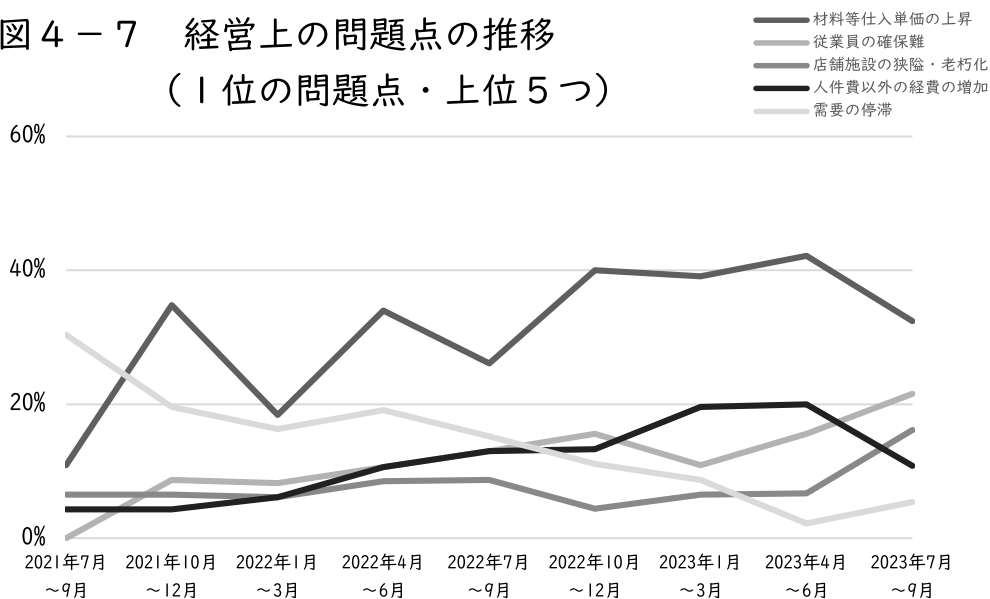


図4-8 売上額の状況－前年同期比－

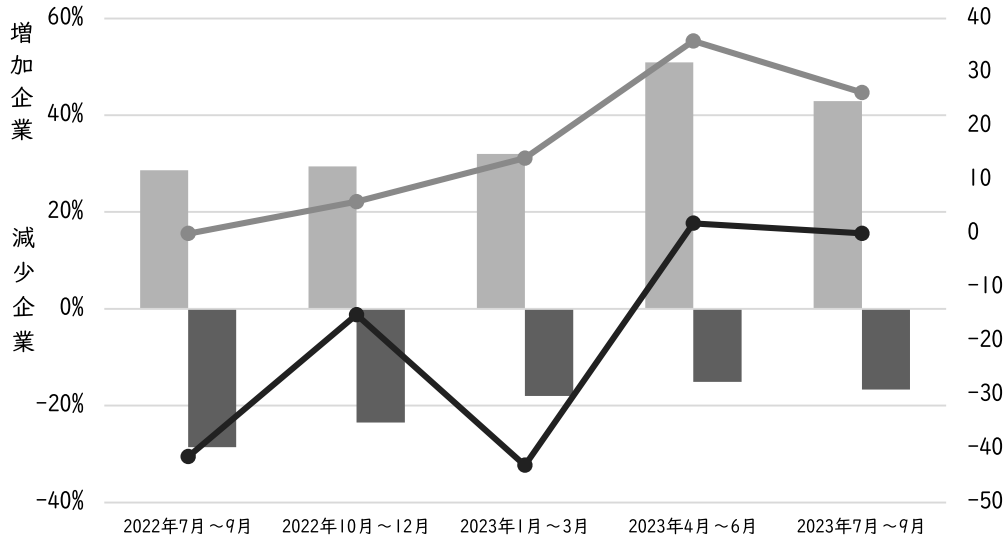
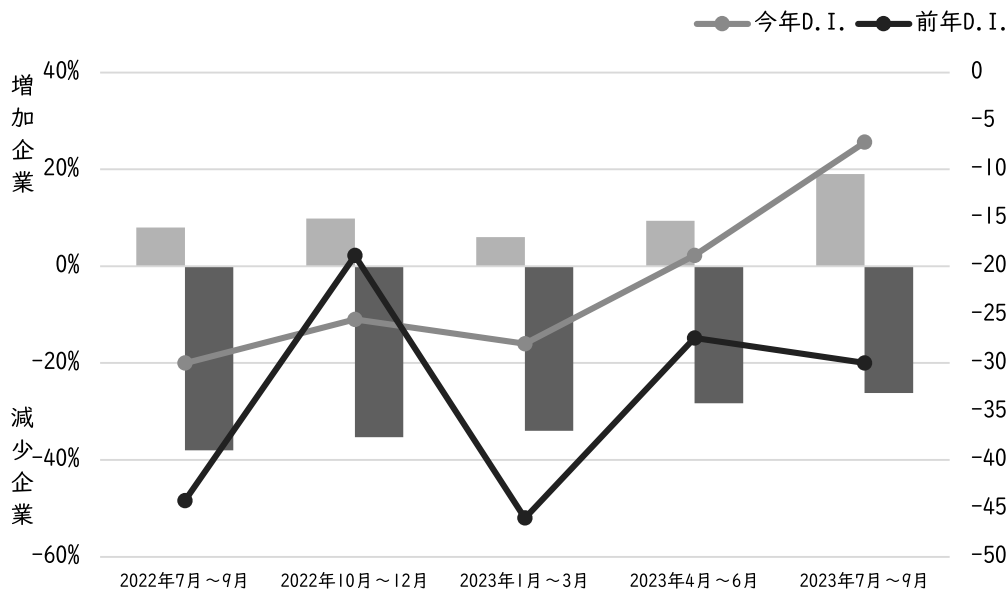
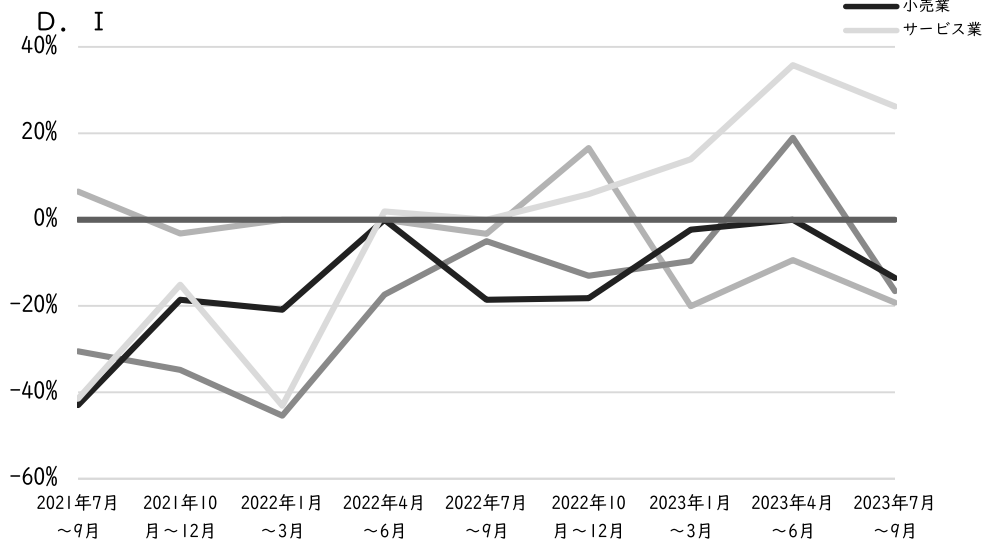


図4-9 採算の状況－前年同期比－

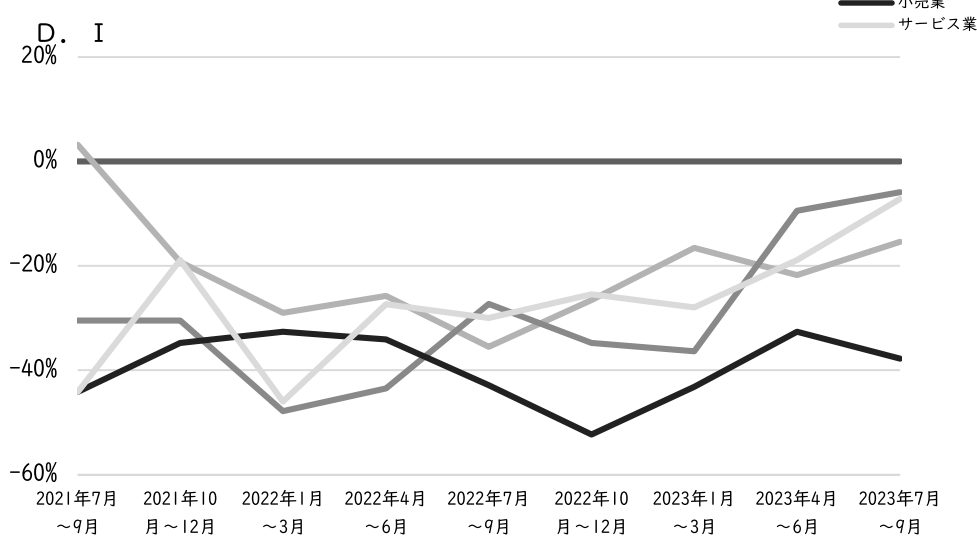


全産業の動向

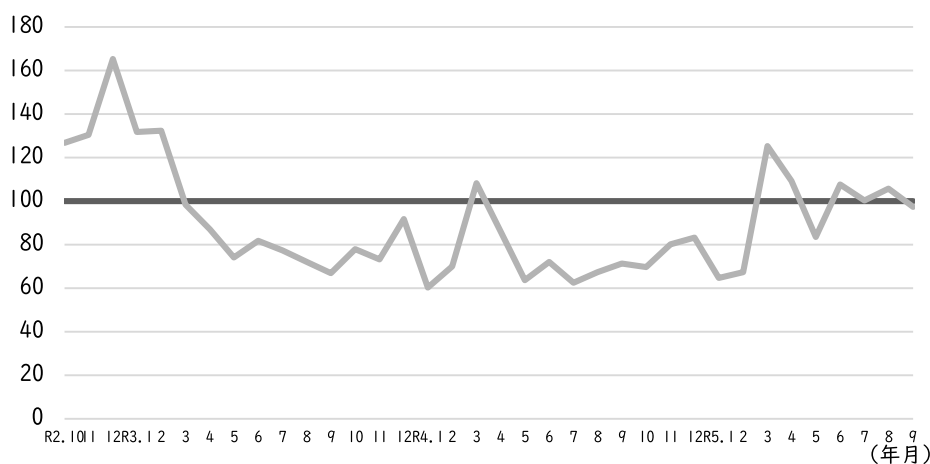
全産業 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



全産業 採算の推移－前年同期比－



全産業 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (8213.00 千円) 全国全産業売上額月平均

中小企業景況調査報告書

2023年10月～12月期

高知県商工会連合会

中小企業景況調査

[調査事項]

1. 調査対象

(1)調査対象地区	室戸市	芸西	香南市	香美市	大豊町
	本山町	土佐地区	いの町	春野	中土佐町
	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 148企業 (回答率：98.7%)

2. 調査対象期間

2023年10月～12月期を対象とし、調査時点は2023年12月1日とする。

3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 回答企業数の内訳

業 種	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	30	20.3
建 設 業	21	14.2
小 売 業	44	29.7
サービス業	53	35.8
合 計	148	100.0

注記 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

1. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2023年10月～12月期）の状況

[製造業]

(DI値)

項目 \ 期	2023年 7月～ 9月	2023年10月～12月	対前期比
売上額	△ 19.2	16.6	35.8ポイント上昇
採算	△ 15.4	△ 13.3	2.1ポイント上昇
資金繰り	△ 15.4	△ 3.4	12.0ポイント上昇

[建設業]

(DI値)

項目 \ 期	2023年 7月～ 9月	2023年10月～12月	対前期比
完成工事額	△ 16.6	△ 4.8	11.8ポイント上昇
採算	△ 5.9	0.0	5.9ポイント上昇
資金繰り	0.0	△ 9.5	9.5ポイント下降

[小売業]

(DI値)

項目 \ 期	2023年 7月～ 9月	2023年10月～12月	対前期比
売上額	△ 13.5	△ 13.6	0.1ポイント下降
採算	△ 37.8	△ 47.7	9.9ポイント下降
資金繰り	△ 16.2	△ 13.6	2.6ポイント上昇

[サービス業]

(DI値)

項目 \ 期	2023年 7月～ 9月	2023年10月～12月	対前期比
売上額	26.2	11.3	14.9ポイント下降
採算	△ 7.2	△ 11.3	4.1ポイント下降
資金繰り	△ 4.8	△ 3.7	1.1ポイント上昇

○来期見通し(2024年 1月～ 3月期)

(DI値)

業種 \ 区分	売上額 完成工事額	採算	資金繰り
製造業	13.3	△ 6.6	△ 17.2
建設業	△ 23.8	△ 14.2	△ 19.0
小売業	△ 22.7	△ 43.2	△ 18.2
サービス業	18.9	△ 5.7	△ 1.9

2. 産 業 別 景 況

製造業の動向

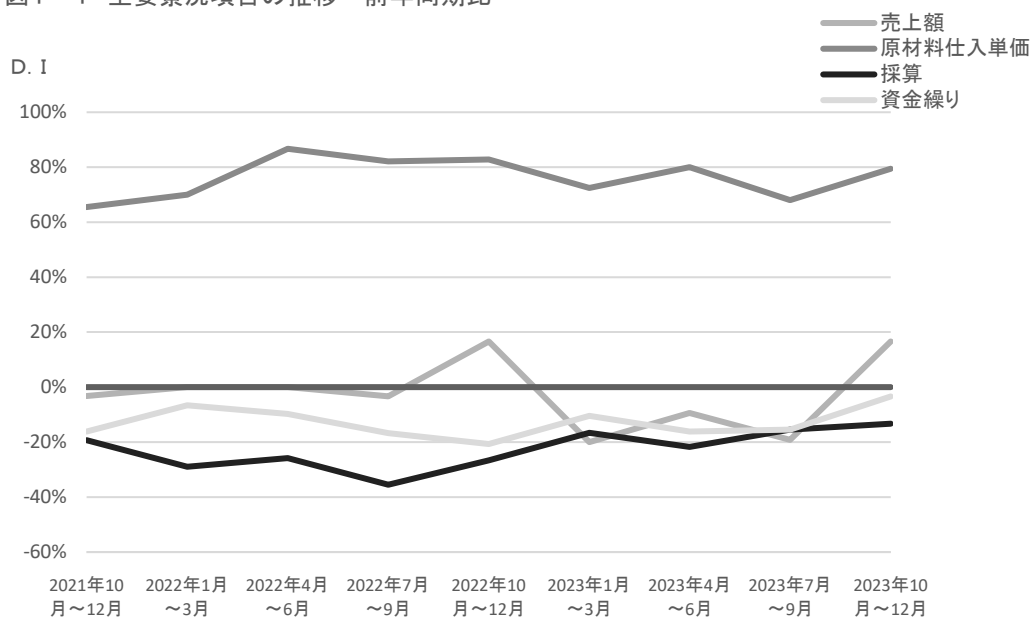
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 19.2 \rightarrow 16.6$ と35.8ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 5.0 \rightarrow \Delta 7.4$ と2.4ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 15.4 \rightarrow \Delta 13.3$ と2.1ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 21.9 \rightarrow \Delta 21.0$ と0.9ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 15.4 \rightarrow \Delta 3.4$ と12.0ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 13.8 \rightarrow \Delta 12.3$ と1.5ポイント上昇)

今期は、売上額DIでマイナスがプラスに改善、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が改善した。

来期は、売上額DIでプラス幅が減少、採算DIはマイナスが改善、資金繰りDIはマイナスが拡大すると見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目	期				
	2021年7月~9月	2021年10月~12月	2022年1月~3月	2022年4月~6月	2022年7月~9月
売上額	6.5	$\Delta 3.2$	0.0	0.0	$\Delta 3.3$
原材料仕入単価	50.0	65.5	70.0	86.7	82.1
採算	3.2	$\Delta 19.3$	$\Delta 29.0$	$\Delta 25.8$	$\Delta 35.5$
資金繰り	$\Delta 3.4$	$\Delta 16.1$	$\Delta 6.6$	$\Delta 9.7$	$\Delta 16.7$

図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

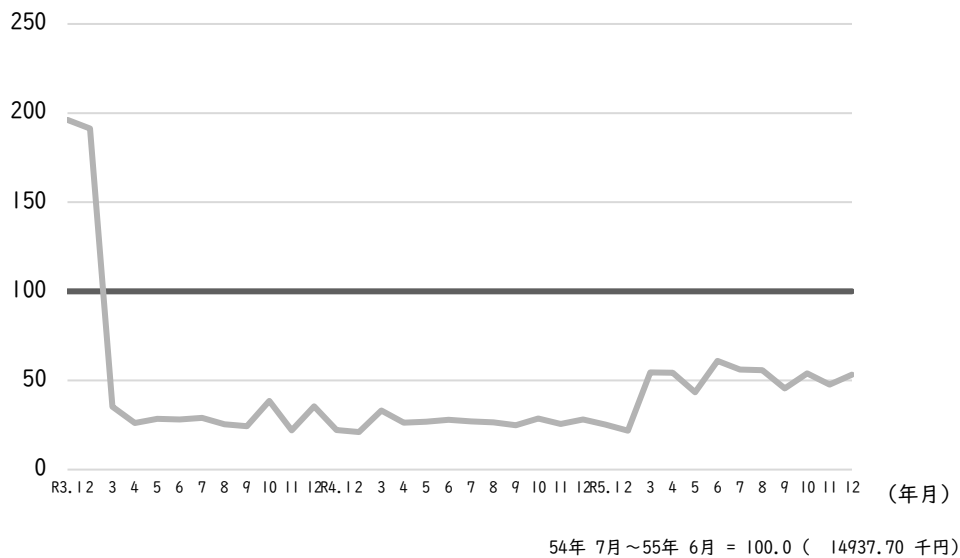


図 1 - 3 売上額の状況－前年同期比－

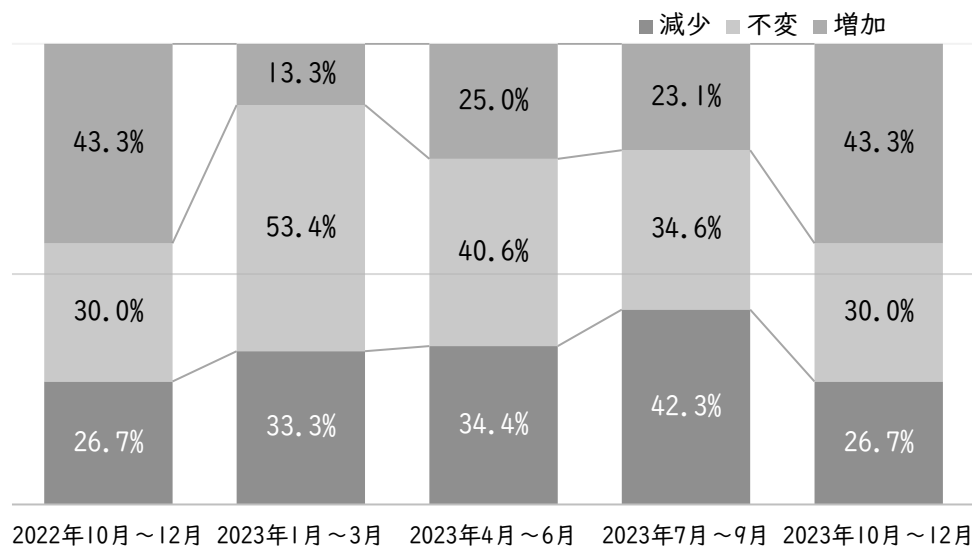


図 1 - 4 採算の状況－前年同期比－

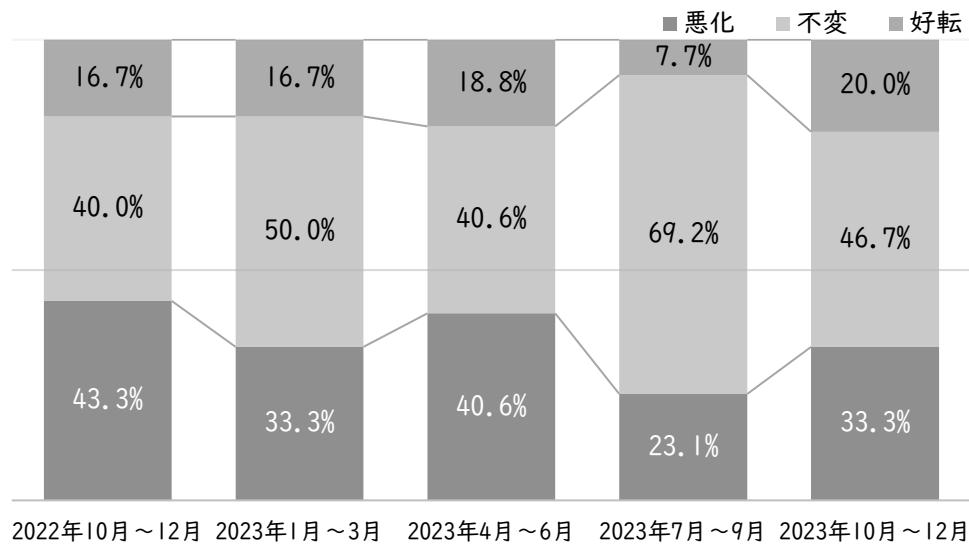
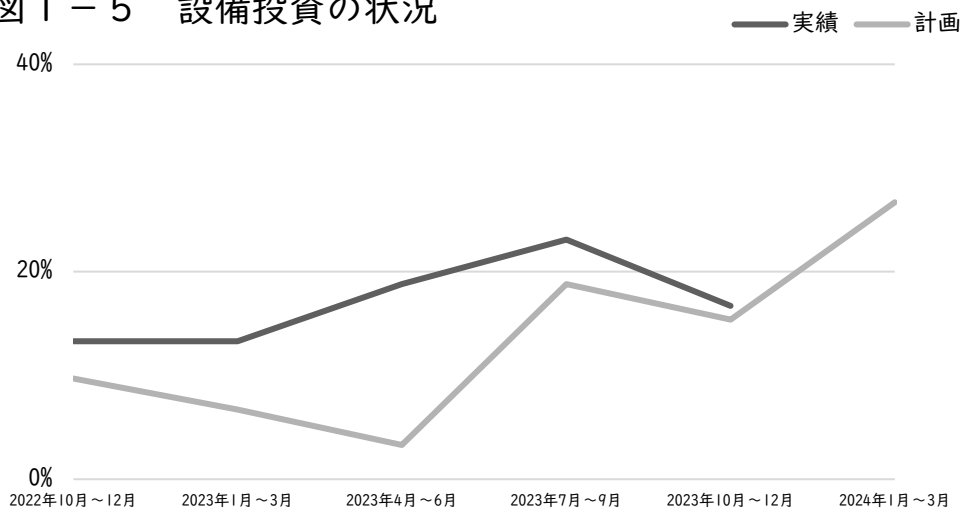


図 1 - 5 設備投資の状況



(計画)

図 1 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

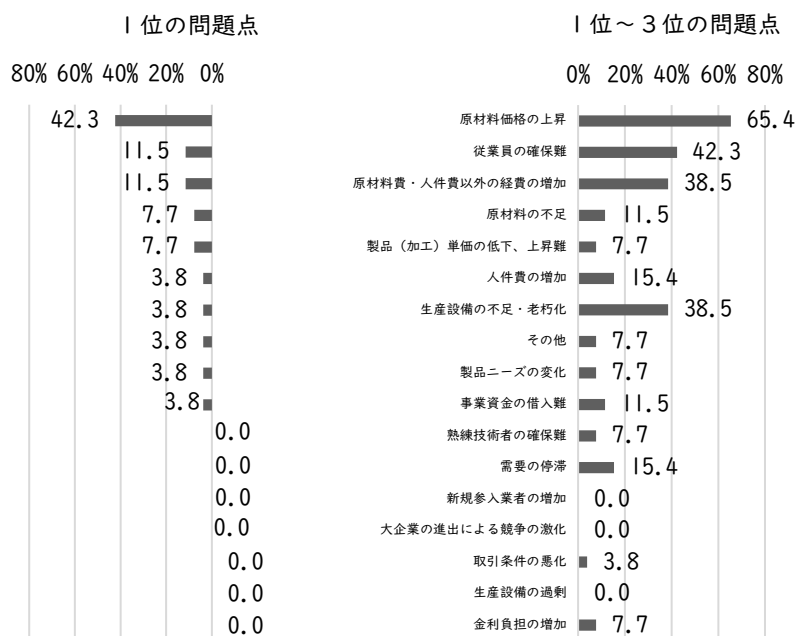


図 1 - 7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

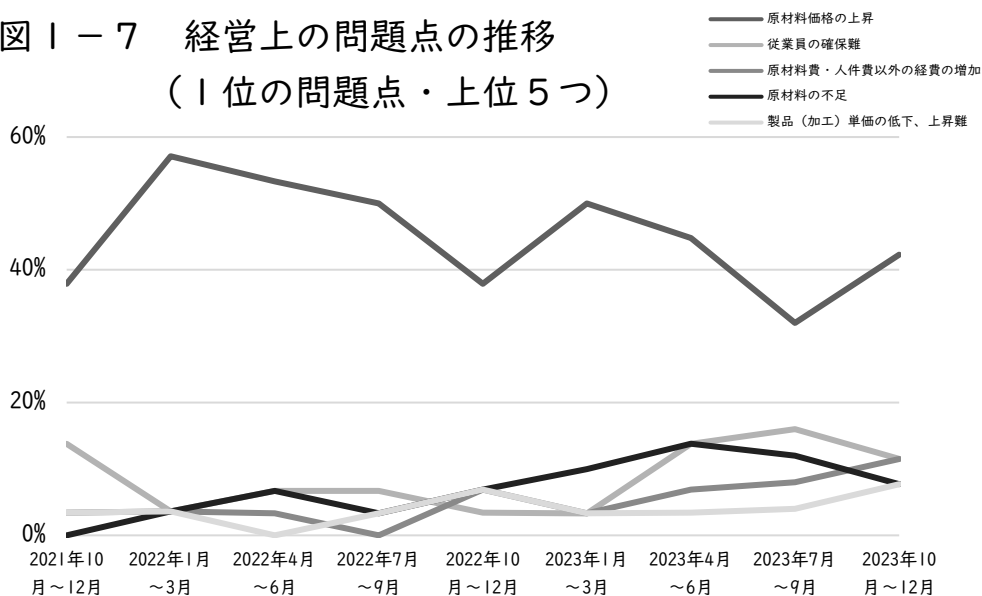


図 1 - 8 売上額の状況 - 前年同期比 -

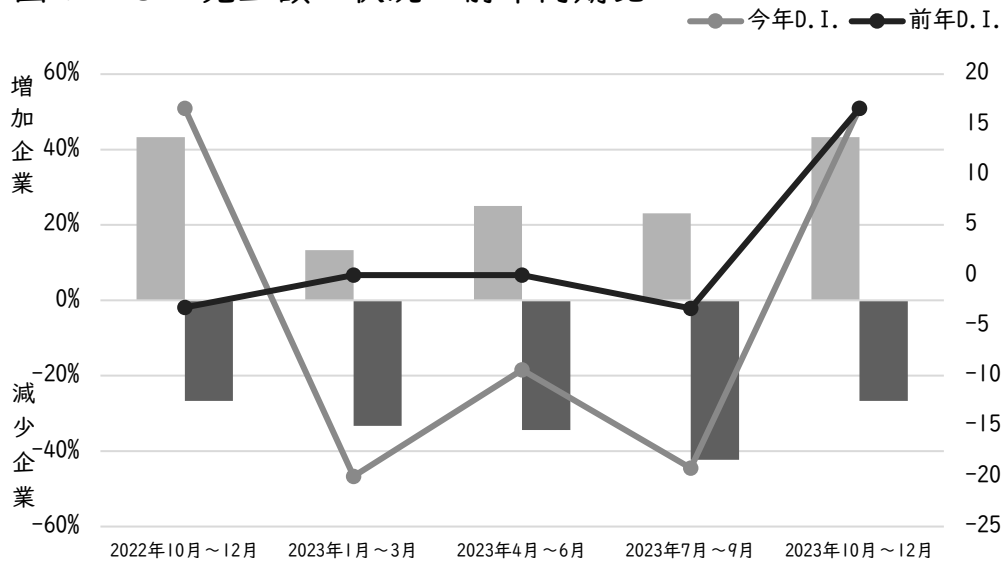
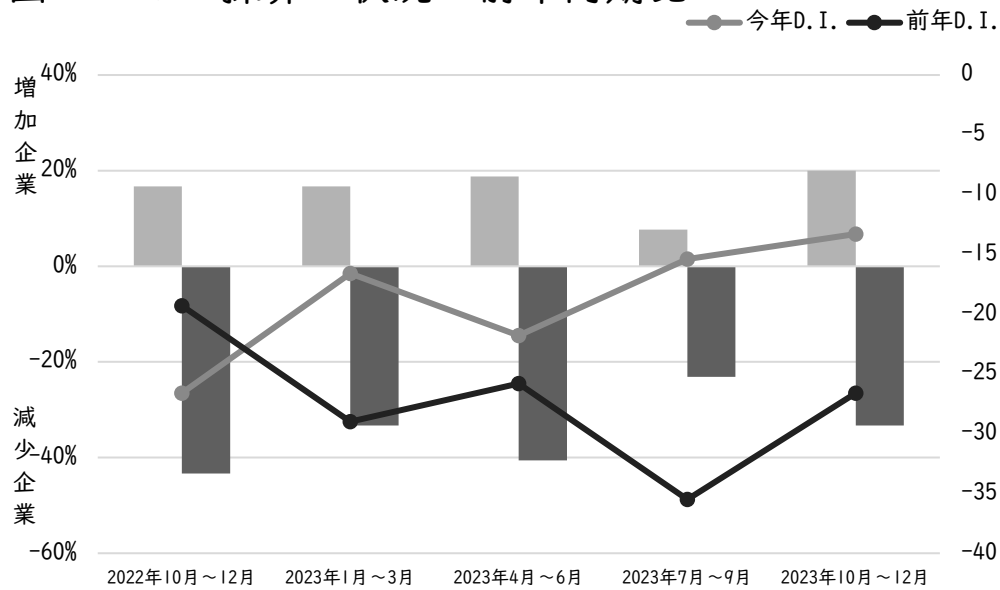


図 1 - 9 採算の状況 - 前年同期比 -



建設業の動向

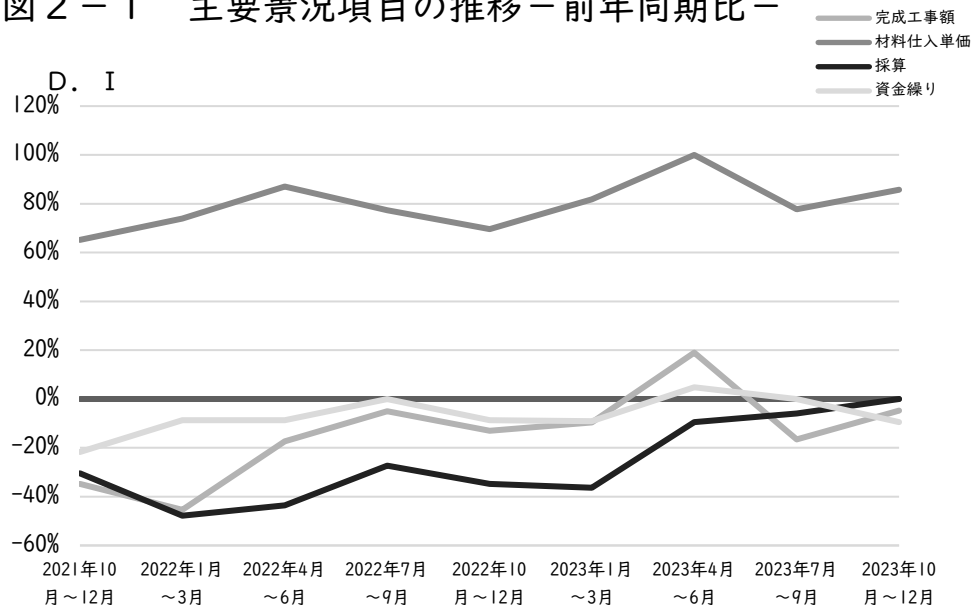
○主要景況項目から見た概要

- ・完成工事額DI値は、 $\Delta 16.6 \rightarrow \Delta 4.8$ と11.8ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 14.0 \rightarrow \Delta 14.3$ と0.3ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 5.9 \rightarrow 0.0$ と5.9ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 26.9 \rightarrow \Delta 25.3$ と1.6ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $0.0 \rightarrow \Delta 9.5$ と9.5ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 11.4 \rightarrow \Delta 9.4$ と2.0ポイント上昇)

今期は、完成工事額DI・採算DIでマイナス幅が改善したが、資金繰りDIにおいてはマイナスに悪化した。

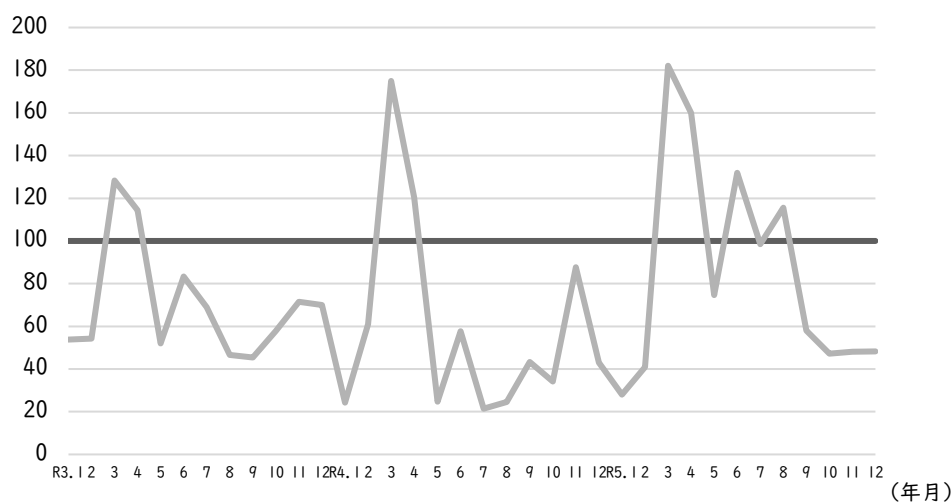
来期は、完成工事額DIでマイナス幅が拡大し、採算DIではマイナスが悪化し、資金繰りDIではマイナス幅が拡大されることが見込まれる。

図2-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月
売上額	$\Delta 30.5$	$\Delta 34.8$	$\Delta 45.4$	$\Delta 17.4$	$\Delta 5.0$
原材料仕入単価	60.9	65.2	73.9	87.0	77.3
採算	$\Delta 30.5$	$\Delta 30.5$	$\Delta 47.8$	$\Delta 43.5$	$\Delta 27.3$
資金繰り	$\Delta 21.7$	$\Delta 21.7$	$\Delta 8.7$	$\Delta 8.7$	0.0

図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (14128.40 千円) 全国完成工事額月平均

図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

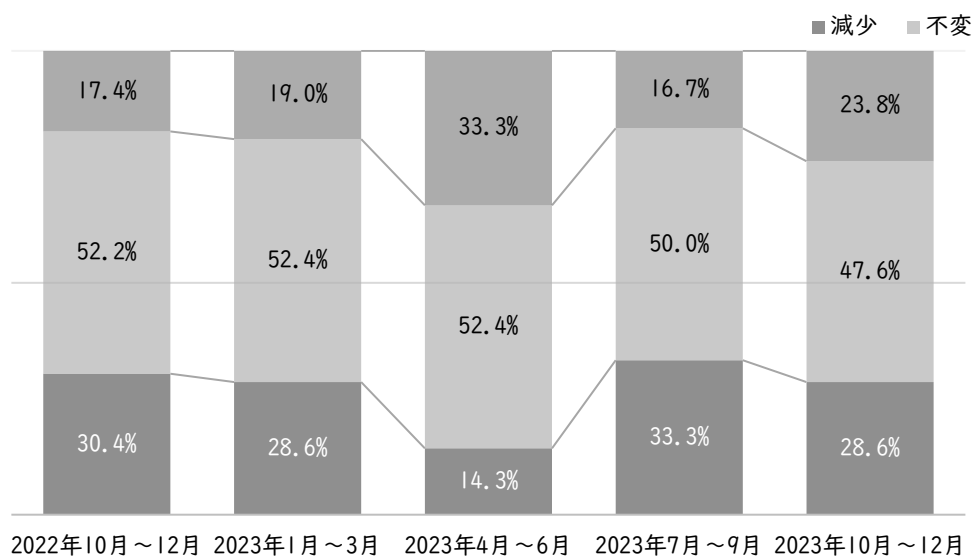


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

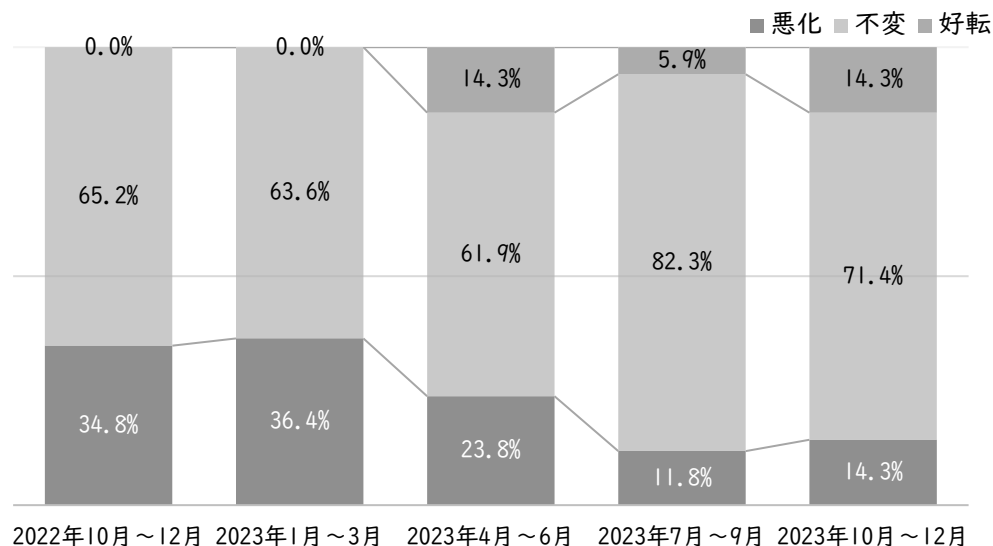
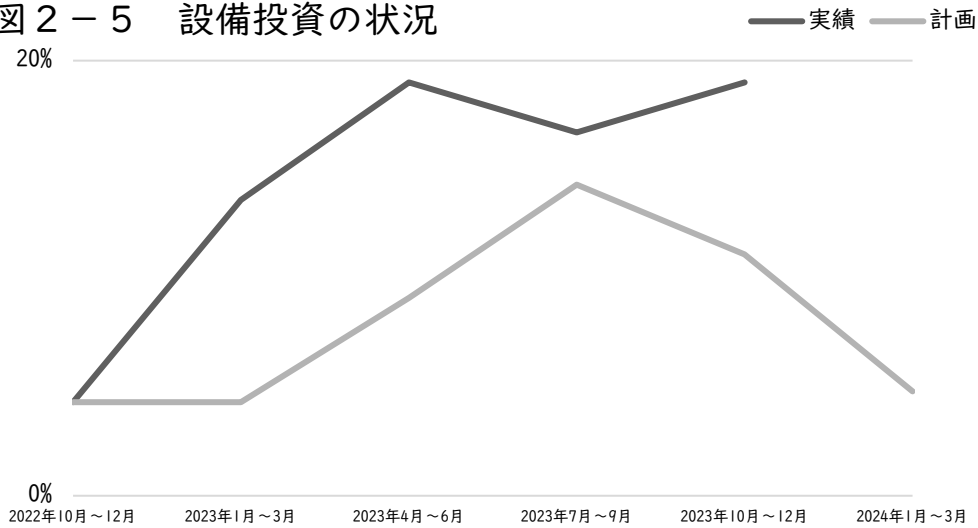


図 2 - 5 設備投資の状況



(計画)

図 2 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

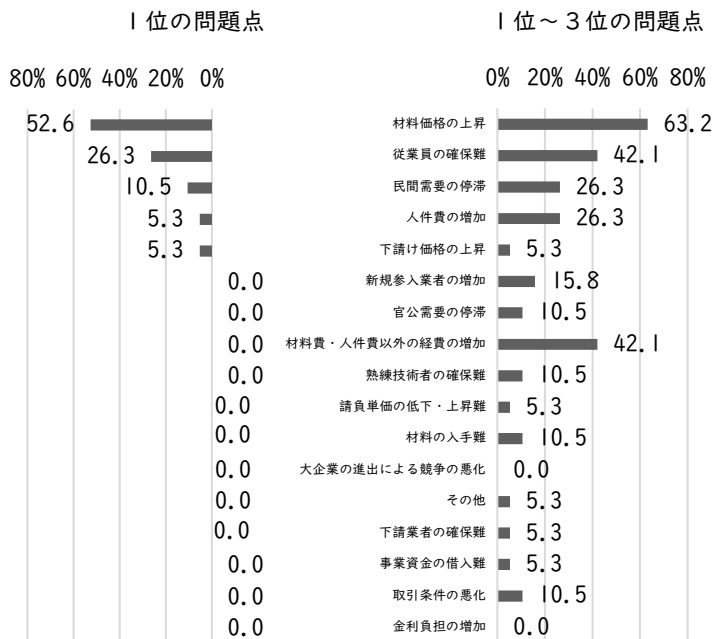


図 2 - 7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

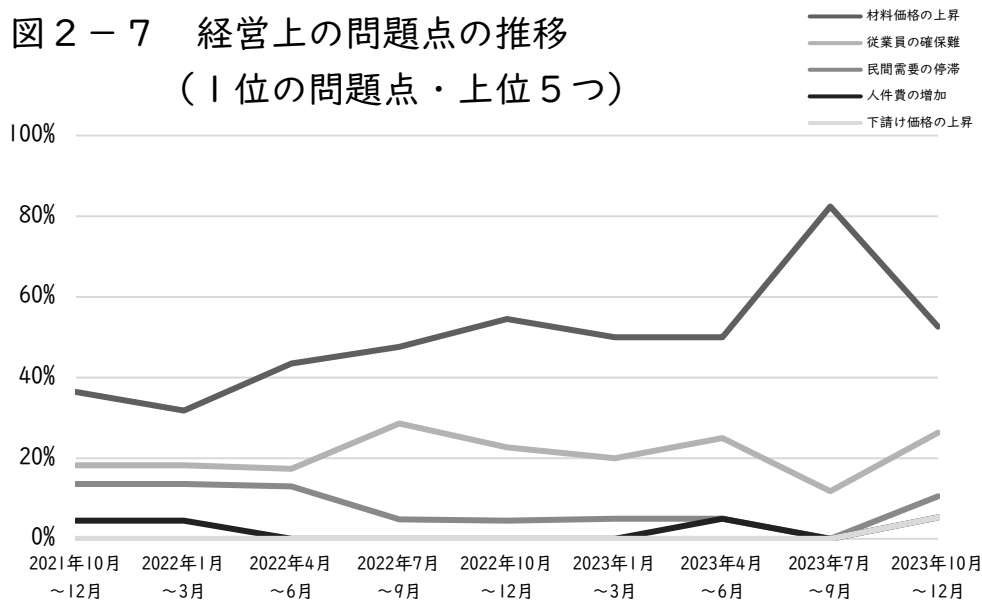


図 2 - 8 完成工事額の状況 - 前年同期比 -

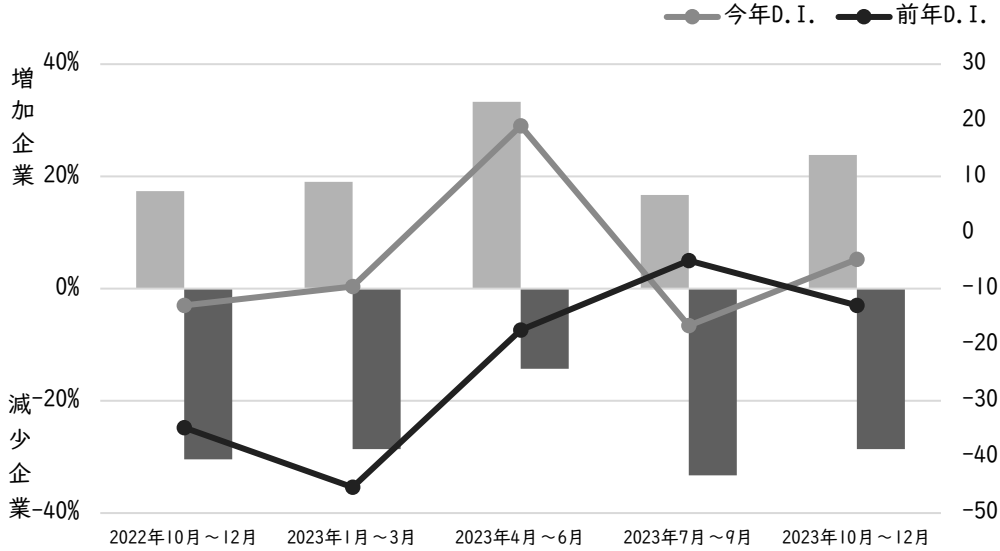
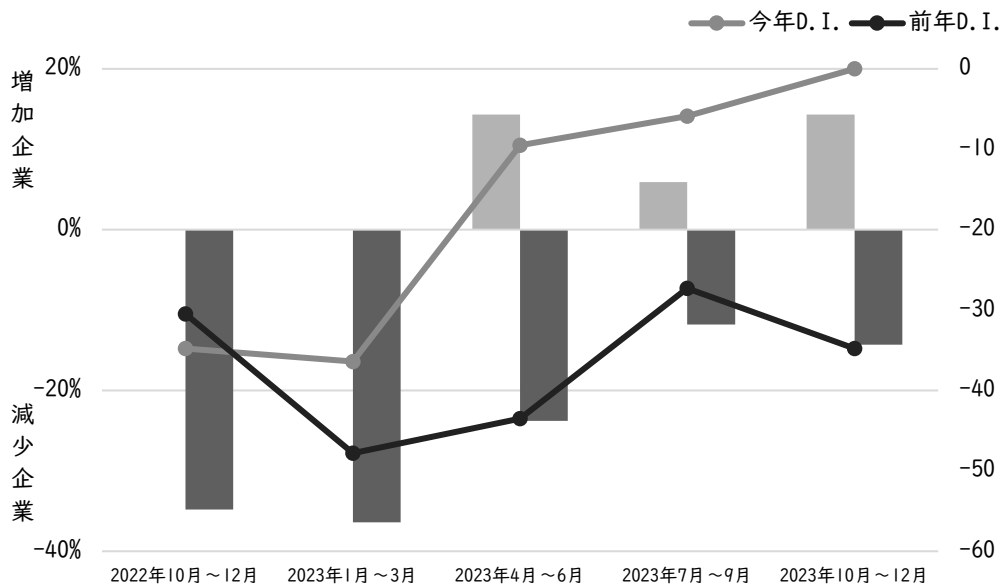


図 2 - 9 採算の状況 - 前年同期比 -



小売業の動向

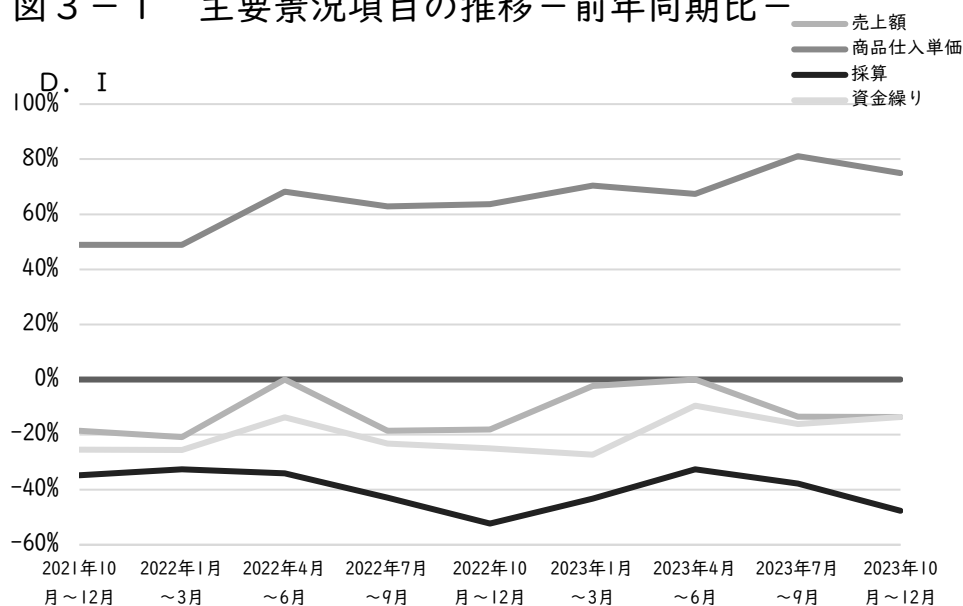
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 13.5 \rightarrow \Delta 13.6$ と0.1ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 12.6 \rightarrow \Delta 17.6$ と5.0ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 37.8 \rightarrow \Delta 47.7$ と9.9ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 35.0 \rightarrow \Delta 33.8$ と1.2ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 16.2 \rightarrow \Delta 13.6$ と2.6ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 21.1 \rightarrow \Delta 22.0$ と0.9ポイント下降)

今期は、売上額DI・採算DIともにマイナス幅が拡大し、資金繰りDIにおいてはマイナス幅が改善した。

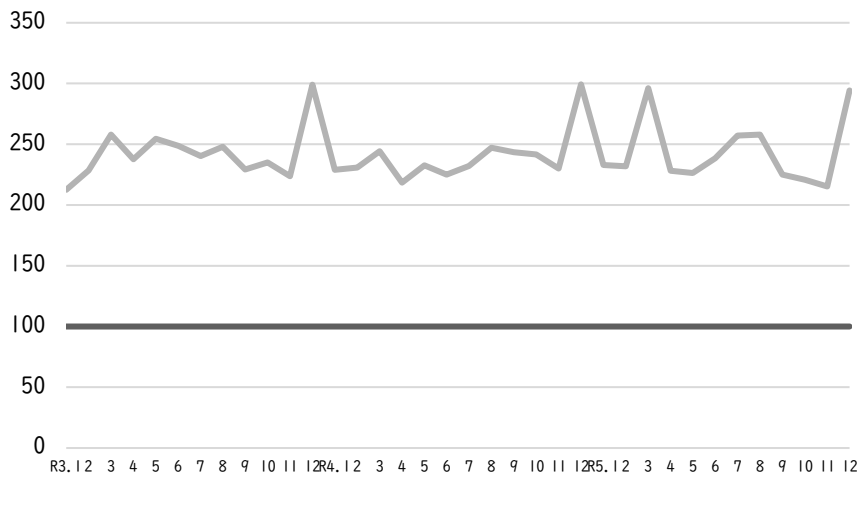
来期は、売上額DIでマイナス幅が拡大し、採算DIではマイナス幅の改善が、資金繰りDIではマイナス幅が拡大すると見込まれる。

図3-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月
売上額	$\Delta 42.9$	$\Delta 18.6$	$\Delta 20.9$	0.0	$\Delta 18.6$
原材料仕入単価	37.2	48.9	48.9	68.2	62.8
採算	$\Delta 44.2$	$\Delta 34.8$	$\Delta 32.6$	$\Delta 34.1$	$\Delta 42.9$
資金繰り	$\Delta 30.3$	$\Delta 25.5$	$\Delta 25.6$	$\Delta 13.7$	$\Delta 23.3$

図3-2 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (4597.40 千円) 全国売上額月平均

図3-3 売上額の状況－前年同期比－

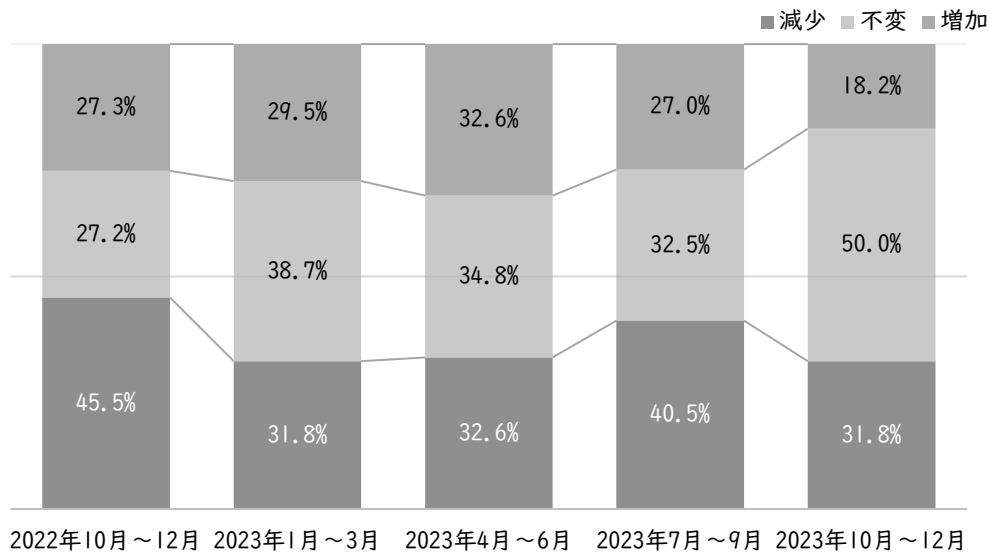


図3-4 採算の状況－前年同期比－

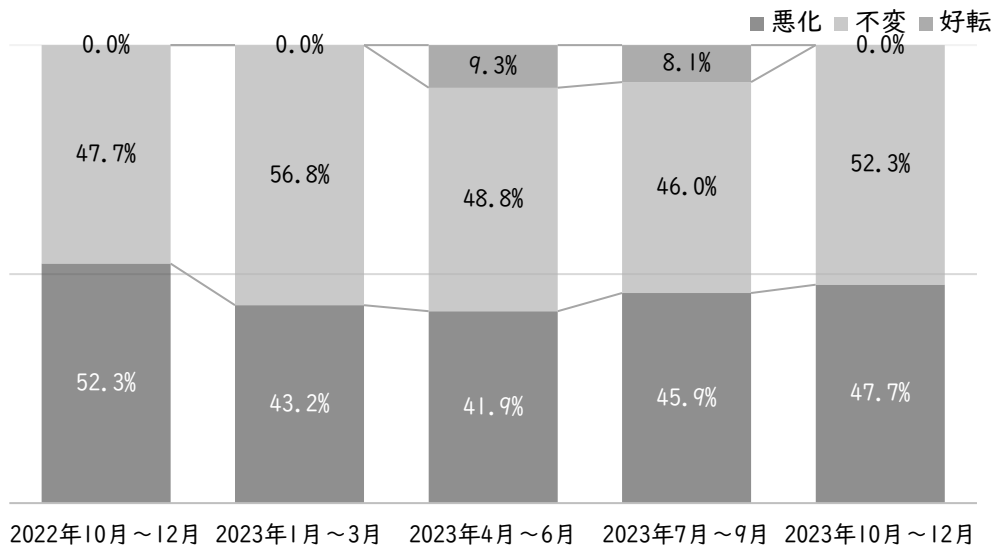


図3-5 設備投資の状況

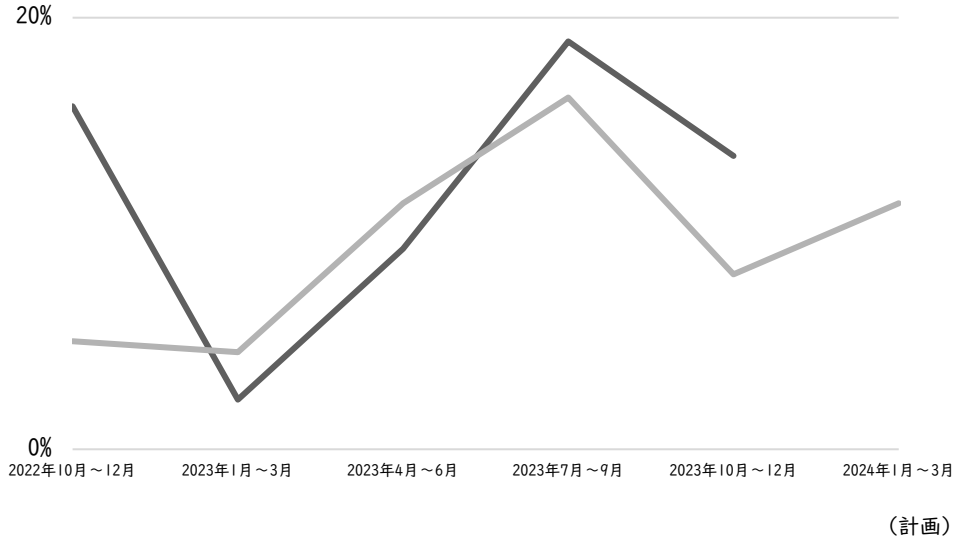


図3-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

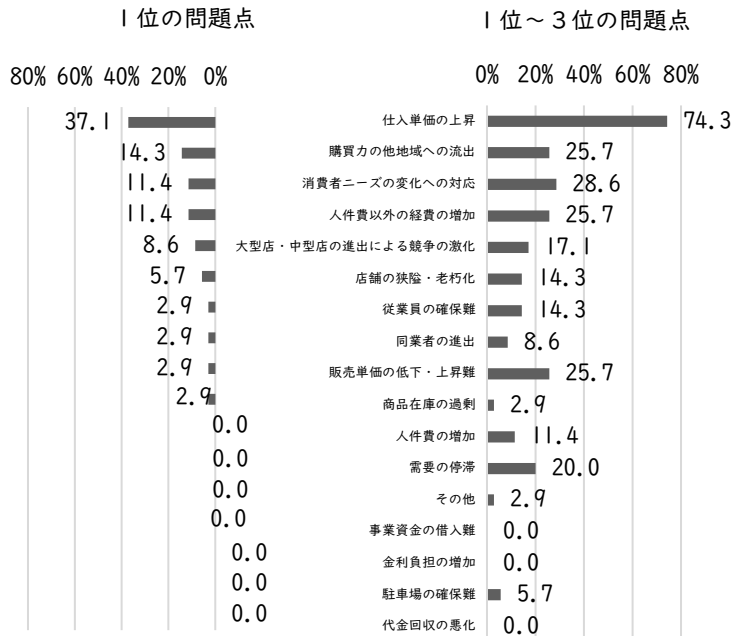


図3-7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

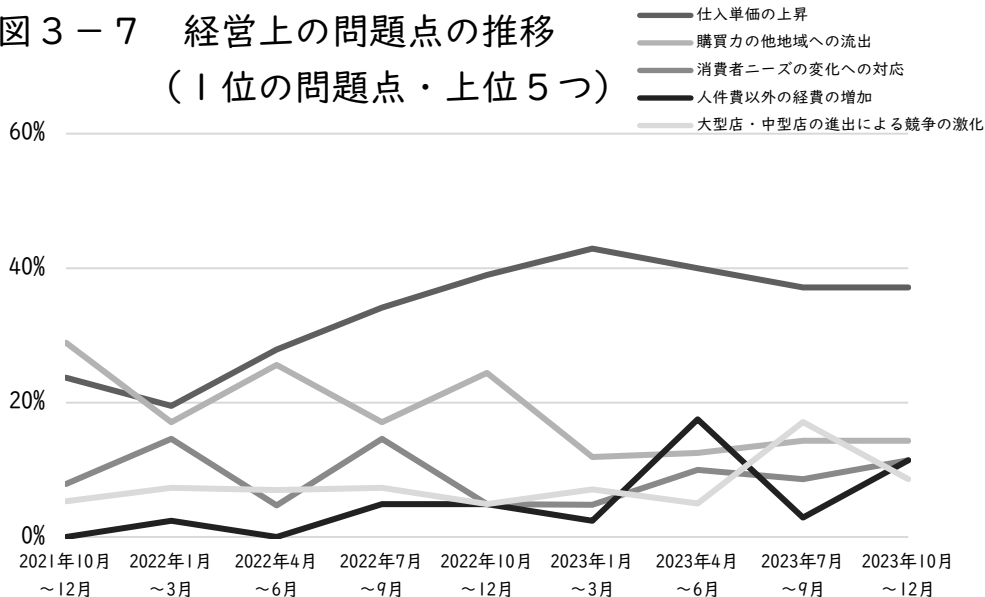


図3-8 売上額の状況－前年同期比－

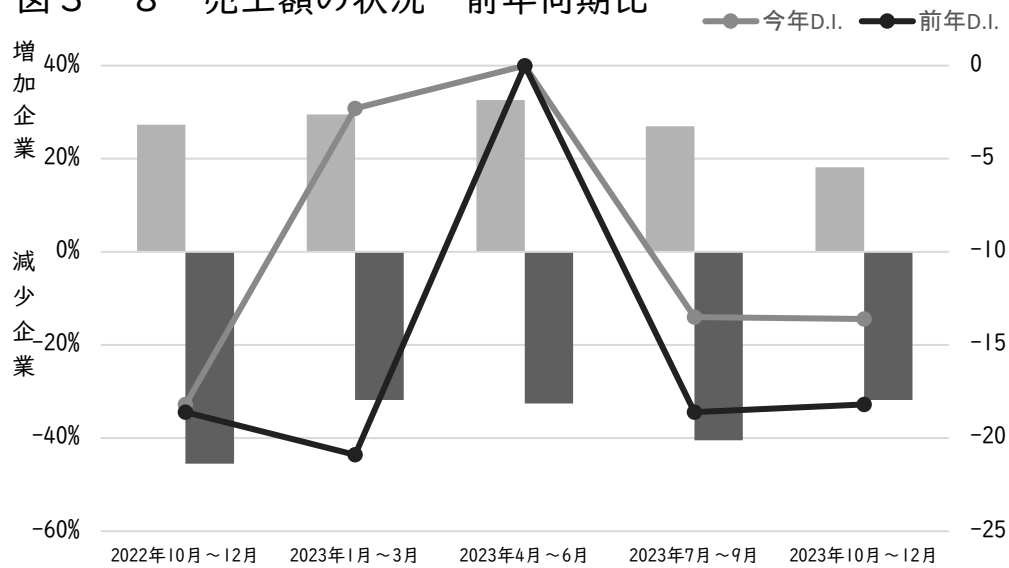
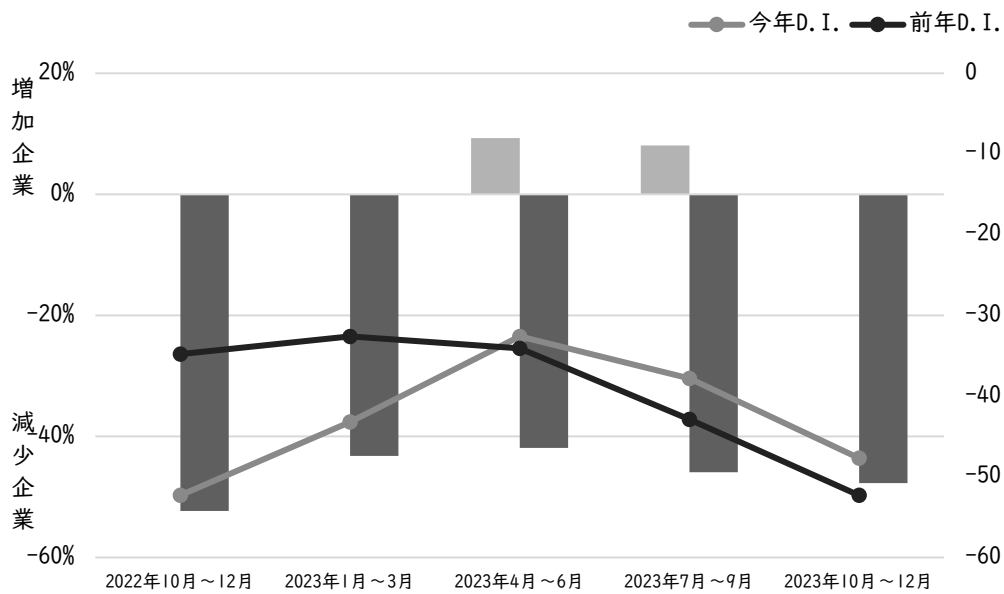


図3-9 採算の状況－前年同期比－



サービス業の動向

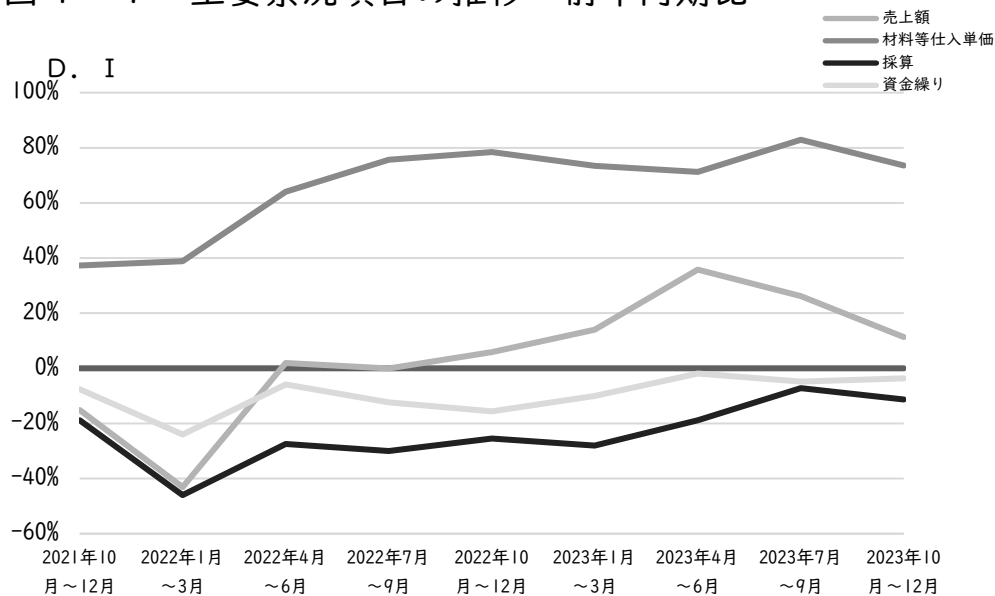
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、26.2→11.3と14.9ポイント下降
(同全国値は、14.0→5.1と8.9ポイント下降)
- ・採算DI値は、△7.2→△11.3と4.1ポイント下降
(同全国値は、△21.5→△23.2と1.7ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、△4.8→△3.7と1.1ポイント上昇
(同全国値は、△10.1→△10.6と0.5ポイント下降)

今期は、売上額DIのプラス幅が減少し、採算DIにおいてマイナス幅が拡大し、資金繰りDIでマイナス幅が改善した。

来期は、売上額DIにおいてプラス幅が拡大し、採算DIではマイナスが改善し、資金繰りDIにおいてはマイナス幅が改善すると見込まれる。

図4-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月
売上額	△ 41.5	△ 15.1	△ 43.1	1.9	0.0
原材料仕入単価	21.6	37.3	38.8	64.0	75.6
採算	△ 44.2	△ 18.9	△ 46.0	△ 27.4	△ 30.0
資金繰り	△ 33.3	△ 7.6	△ 24.0	△ 5.8	△ 12.3

図 4 - 2 売上額推移（月別指数）

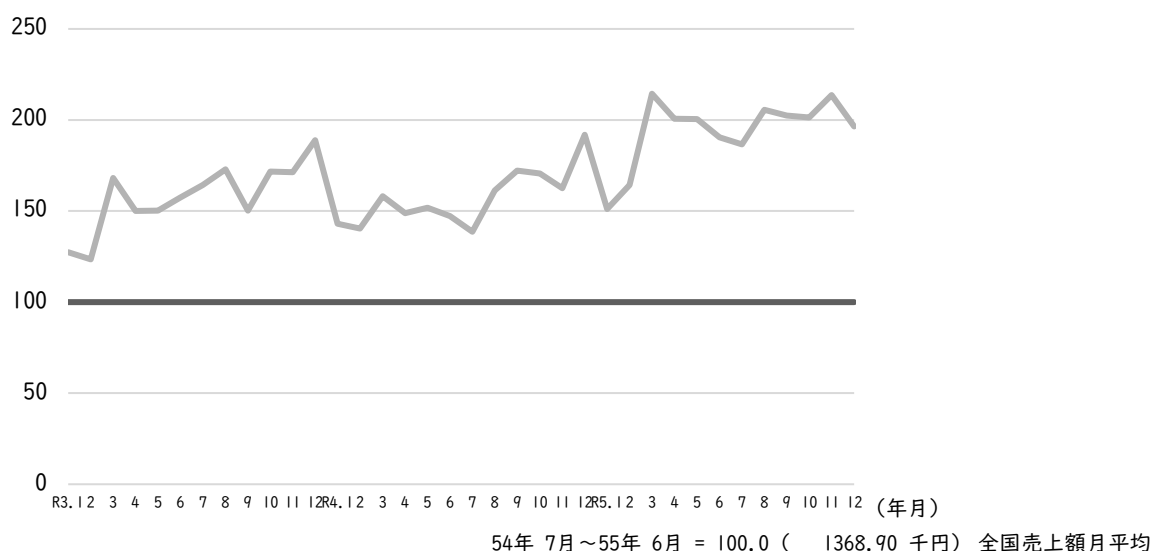


図 4 - 3 売上額の状況－前年同期比－

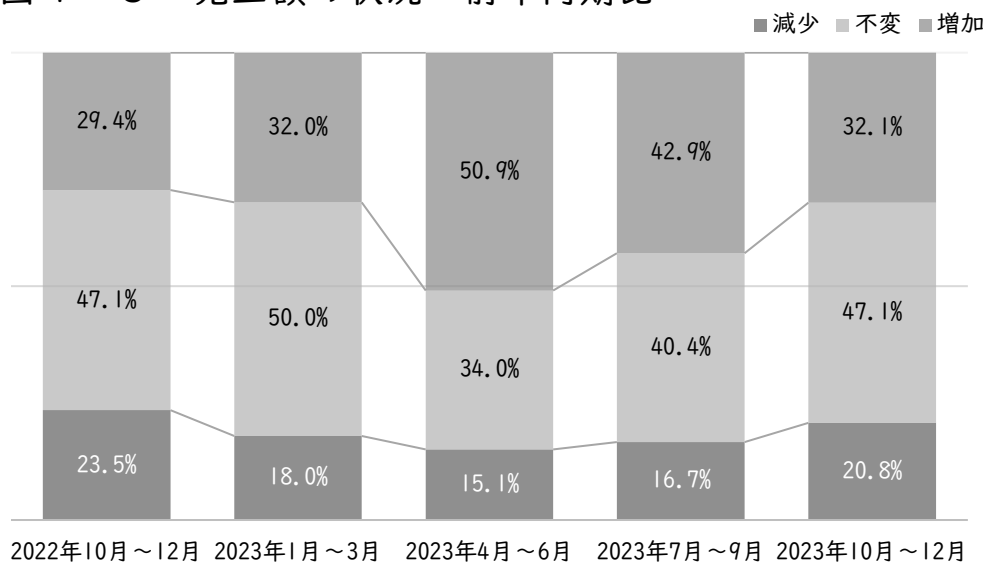


図 4 - 4 採算の状況－前年同期比－

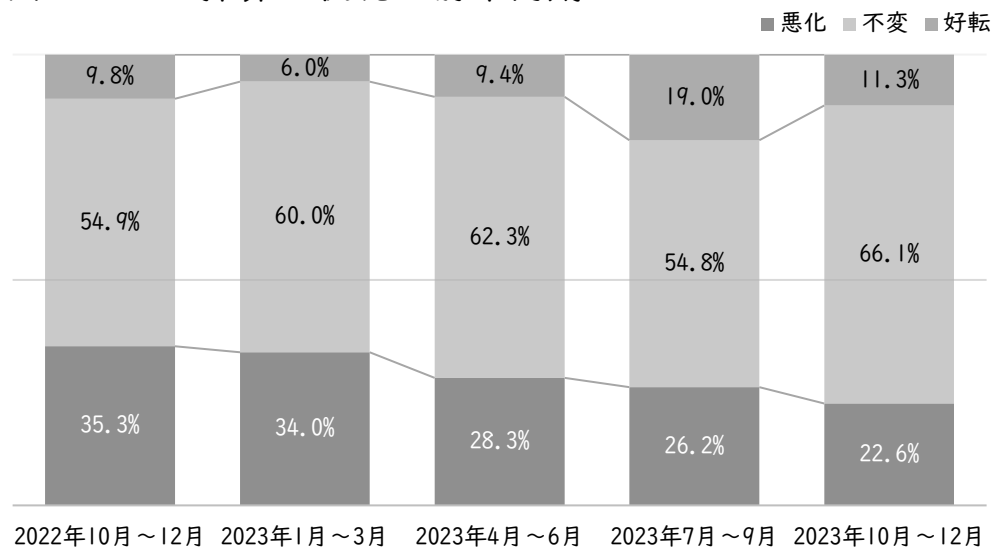


図4-5 設備投資の状況

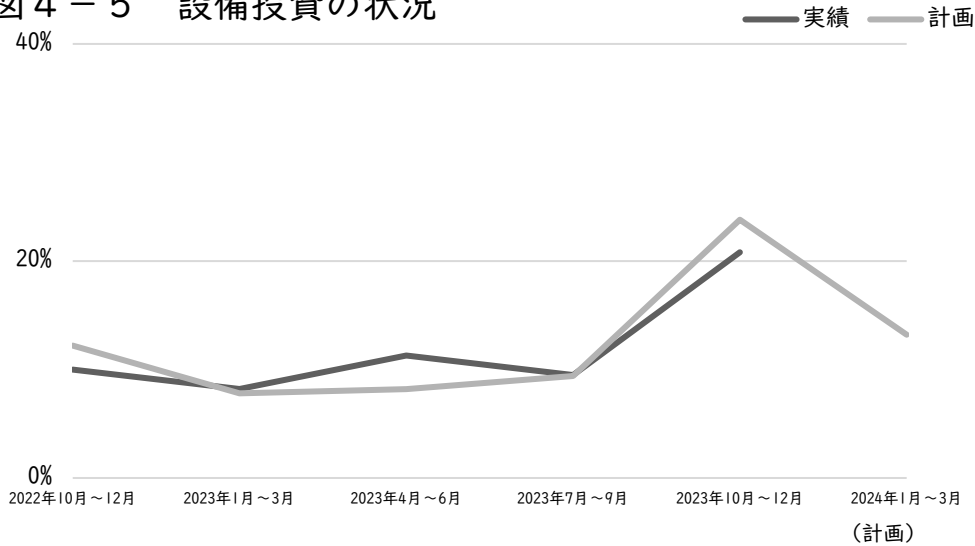


図4-6 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

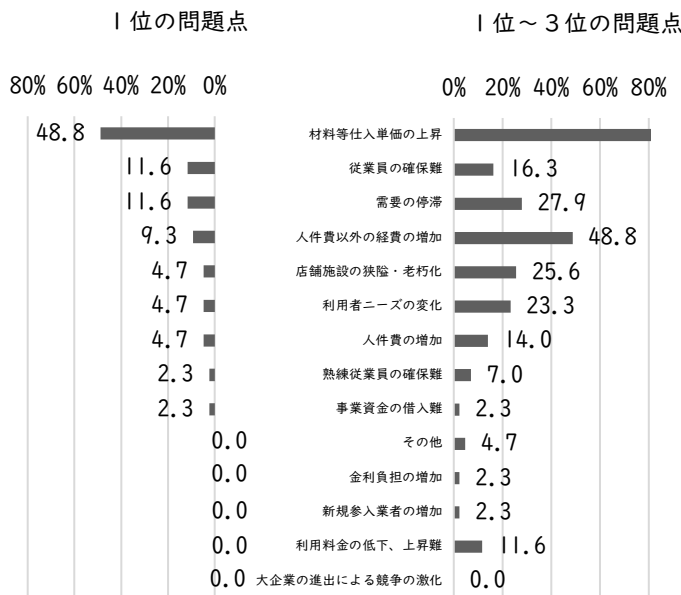


図4-7 経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）

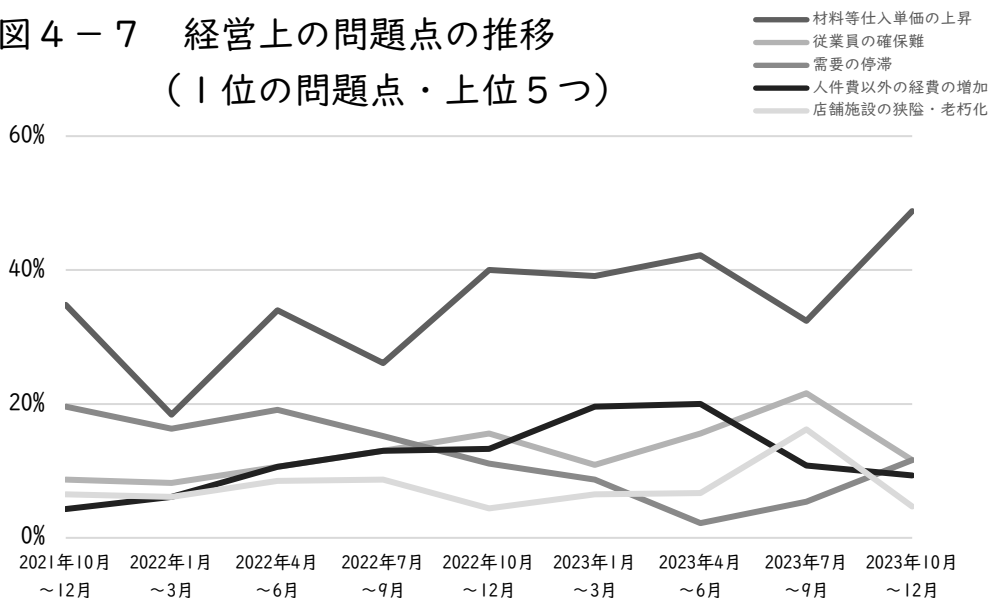


図4-8 売上額の状況－前年同期比－

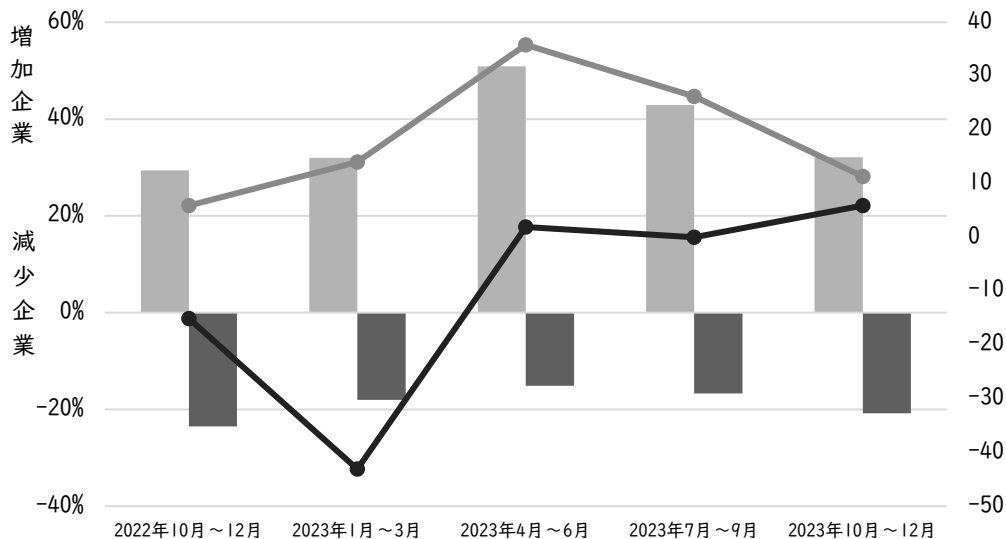
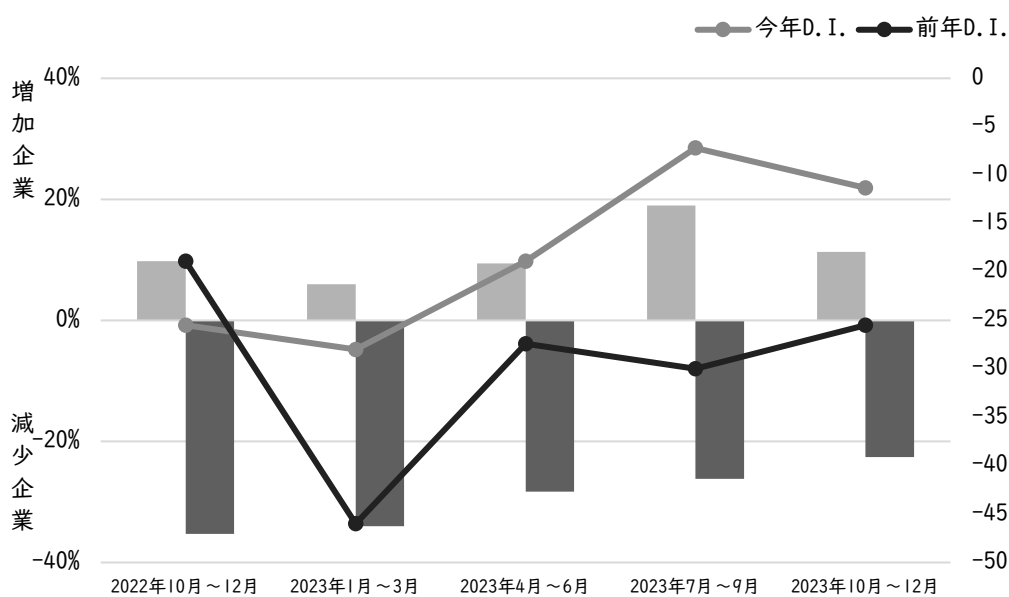
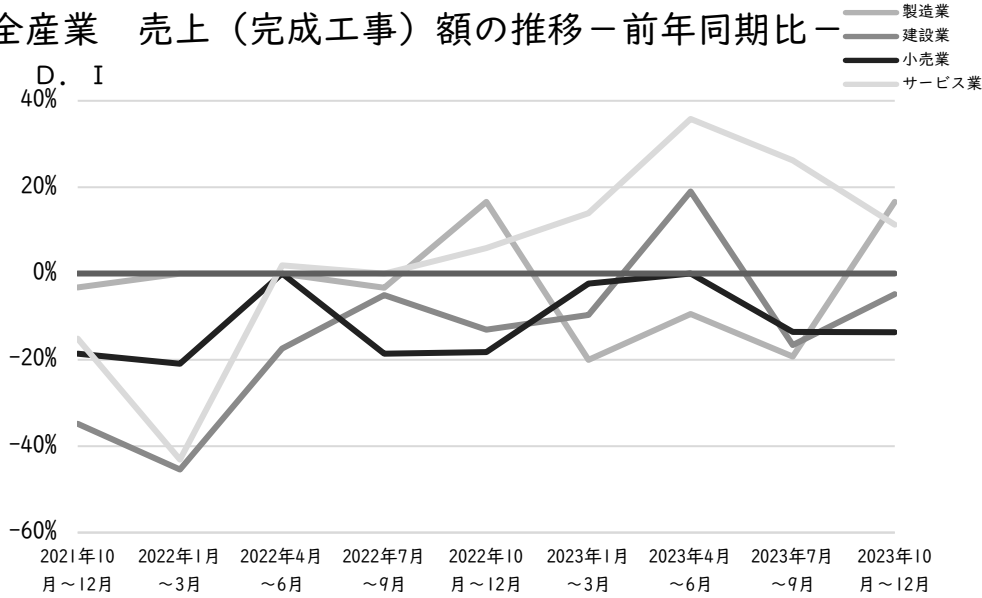


図4-9 採算の状況－前年同期比－

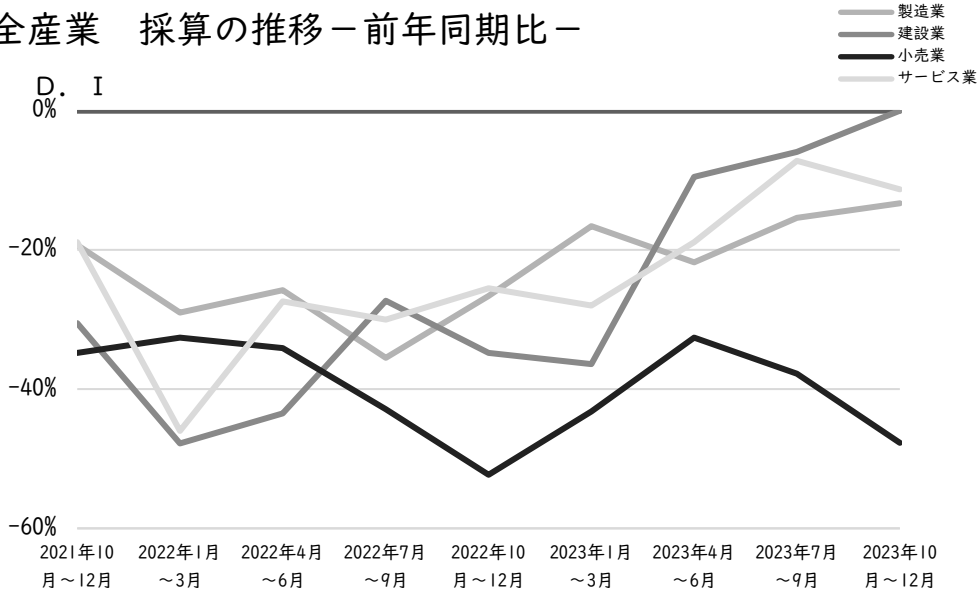


全産業の動向

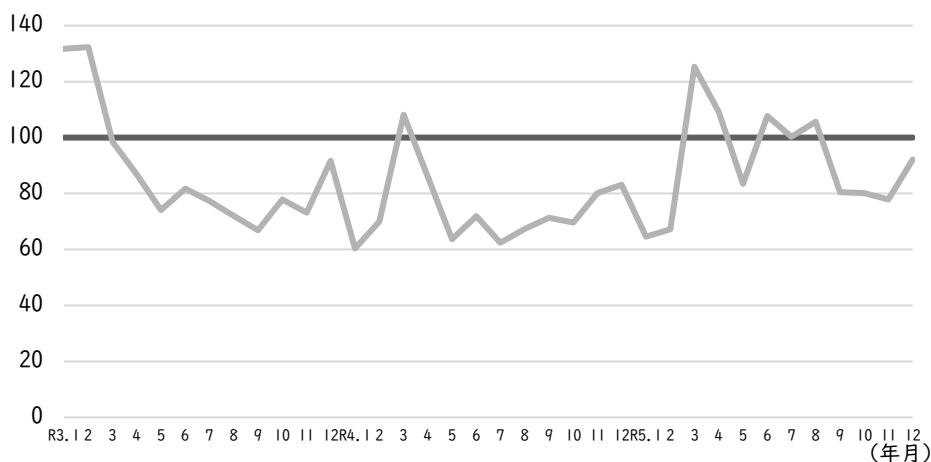
全産業 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



全産業 採算の推移－前年同期比－



全産業 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (8213.00 千円) 全国全産業売上額月平均

中小企業景況調査報告書

2024年1月～3月期

高知県商工会連合会

中小企業景況調査

[調査事項]

1. 調査対象

(1)調査対象地区	室戸市	芸西	香南市	香美市	大豊町
	本山町	土佐地区	いの町	春野	中土佐町
	津野町	梶原町	四万十町	黒潮町	

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 136企業 (回答率：90.7%)

2. 調査対象期間

2024年1月～3月期を対象とし、調査時点は2024年3月1日とする。

3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 回答企業数の内訳

業種	回答企業数	構成比 (%)
製造業	29	21.3
建設業	19	14
小売業	40	29.4
サービス業	48	35.3
合計	136	100.0

注記 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

1. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2024年 1月～ 3月期）の状況

[製造業]

(D I 値)

項目 \ 期	2023年10月～12月	2024年 1月～ 3月	対前期比
売上額	16.6	6.9	9.7ポイント下降
採算	△ 13.3	0.0	13.3ポイント上昇
資金繰り	△ 3.4	0.0	3.4ポイント上昇

[建設業]

(D I 値)

項目 \ 期	2023年10月～12月	2024年 1月～ 3月	対前期比
完成工事額	△ 4.8	△ 10.5	5.7ポイント下降
採算	0.0	△ 10.6	10.6ポイント下降
資金繰り	△ 9.5	0.0	9.5ポイント上昇

[小売業]

(D I 値)

項目 \ 期	2023年10月～12月	2024年 1月～ 3月	対前期比
売上額	△ 13.6	△ 35.0	21.4ポイント下降
採算	△ 47.7	△ 45.0	2.7ポイント上昇
資金繰り	△ 13.6	△ 15.0	1.4ポイント下降

[サービス業]

(D I 値)

項目 \ 期	2023年10月～12月	2024年 1月～ 3月	対前期比
売上額	11.3	△ 6.2	17.5ポイント下降
採算	△ 11.3	△ 16.7	5.4ポイント下降
資金繰り	△ 3.7	△ 8.4	4.7ポイント下降

○来期見通し(2024年 4月～ 6月期)

(D I 値)

業種 \ 区分	売上額	採算	資金繰り
製造業	24.2	17.2	7.1
建設業	△ 31.5	△ 31.6	0.0
小売業	△ 22.5	△ 47.5	△ 17.5
サービス業	4.2	△ 10.4	△ 2.1

2. 産 業 別 景 況

製造業の動向

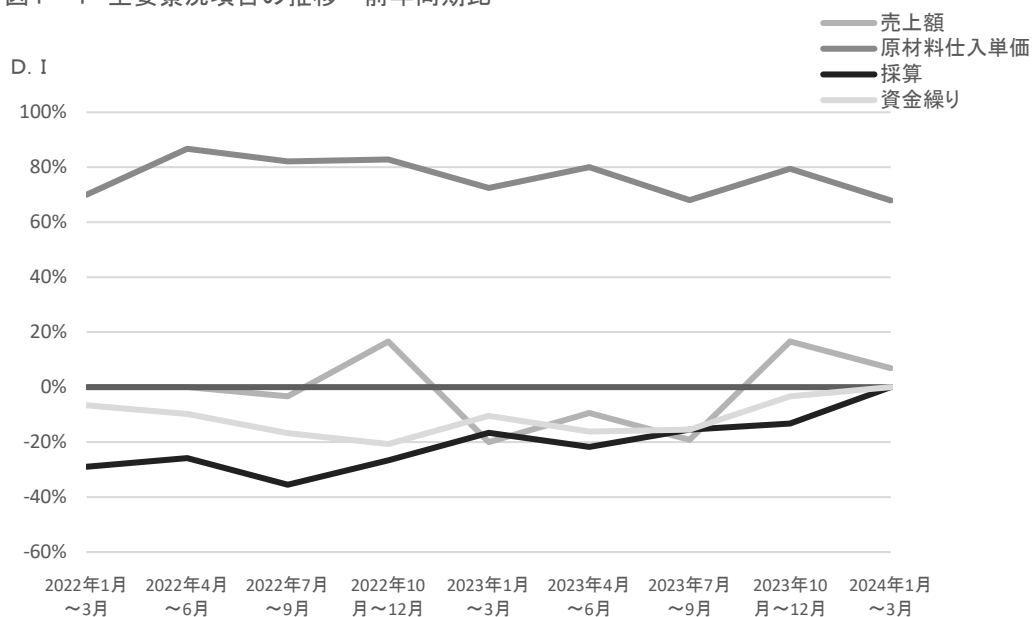
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、16.6→6.9と9.7ポイント下降
(同全国値は、△7.4→△11.6と4.2ポイント下降)
- ・採算DI値は、△13.3→0.0と13.3ポイント上昇
(同全国値は、△21.0→△22.0と1.0ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、△3.4→0.0と3.4ポイント上昇
(同全国値は、△12.3→△15.2と2.9ポイント下降)

今期は、売上額DIでプラス幅が縮小し、採算DI・資金繰りDIでマイナスが改善した。

来期は、売上額DIでプラス幅が拡大し、採算DI・資金繰りDIはプラスに好転すると見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	0.0	0.0	△ 3.3	16.6	△ 20.0
原材料仕入単価	70.0	86.7	82.1	82.8	72.4
採算	△ 29.0	△ 25.8	△ 35.5	△ 26.6	△ 16.6
資金繰り	△ 6.6	△ 9.7	△ 16.7	△ 20.7	△ 10.4

図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

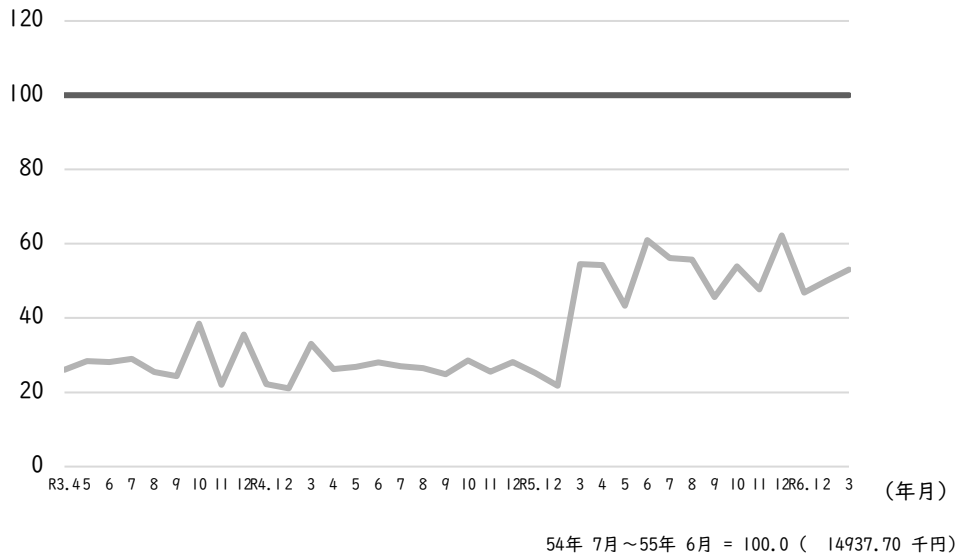


図 1 - 3 売上額の状況－前年同期比－

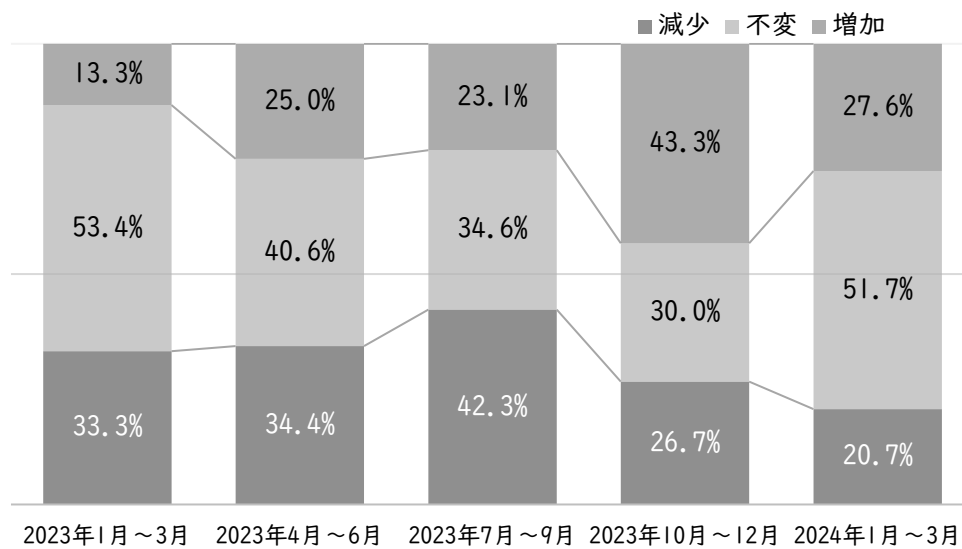


図 1 - 4 採算の状況－前年同期比－

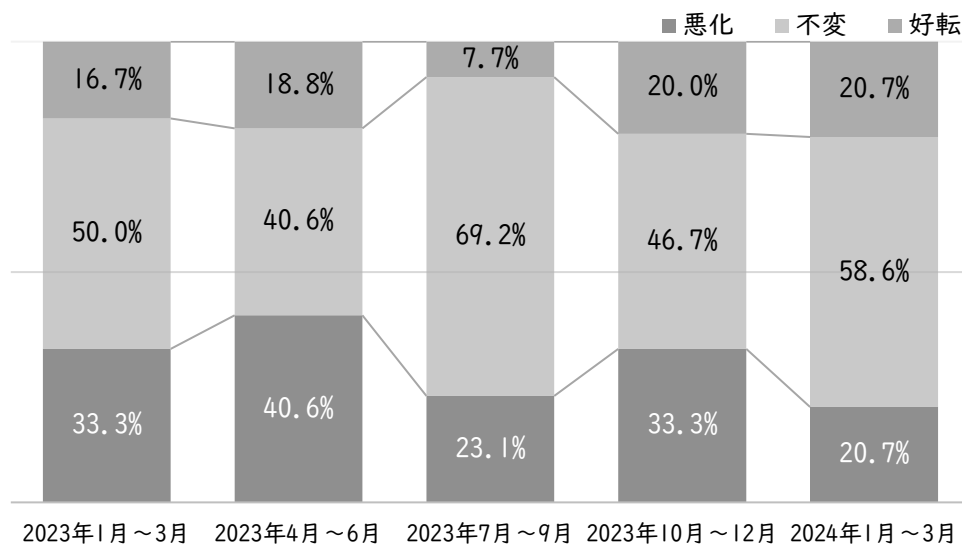
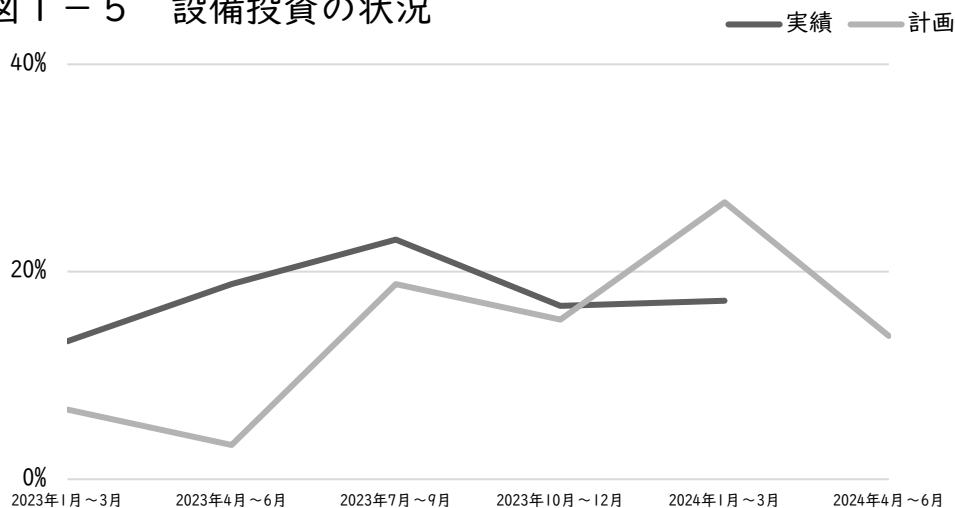


図 1-5 設備投資の状況



(計画)

図 1-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

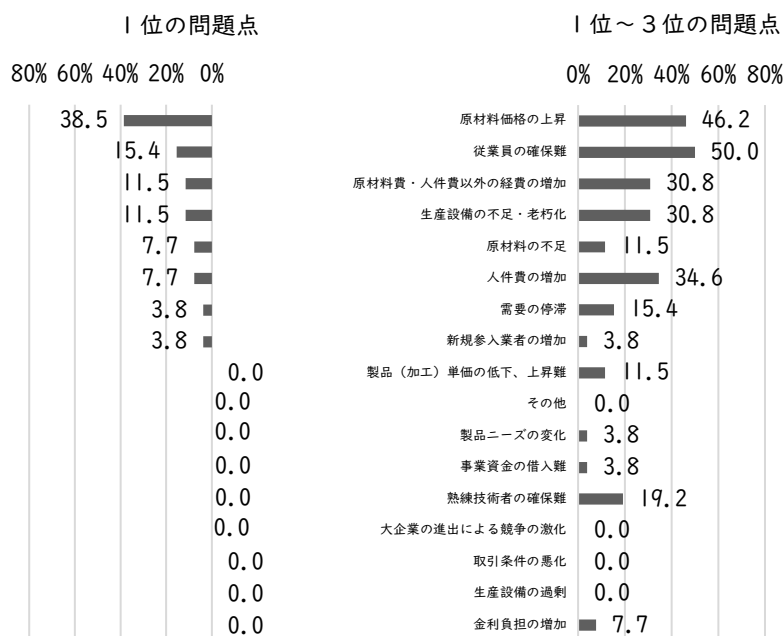


図 1-7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

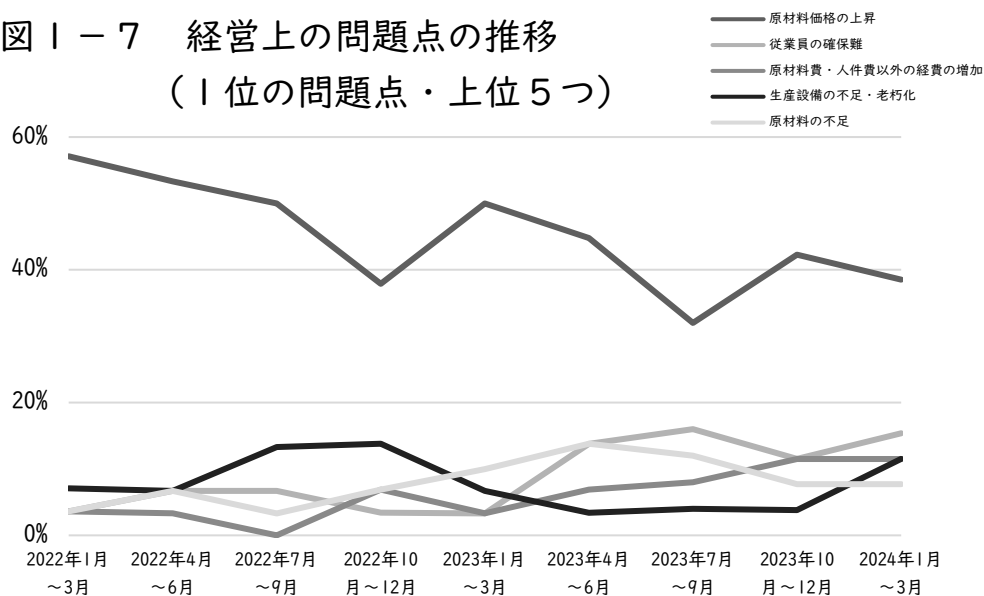


図 1 - 8 売上額の状況 - 前年同期比 -

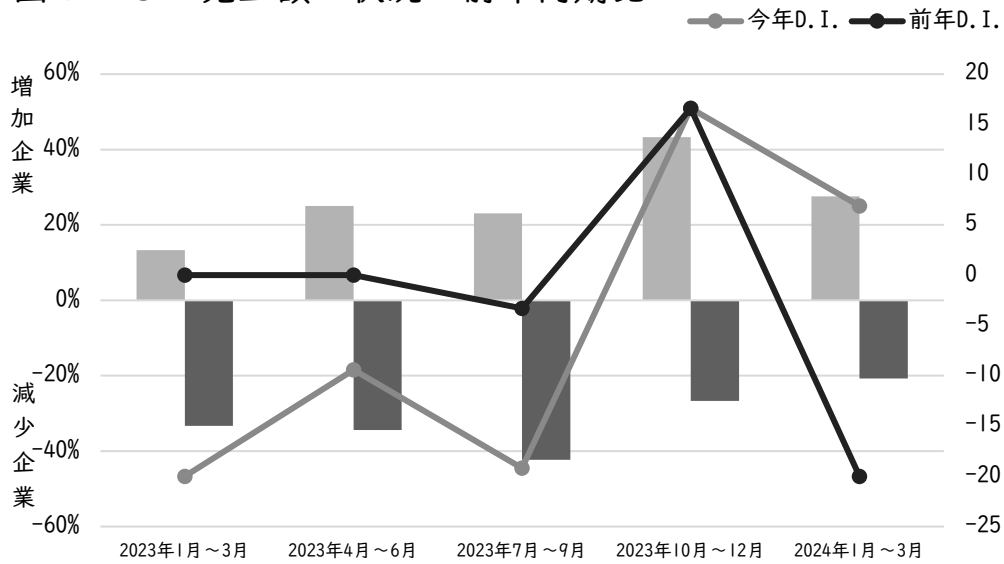
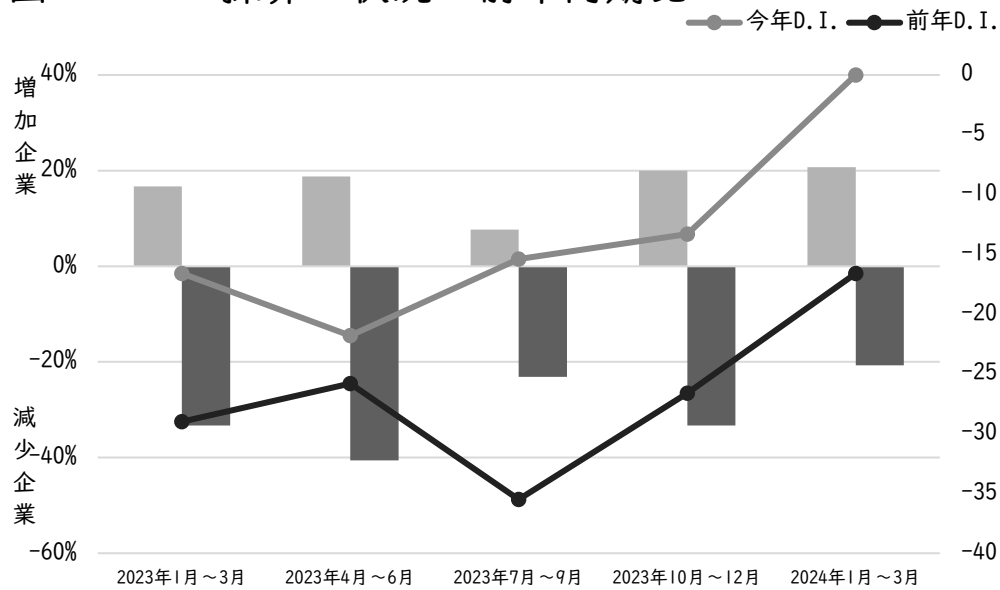


図 1 - 9 採算の状況 - 前年同期比 -



建設業の動向

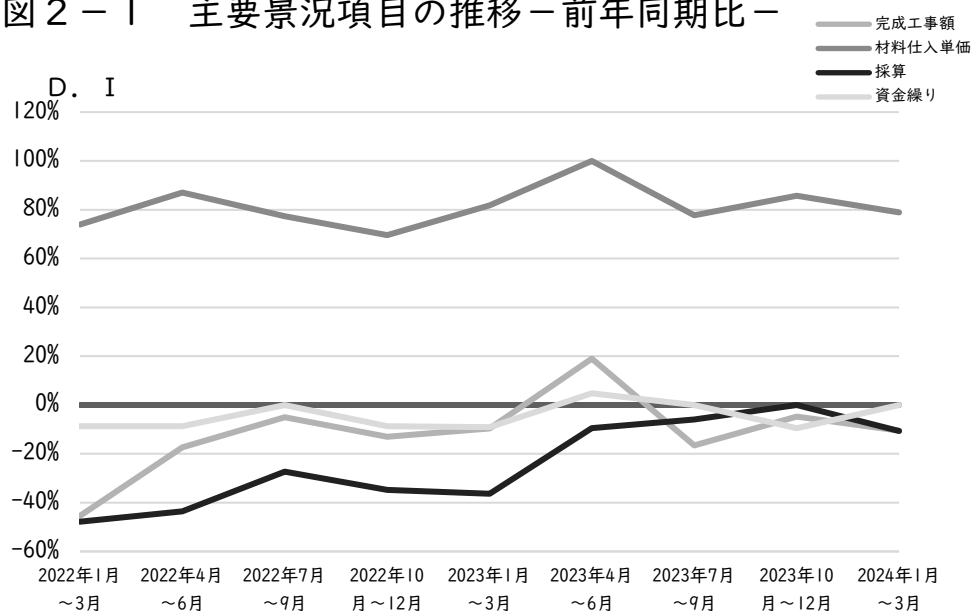
○主要景況項目から見た概要

- ・完成工事額DI値は、 $\Delta 4.8 \rightarrow \Delta 10.5$ と5.7ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 14.3 \rightarrow \Delta 15.9$ と1.6ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $0.0 \rightarrow \Delta 10.6$ と10.6ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 25.3 \rightarrow \Delta 27.3$ と2.0ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 9.5 \rightarrow 0.0$ と9.5ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 9.4 \rightarrow \Delta 13.5$ と4.1ポイント下降)

今期は、完成工事額DIでマイナス幅が拡大し、採算DIがマイナスに悪化し、資金繰りDIでマイナスが改善した。

来期は、完成工事額DI・採算DIでマイナス幅が拡大し、資金繰りDIは変動なしが見込まれる。

図2-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	$\Delta 45.4$	$\Delta 17.4$	$\Delta 5.0$	$\Delta 13.0$	$\Delta 9.6$
原材料仕入単価	73.9	87.0	77.3	69.6	81.8
採算	$\Delta 47.8$	$\Delta 43.5$	$\Delta 27.3$	$\Delta 34.8$	$\Delta 36.4$
資金繰り	$\Delta 8.7$	$\Delta 8.7$	0.0	$\Delta 8.7$	$\Delta 9.1$

図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）

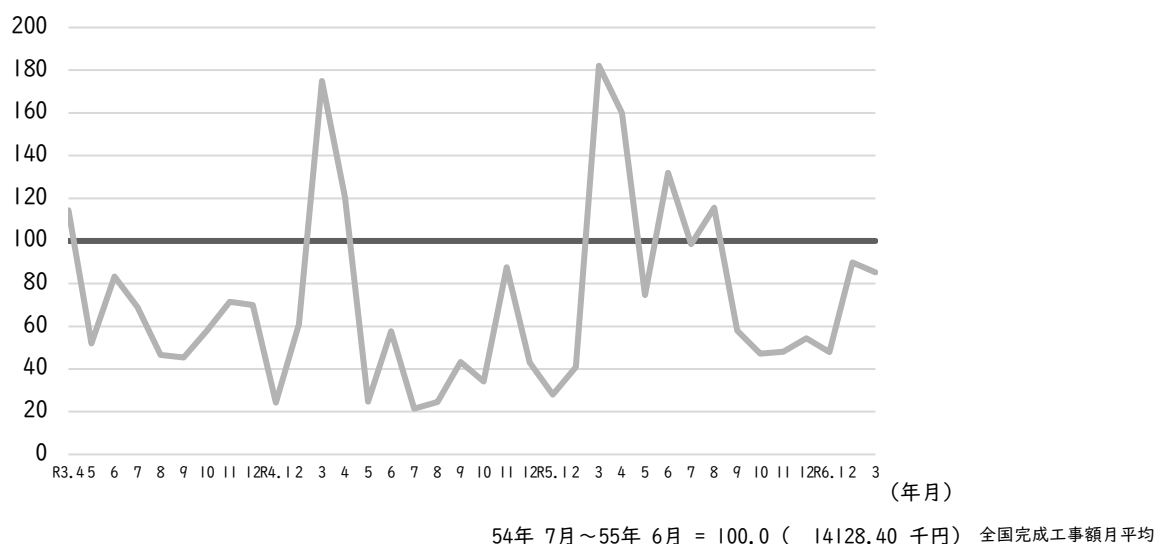


図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

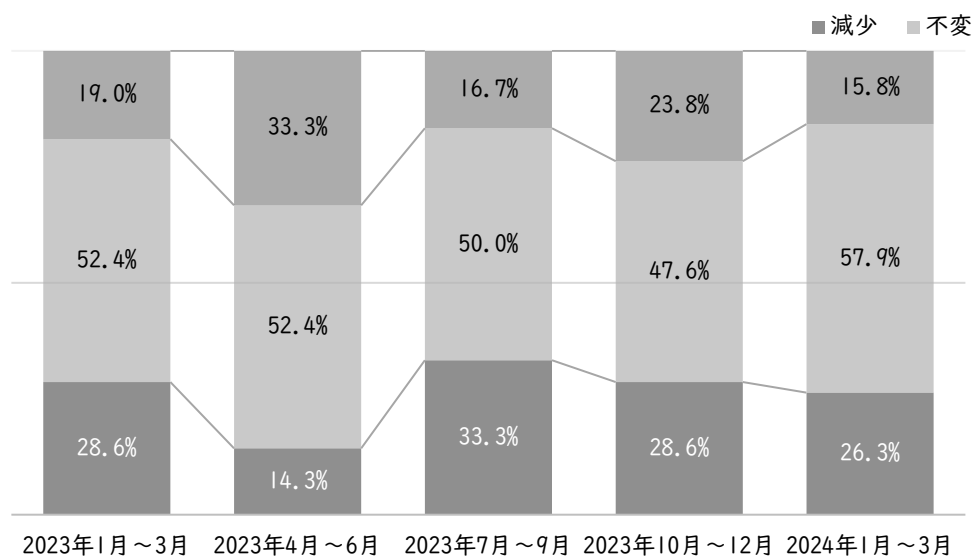


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

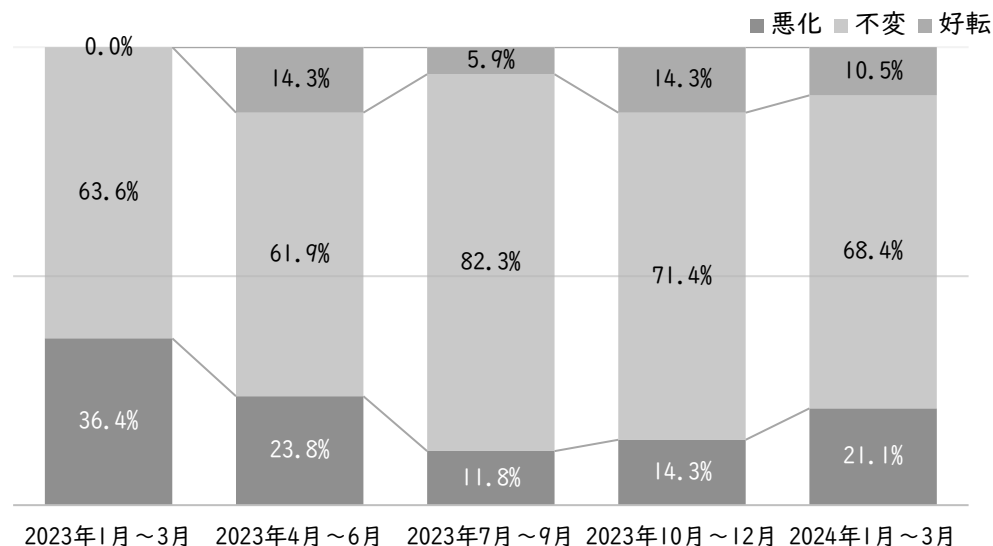


図 2 - 5 設備投資の状況

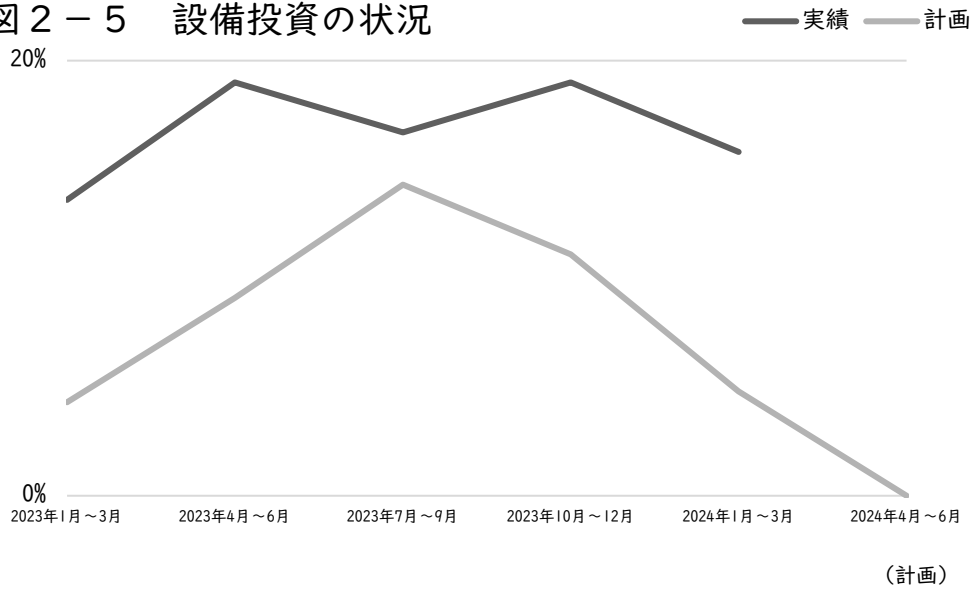


図 2 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

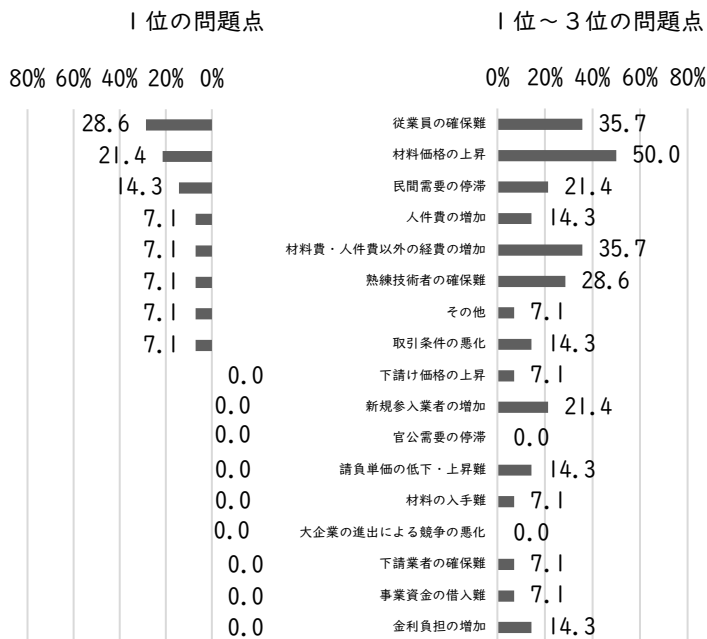


図 2 - 7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

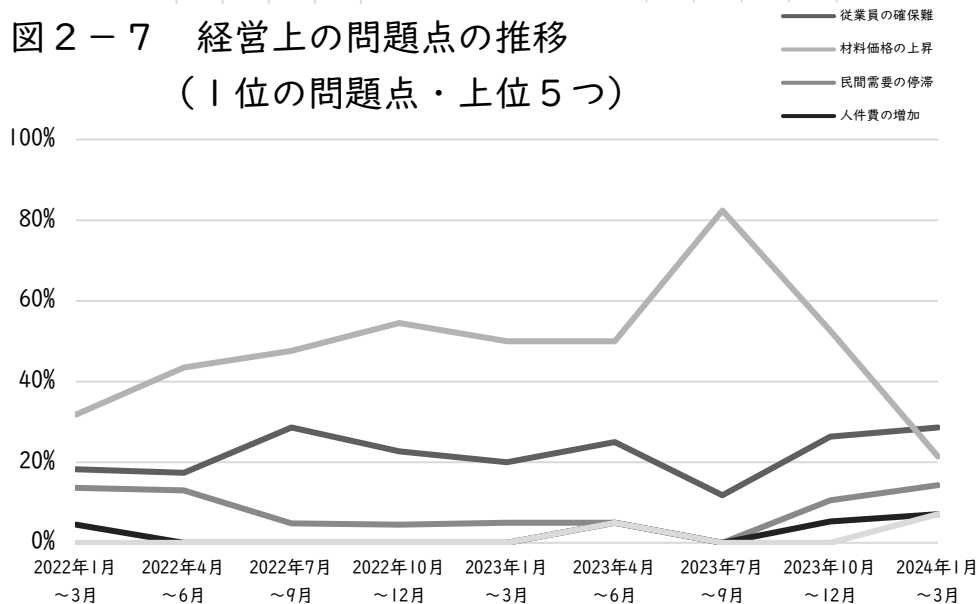


図 2 - 8 完成工事額の状況－前年同期比－

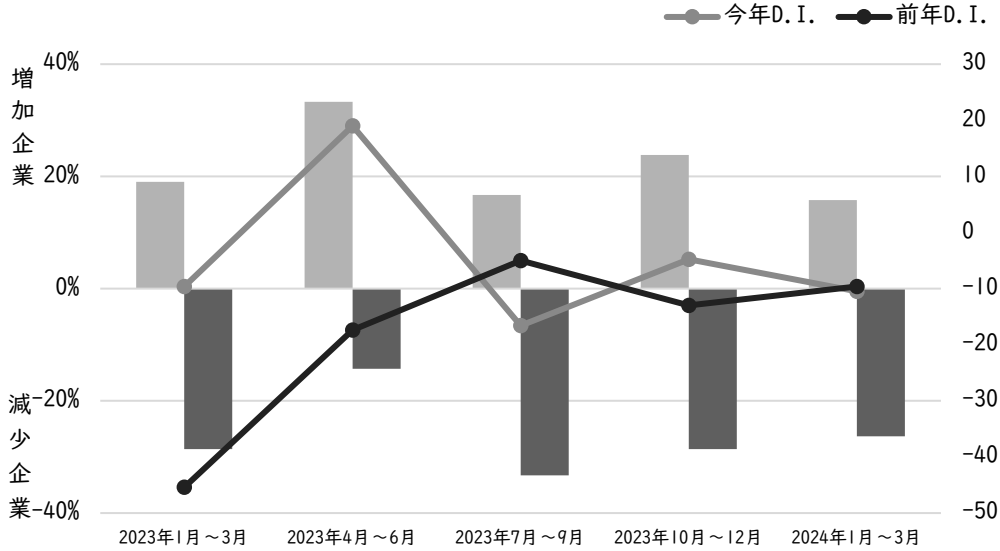
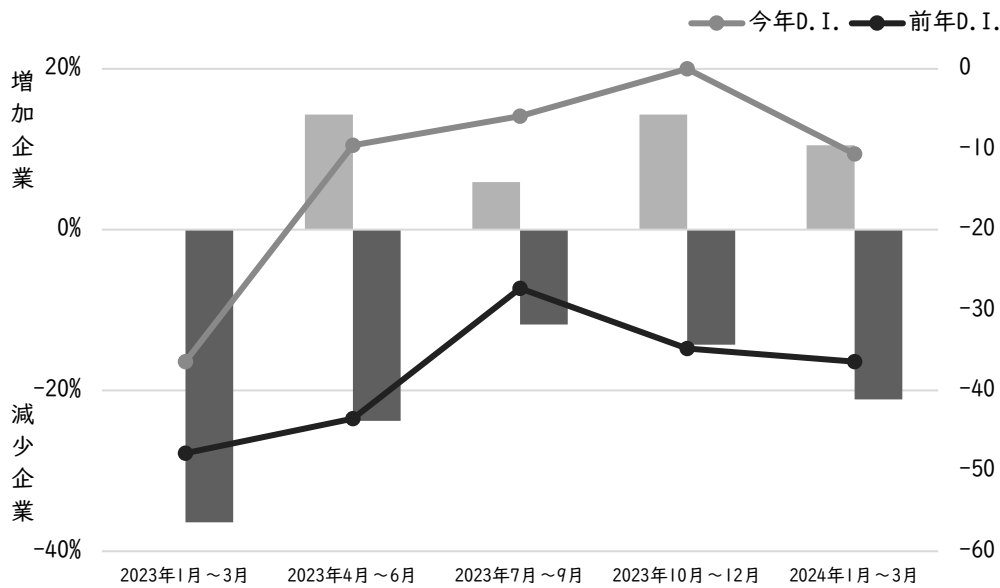


図 2 - 9 採算の状況－前年同期比－



小売業の動向

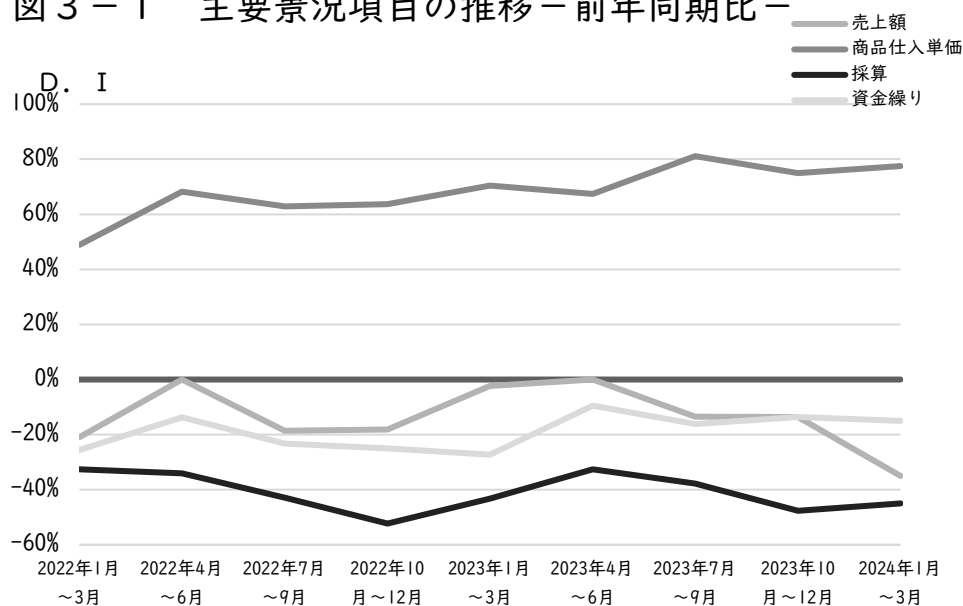
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 13.6 \rightarrow \Delta 35.0$ と21.4ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 17.6 \rightarrow \Delta 23.2$ と5.6ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 47.7 \rightarrow \Delta 45.0$ と2.7ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 33.8 \rightarrow \Delta 34.6$ と0.8ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 13.6 \rightarrow \Delta 15.0$ と1.4ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 22.0 \rightarrow \Delta 22.7$ と0.7ポイント下降)

今期は、売上額DI・資金繰りDIでマイナス幅が拡大し、採算DIでマイナス幅が縮小した。

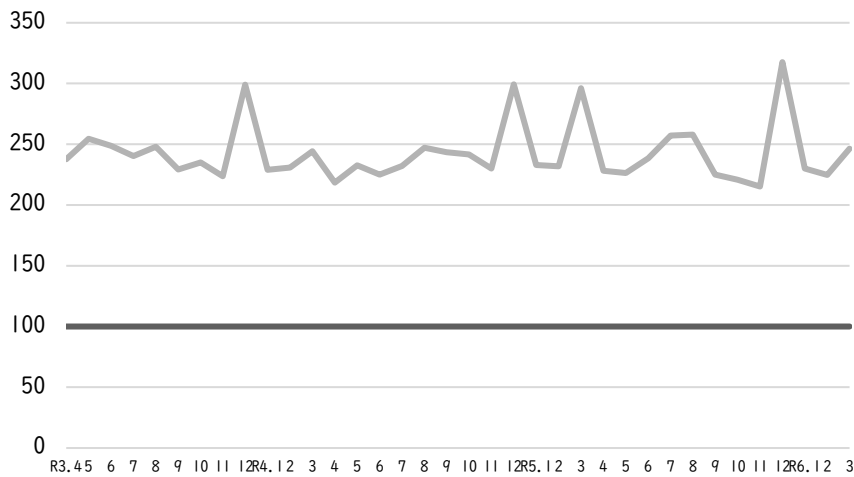
来期は、売上額DIでプラス幅が縮小し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が拡大すると見込まれる。

図3-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	$\Delta 20.9$	0.0	$\Delta 18.6$	$\Delta 18.2$	$\Delta 2.3$
原材料仕入単価	48.9	68.2	62.8	63.7	70.4
採算	$\Delta 32.6$	$\Delta 34.1$	$\Delta 42.9$	$\Delta 52.3$	$\Delta 43.2$
資金繰り	$\Delta 25.6$	$\Delta 13.7$	$\Delta 23.3$	$\Delta 25.0$	$\Delta 27.3$

図3-2 売上額推移（月別指数）



（年月）

54年 7月～55年 6月 = 100.0（ 4597.40 千円） 全国売上額月平均

図3-3 売上額の状況－前年同期比－

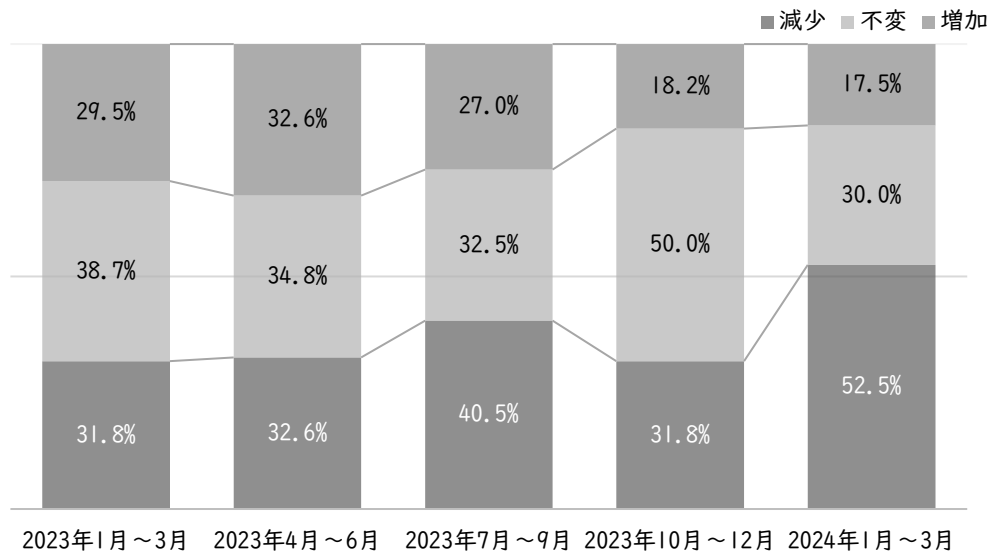


図3-4 採算の状況－前年同期比－

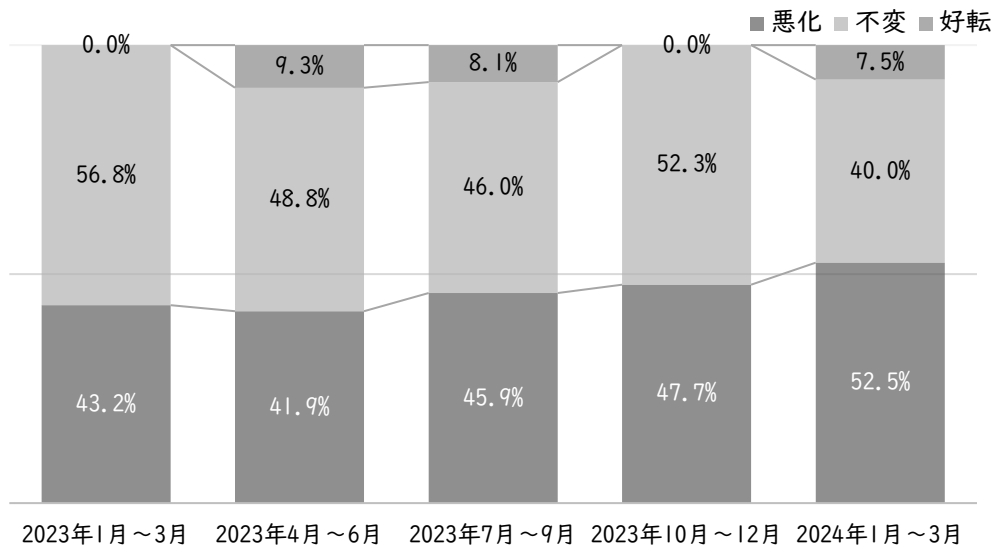


図3-5 設備投資の状況

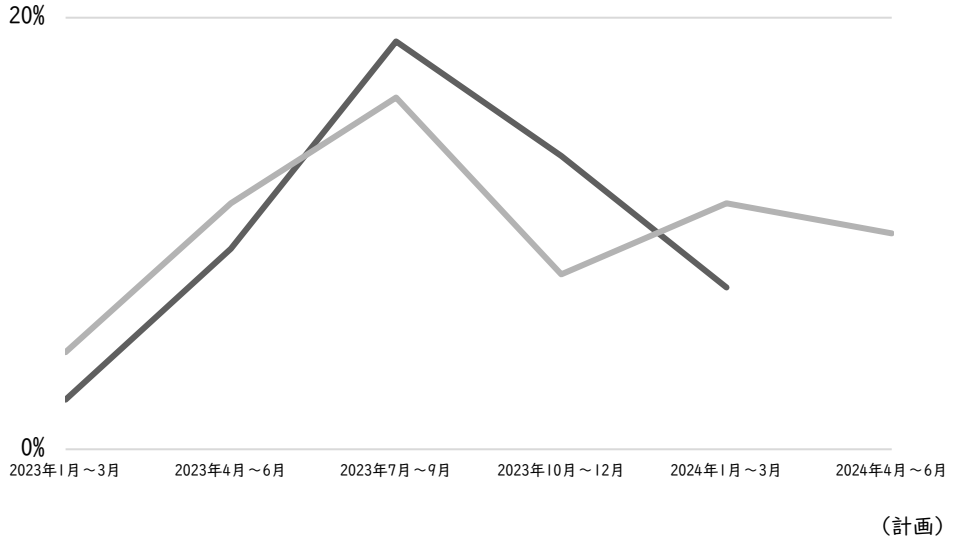


図3-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)

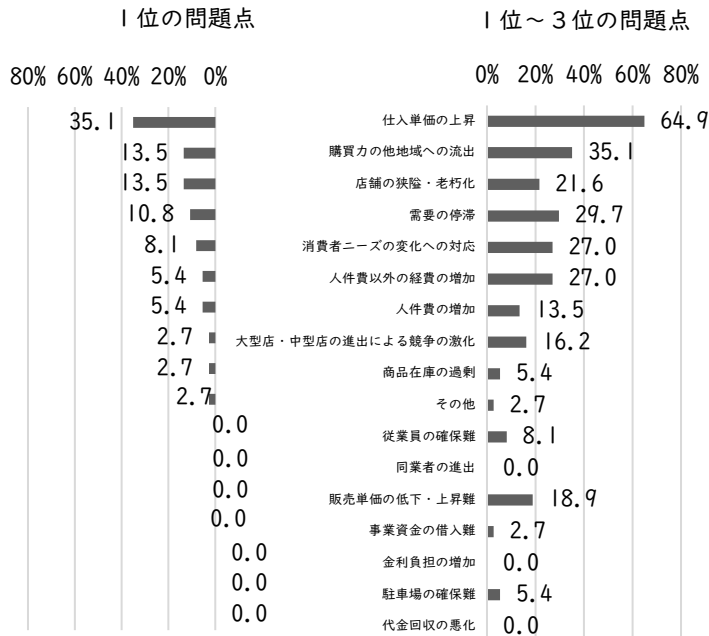


図3-7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

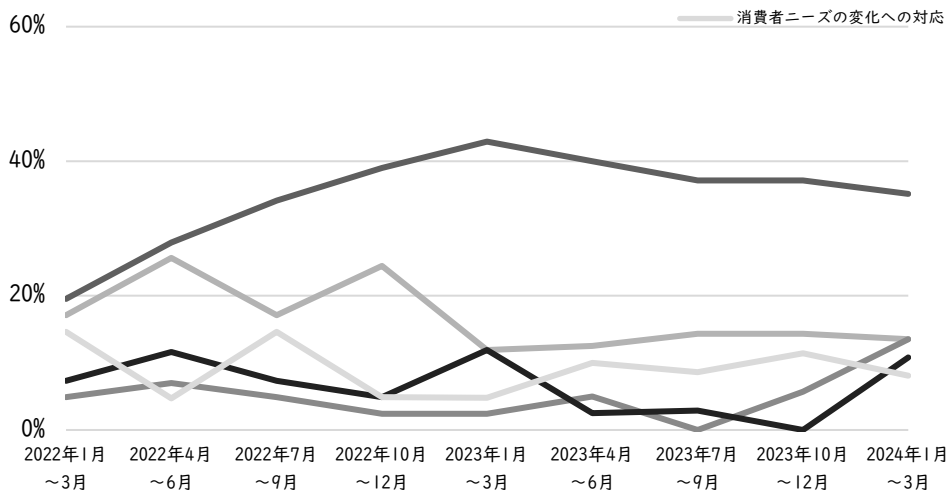


図3-8 売上額の状況－前年同期比－

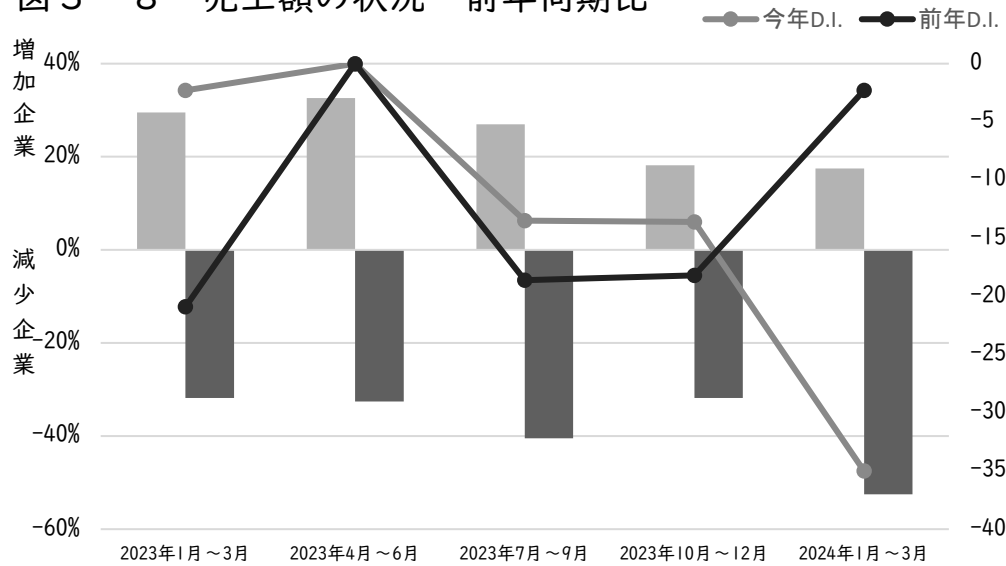
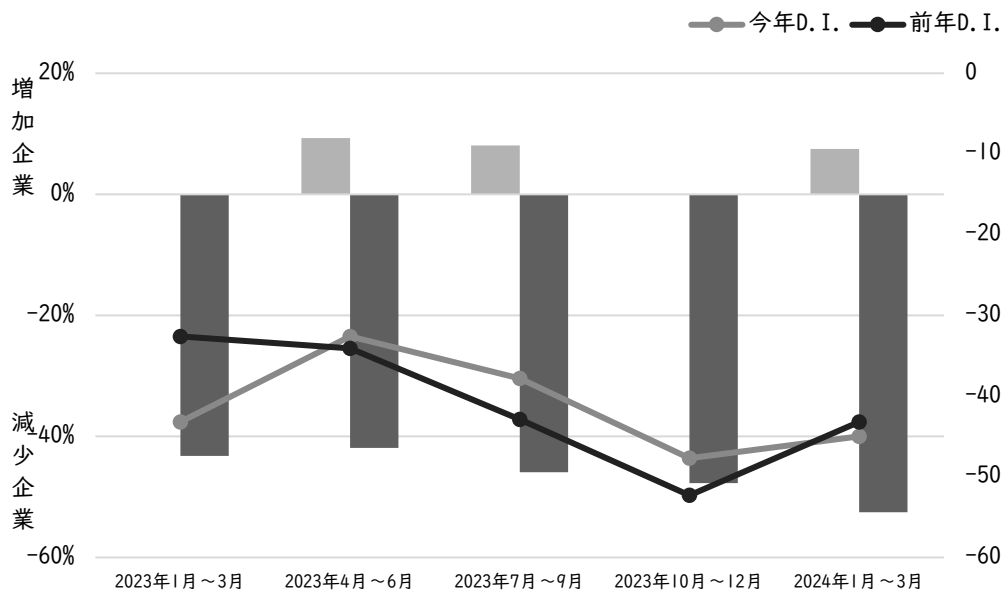


図3-9 採算の状況－前年同期比－



サービス業の動向

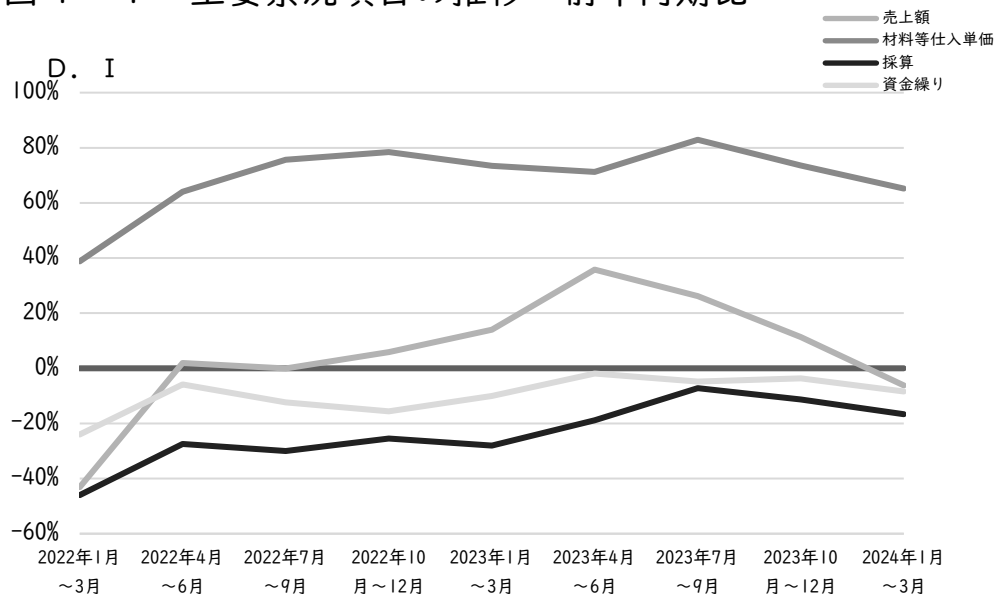
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、11.3→△6.2と17.5ポイント下降
(同全国値は、5.1→△3.7と8.8ポイント下降)
- ・採算DI値は、△11.3→△16.7と5.4ポイント下降
(同全国値は、△23.2→△26.5と3.3ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、△3.7→△8.4と4.7ポイント下降
(同全国値は、△10.6→△15.9と5.3ポイント下降)

今期は、売上額DIがマイナスに悪化し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DIがプラスに好転し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が縮小すると見込まれる。

図4-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	△43.1	1.9	0.0	5.9	14.0
原材料仕入単価	38.8	64.0	75.6	78.4	73.5
採算	△46.0	△27.4	△30.0	△25.5	△28.0
資金繰り	△24.0	△5.8	△12.3	△15.6	△10.0

図 4 - 2 売上額推移（月別指数）

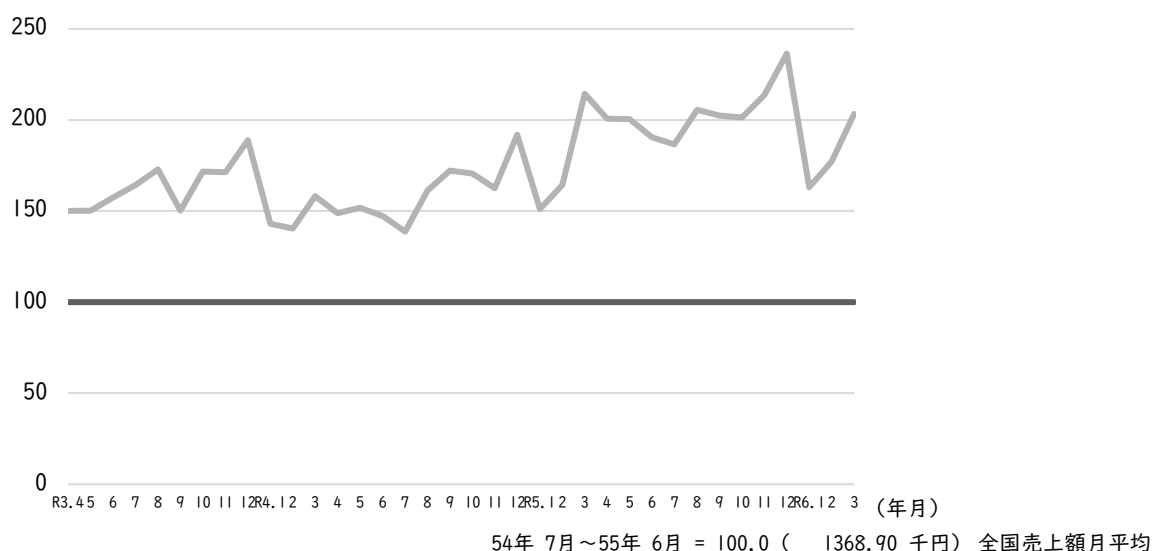


図 4 - 3 売上額の状況－前年同期比－

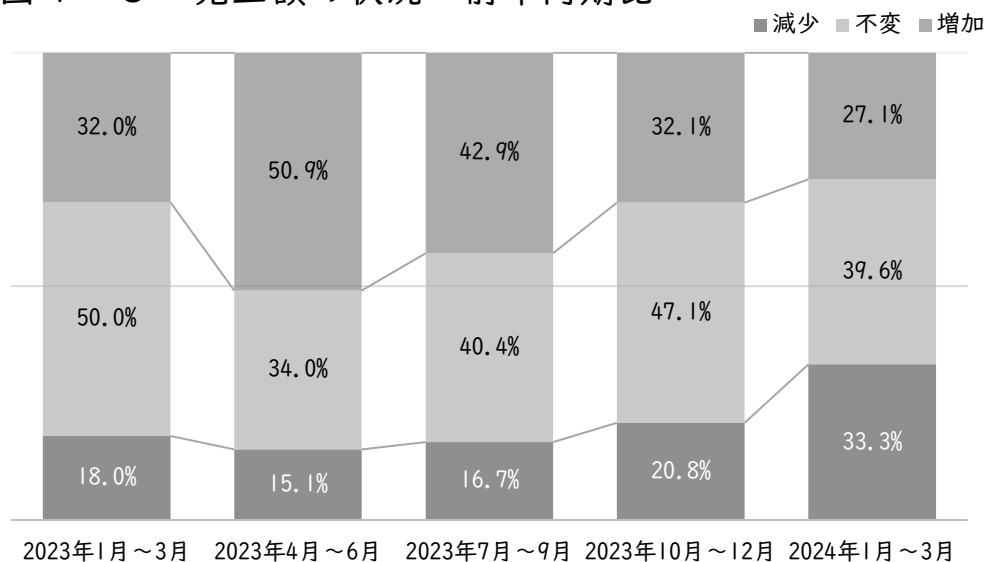


図 4 - 4 採算の状況－前年同期比－

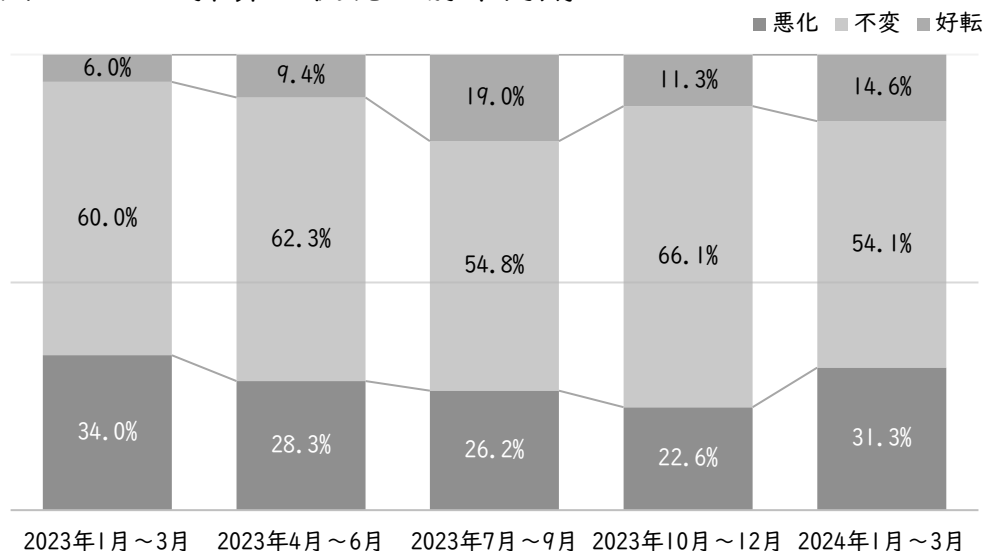


図4-5 設備投資の状況

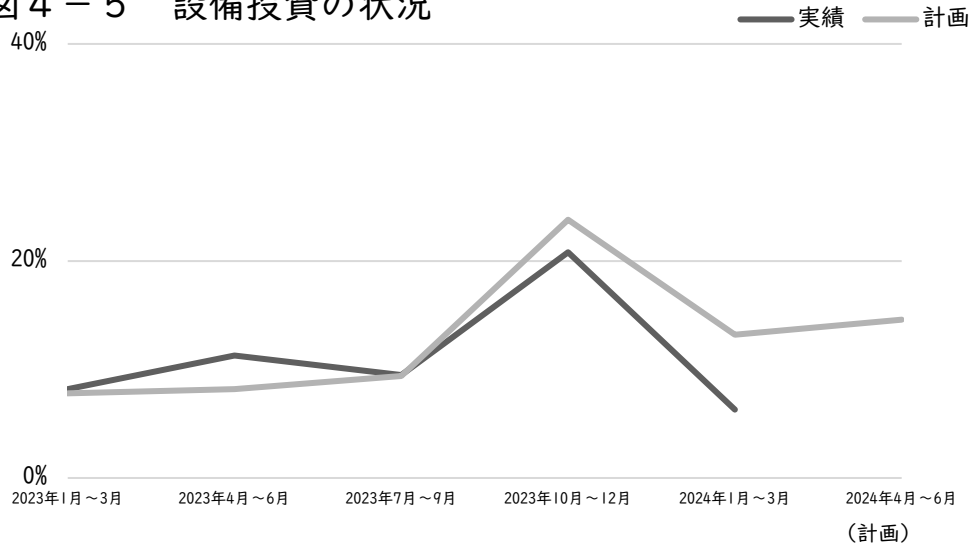


図4-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

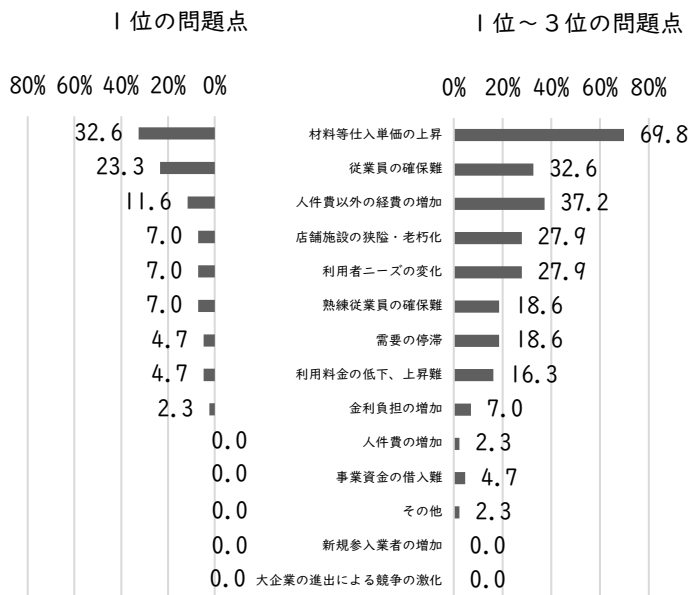


図4-7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

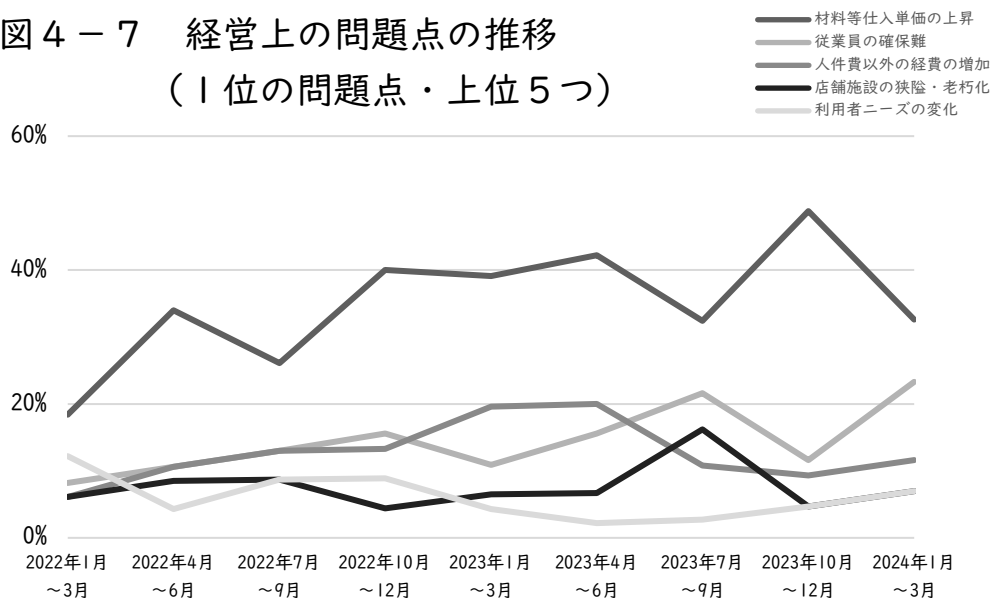


図4-8 売上額の状況－前年同期比－

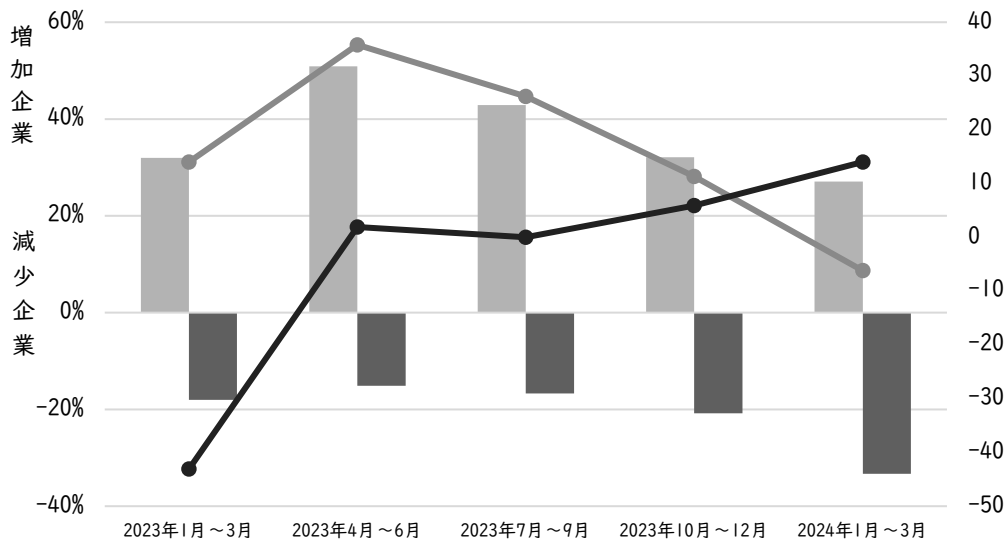
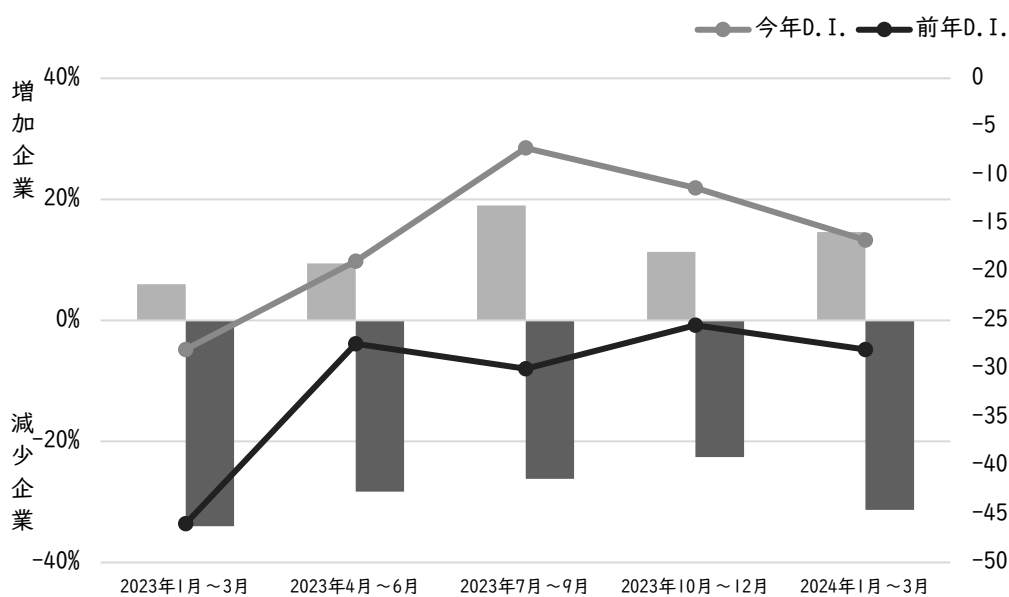
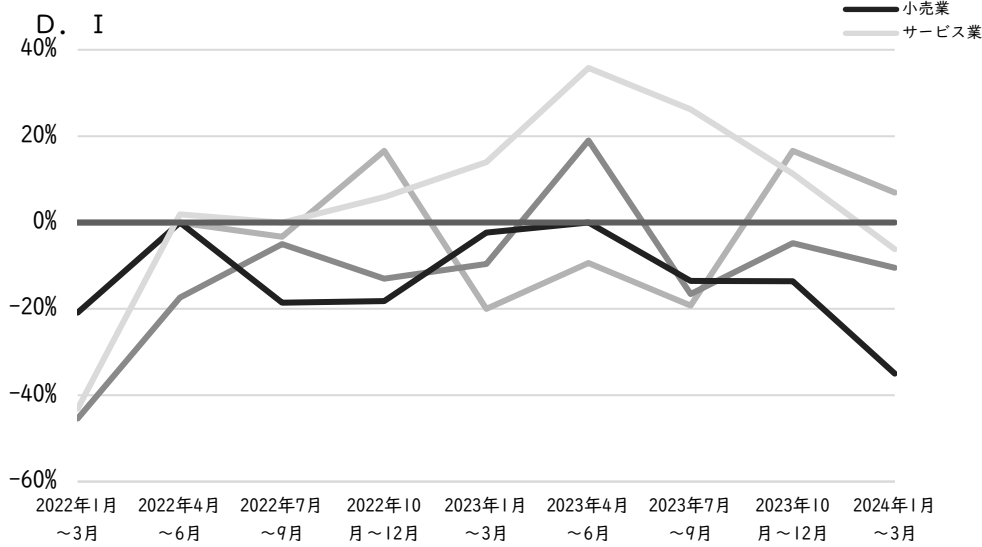


図4-9 採算の状況－前年同期比－

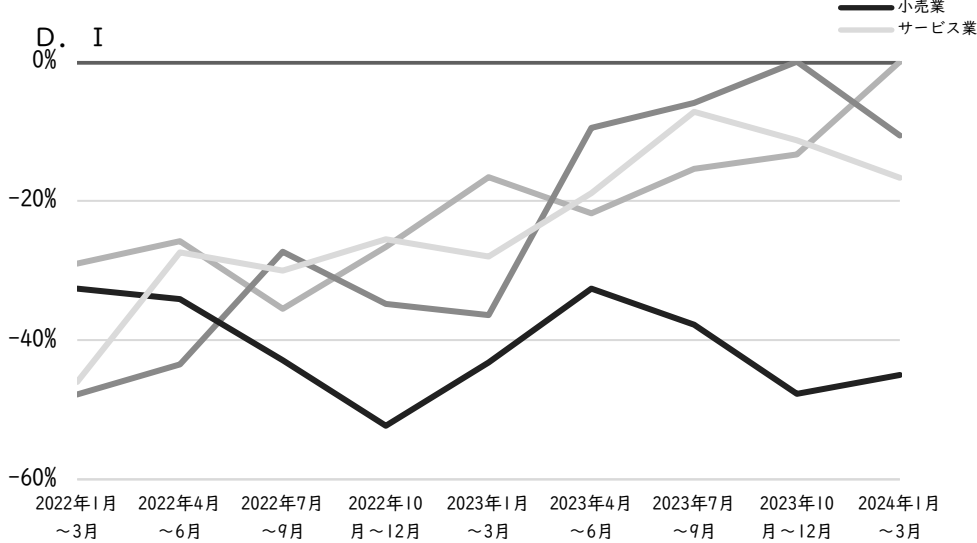


全産業の動向

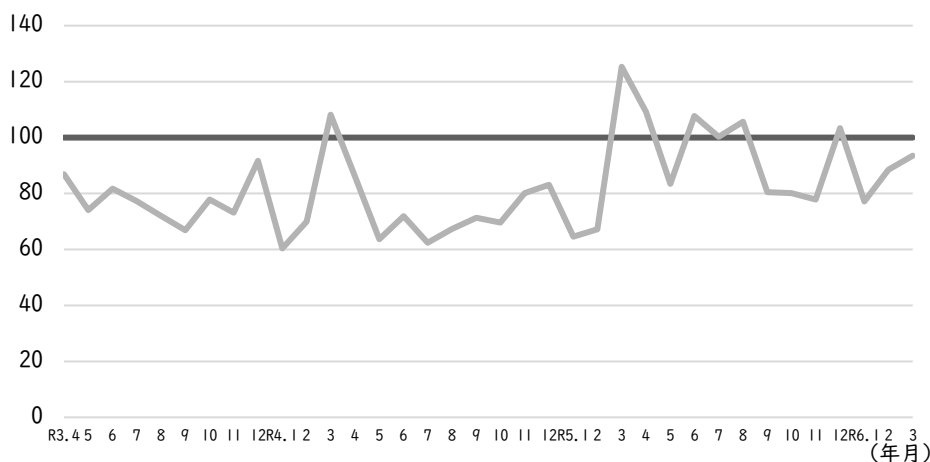
全産業 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



全産業 採算の推移－前年同期比－



全産業 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (8213.00 千円) 全国全産業売上額月平均